

生産 販賣

生産販賣界

一年

わが國運の進展とともに、文化生活必需品として今日の隆昌を見るに至つた、業界の過去に顧みて、實に昭和十三年程の複雑な様相を示した年は、その比類がないであらう。

勿論、東亞の再建設を終局の目的とする聖戰遂行のためには、何物をも犠牲に供して顧みざる國策の然らしむるところとは云へ、爲替管理令による輸入原料の杜絶、物動計畫に基づく各種物資の使用制限、特賣及び愛用者招待會に對する取締の強化等、一々これを擧げるならば、自主獨得の商策に邁進しつゝあつた業界は何となく、その身動きに不自由さを加へられたことは否めなかつた。しかし國策に殉ぜんとする業界の熱誠は、四月一日より實施の化粧品課税を甘受せることに於いても見られた通り、平和産業の苦痛に耐へて、よく産業報國の實を擧げ、銃後の守りに任じつつあるその勞苦に於いては前線の勇士にも劣るものではなかつた。

課税實施と同時に税額を標準とする些少の値上げは行はれたけれども、これとて優秀なる品質を維持するために止むを得ず取られた行動であつて、その苦衷はよく消費者の諒解するところとなり、品名別各項に於いて詳述せるが如く、全體の賣行は決して前年のそれに譲つては居

なかつた。局部的には多少の出入は認められたけれども、保健衛生品をモットーする業界の一枚看板に憚るやうな事實はなく、業界の有する實力は、この非常時局下に於ける一年に於いても毫も搖がざらぬものがあつたのである。即ち、業界の成長を實證する豊富なる原材料のストックは、例年と何等異なることなく、需要者の要求を充すことを得、その點に關する限り、販賣方面を脅威せる例證は皆無であつた。また一面に於いては、業界の智囊總動員の下に進められつつあつた、原料の自給策は、著々とその成果を擧げ次々と海外依存萬能の迷夢を破り、風土氣候等自然的事情の相違により如何ともな才能はざる若干の香料類を除き、今や原料自給の凱歌は目睫の間に迫つたと云へる。

金屬資材その他重要物資に關する内地民需向使用禁止令各種は、それが今までに經驗のなかつたものであるだけに、發令當時に於ける業界の衝撃は輕々ではなかつた。が、やがて一時の昂奮から冷靜さを取戻すにつれて、其處には自らなる道が開けて居ることが判り、而も極めて勇敢に代用品採用の擧に出でることになり功何等躊躇することがなかつたのである。これは云ふまでもなく、時局の重大性が、強要したと云ふ一面もあるが、需要者を確實に握つて居ると云ふ自信が、つまり業者を促してこの飛躍を敢行せしめたことは疑ふべくもない。換言すれば、その外装が如何やうに變化しようとも、それなしでは濟まされぬほど生活が向上

したのである。つまり業界品が缺く可からざる必要品として大衆生活の中に喰ひ込んで居ることを肯定せしめるものであつた。かくして物資統制令の壓迫は、鮮かに之を躰すことに成功し、危機は巧みに切抜け得たかの如く、年末に近づくに従つて、代用品發見の朗報は、相續いて業界を活氣づけて行くのであつた。とは云へ客觀的情勢に鑑み、過ぐる一年に於いて業界が經驗した各種の變化は、國家の長期建設に沿ふて行かざるを得ない業界自身の再建設のスタートに等しきものであり、その試練の洗禮が終つたばかりに過ぎないのである。

そして、この一年に於ける收穫の一つに、われわれは永い間求めて得られなかつた販賣市場肅正の萌芽を認めることが出来た。生産原價の昂騰、税金の負擔原料の不足等の諸事情を織込んで金よりも物の時代の影響は遠慮なく、その波を業界品にも及ぼし、商品愛護の精神は俄然昂揚し、その具體的現れとしては、返品交換の拒絶の聲明發表となり、小賣値段の嚴守勵行となつた。これは、その後の國內諸狀勢と呼應して、益々その程度を高め、暴利取締令改正による正札表示強制と同時に、殆ど絶對的な力を持つやうになつたかに見える。

輸出に就いては、圓ブロック向の増大著るしく、滿洲國の成長、北支那の治安確立により、頗る荷動きは活潑となり、運輸機關の不圓滑を征服して、業界品の大陸市場進出は、愈々その幸多き將來を豫約せしめるに至つた。就中、石鹼、齒

磨、セロロイド雜貨等の需要は特に顯著となりこの方面に於ける業界の進出工作も特記すべき動きを示した。第三國向輸出は對日感情の悪化と仕向地自身の不況に累されて概して前年度より減退の兆があつたが、外貨取得を目ざす政府の輸出振興策の結果、その実績は次第に改善の一途を辿り、年末四半期に於ける輸出は頗る見るべきものを加へたのである。

これを要するに、この一年の業界は、表面さうあるが如くに見られた程時局の影響を蒙ることが深刻でなく、國策を根幹とする經濟狀勢の錯綜に附隨して販賣及び需要兩面を刺戟すること多く、そのため市場の取引は幾分不規則の嫌ひはあつたが、決して緩慢なるものでなく、その意味に於ける限り決して悪い年ではなかつた。

しかし、年の瀬に近づくにつれて、業界の前途に豫想される苦難はいよいよ各種の具體的形體を取つて、われわれの眼前に出現し、物品税の増徴、石鹼齒磨に對する新課税等は既に避けられぬものと認められるに至つた外、各種原材料の不足はより一層深刻となるべく、従つて、本補筋の市場肅正に對する關心も、從來の如き微温的態度を一擲して頗る眞剣となり、長期建設に伴ふ業界を擧げてこの自肅自戒は、今や全く、一片の外交辭令ではなくなつたのである。

生産市場の商品別考察

小 間 物

一般小間物

年初の小間物業界は戰時體制の見透しから人氣は、一般に警戒氣分で消極的であつた。しかし、これと矛盾した現象として先行の品不足を見越した買氣から商品の動きは割合ひ活潑を示したが、これは結局假需要に基づいたものであつたと見られる。それが夏季に入つても一向衰へないで居ると、八月中旬に非鐵金屬類の使用制限令が公布されて業界に非常な動搖をもたらし、續々離業者を出しさうな傾向となつたが、一時の衝撃から落著を取戻すに従ひ、窮通の道が追々開けて所謂代用品時代の到來となつた。それから代用品景氣とも云ふべき一時的現象が起り市況は一段と活況を呈したものである。

新法令の出る毎に悲觀的な觀測が行はれるのを例としたが、それにも拘らず、次々にその障壁を乗り越えて、小間物業界の大勢は時局に順應して波瀾なき堅實な歩みに終始したと云へる。これは一つは業界そのものの實力にもよるが又一面には軍需産業の振興から富が廣く一般に行渡つて居るために、各消費層おしなべて

の購買力が昂まつて來た結果であつた。

金屬類その他統制品關係の原料で先行きを懸念されたものも、平生之等に對して心掛けて居つたのが功を奏して商品の受渡は圓滑に行き、品不足の慮れあるものには新味のある代用品を考究すること、努力を續けて來た。例へば頭飾用品、化粧品容器等にはダイヤ粉をあしらつて色澤を引立たせたものが喜ばれ、賣行は殊に素晴しかつた。

その他一般の金屬製品も今までの餘力があるので、實際は不自由なく品物の配給が行はれたのである。新趣向の商品は戰時下に於ける一般の緊張を反映してか特記すべき程のものは認められず、從來の需要の多い商品を作るのに、即ち聲價の定まつて居る品物の本質を變更せしめないことに殆ど全力を傾け盡して來たのであつた。

この間にあつて異色ある一つの存在は昨年未から現れ始め、今年に入つて全盛をかち得た觀のあるロール卷であつた。縮髮様式の簡易化慾望が業者の宣傳に拍車を掛けられて、各種各様のロール卷が市場に氾濫しセロロイド製、針金製等事變下の業界に頗る活氣を附與した。之に反して日本髪物は益々際物的色彩を濃くして、日常の生活からは縁遠いものとなつて居るのではないかと云ふ見方が強くなつた。

た。

小間物一般の賣行きをを地方別に見ると、工業地帯を擁する地方及び大都市に於いてはどちらかと云へば躍進の數字を取扱者に齎して居るが、夏期に於いて水害に見舞はれた地方即ち關東及び關西の一部ではそれから受ける疲弊から賣行減の傾向を示しつつあつた。時間的には原料統制の氣運が濃くなつた五月頃から買急ぎの氣味からひとしきり突發的な景氣が出で、その後その波が收つても相變らず悪くなかつた。これはつまり小間物とは云ふものの、その取扱品の範圍が非常に廣汎に亘つて、日常生活に必須な身邊用品全部を網羅して居るので、一方が面白くなければ、他の方面でその補ひをつけると云ふ具合に、商品各部門の間で融通がついて行くから、外部から騒ぎ廻る程の影響が、業界の中心まで透入するには未だ時間的の距離が残されて居る證左であつた。

次に述べることは都會に限られた現象であるかも知れないが、昭和十三年度の小間物を帶した好話題として紹介する。それは廣東占領及び武漢三鎮攻略の成つた十月末から七五三祝ひの際物商品が、著るしく活況を呈して、それまで戰時下の緊縮見越しから、製造並びに仕入を手控へて居た業界側の豫想を完全に覆し、十一月十五日まで餘すところ僅かと云ふ間際になつて、品不足に追はれる騒ぎとなり、型や流行はともかく、品物さへ間に會へばと云ふ嬉しい旋風が襲ひかかつて來たことである。武漢三鎮陥落と云ふ

純粋
製椿

すき油
びん附

井筒ポマード

イツツコスメチツク

イツツ養毛トニツク

為

法

香

油

毎度有難うございます

本舗 井筒屋香油店

東京市日本橋区人形町三丁目

壽



世界ト
品を買
一番ツテ
カッタ

ペリオ

ずっと舶来ばかりおしやる
お客様に「どうだったかし

お尋ねになって下さい。

パピリオ

パピリオ

粉	白粉	十二色	各65セン
口	紅	八色	各60セン
ほ	紅	十二色	各70セン

クレーム三種

A パニシングお使ひの方に(男子供も)65セン
B 荒れ気味の方や寒い時のパニシング65セン
C 化粧下。のばせば濃くついて保つ 85セン

●濃化粧は厚くぬつては艶がない。御園のチタニウムはうすくぬつて白い。だから冴へる。
●濃化粧専門の日本唯一の白粉下はこれ。どんなヒフでもこれで、濃化粧が出来ます。
●この二つを混ぜたのが、「つぼみ白粉」。これは下地が入つてゐるから下地なして、どんなにてもびで、誰れでもすぐ出来る。

御園

チタニウム	固煉	白粉
五五セン	化粧下	つぼみ
二二セン	つぼみ	白粉
四五セン		

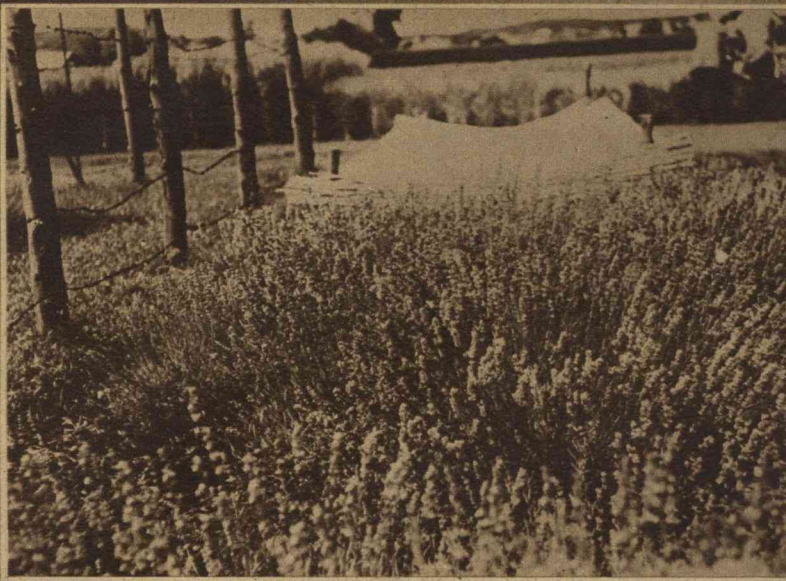
繭から出来た
獨特の御化粧石鹵

鐘紡絹石鹵



鐘紡サービス株式会社
神戸市林田区吉田町一丁目

香料



MS 曾田政治商店

本店

東京市日本橋區本町四丁目
電話茅場町(66)六四二四・六四二五番
振替東京二九九六五番

出張所

大阪市南區安堂寺橋通一丁目
電話船場(83)三六八五番
振替大阪六三七六一番
臺北市兒玉町四ノ五
電話臺北二六六八番

工場

東京市澁谷區幡ヶ谷原町八九三番地
電話四谷(35)二〇一八番
臺北市外新莊郡鶯洲庄三重埔
札幌市外琴似村一一二番地
電話札幌五三六番
青森市沖館字篠田二六六番地
電話青森三六二五番
靜岡縣由比町

仕 御

絶て以を任責同共

小間物
服飾品
問屋
雜貨

東京市日本橋區横山町七番地

㊦ 森本支店

電話 浪花(67) 八二八番
二三〇九番
振替 東京一〇六六四番

東京市日本橋區横山町七番地

文房具筆墨
紙工品算盤
屋問

㊦ 堤商店

電話 浪花(67) 五〇八三番
三二〇〇番
振替 東京一〇七九八番

各種帽子問屋

龍虎印帽子發賣元

東京市日本橋區横山町六番地

㊦ 池田商店

電話 浪花(67) 三六二二番
振替 東京六四六二八番

海ズボン、王
運動服、作業服
加服其他
工品 商卸

東京市日本橋區横山町七番地

㊦ 川口善朗商店

電話 浪花(67) 三二〇〇番呼
振替 東京四七五九九番

は 入

へ等店弊の強勉對



子供服
仕立物
商卸



渡邊商店

東京市日本橋區横山町七番地

電話 浪花(67) 一六九二番
振替 東京 八一三〇一 番

ハイアステリア
クレアベリア
手藝材料
ビス・レ
糸、紐、リボン

商卸



須田商店

東京市淺草區淺草橋三丁目二十七番地

サンエス印手藝材料發賣元
日本オリンパス刺繡發賣元

電話 淺草(84) 四二一四四番
振替 東京 四八三五九 番

天狗印
メリヤス
花王靴下
洋品雜貨

五森田商會

東京市日本橋區横山町六番地角

電話 浪花(67) 〇二九〇番
〇五三八番
振替 東京 六六六七 番

小間物
化粧物品
問屋



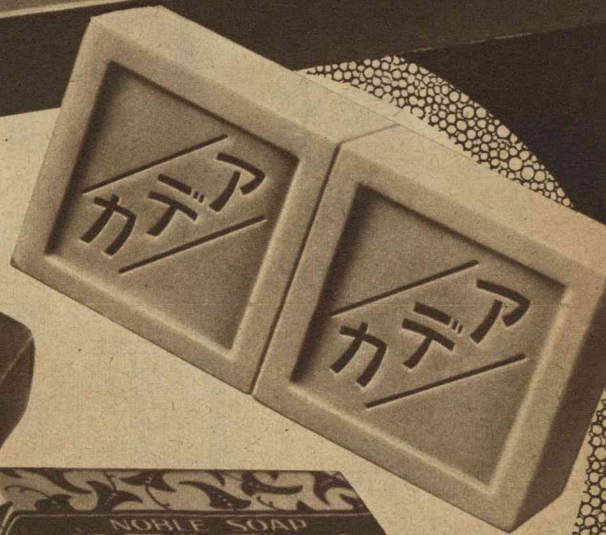
森本店

名古屋市中區鐵砲町三丁目

電話 本局 六六二五番
振替 東京 一〇九六二 番

アデカ石鹼

ノブール化粧石鹼



旭 光 舎

アデカ石鹼
東京發賣元

旭電化工業株式会社

東京市本郷區元町二ノ三

東京市丸ノ内三丁目

柳屋ポマード



養毛素レステン配合
純粋植物性

養毛、麗髪の

効果偉大...

年と共に

販路建設に邁進

一層の御勉強

切に願上げます



本舗 柳屋本店 東京日本橋交又点

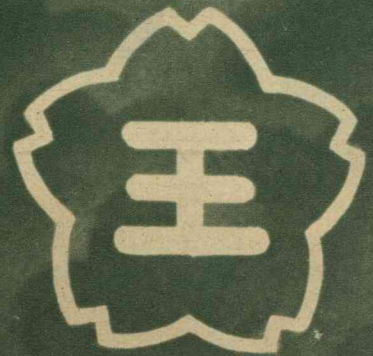


家庭用櫻石鹼本舖
乙女肌發賣元
殿井製品關東代理店

中外化粧品卸商

田中花王堂

東京市日本橋區馬喰町三丁目
電話浪花(67)〇三三二
振替口座東京三三三四



エンゼル化粧石鹼
エンゼル洗濯石鹼
ブイ浮石鹼
アイランド
白玉マルセル石鹼

株式會社
本舖 殿井商店

大阪市南區田島町
電話南七七八
振替大阪七四九八



清浄な 美容ノ

日本で始めて完成した
純粉乳入の理想的洗粉

★

明菓ミルク洗粉は、皮膚を美しくする成分を一番多く含むコナミルクを専賣特許の方法で完全な美容料としその上にそれぞれ獨特の美容力を持つ數種の植物性原料と滲透性スキンホルモン等を配合した最高級の洗顔料であります

10セン・20セン
30セン・50セン



明菓ミル洗粉

明治製菓株式会社

國產香料

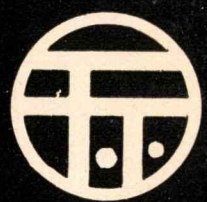
一般化學合成香料

東京市芝區西芝浦四丁目一番地

電話 三田 (45) 一七八七番
茅場町 (66) 一七八八番

振替口座東京六五三八九番
受信略號シバカオリ

豊玉香料製造所



興津工場

造製料原スンセツエツールフ

津興縣岡靜

新しい美容術から生まれた 新しい化粧品

テルミー

フエシヤル・システム
(美容系統)を有つ化粧品
は日本で只一ツテルミー
あるのみ特に教養ある方
方に好評の科學的化粧品

生きた肖像畫を
つくる美しい繪具—

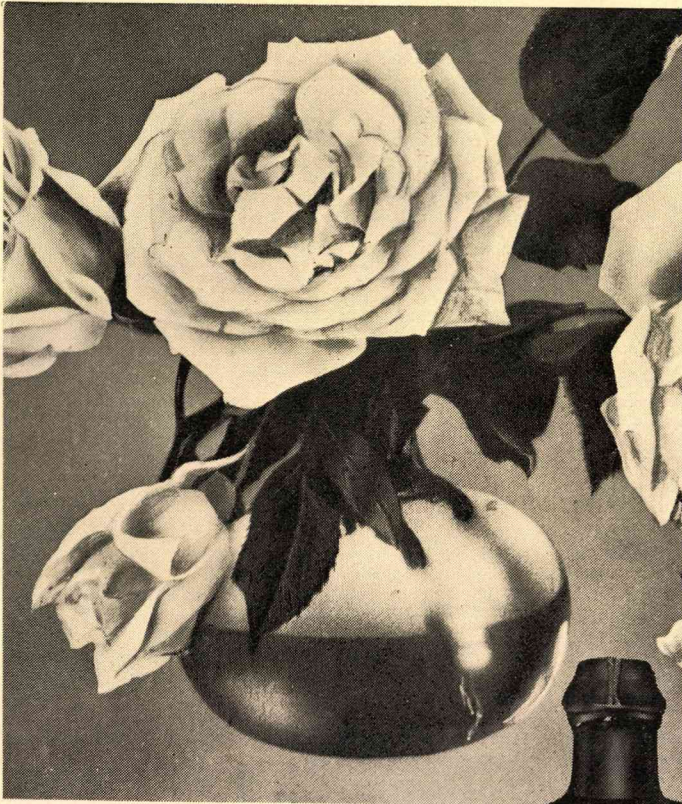
ウキルフレット
色彩化粧品



大阪市東區小橋東ノ町
大東化學工業所
東京市銀座西八丁目
名古屋 福岡 京都
札幌 京城 大連

香料

オリエントローズ



東京市淺草區淺草橋三丁目

早川市太郎商店

電話 淺草 四〇三一
五三六三
五六九三

峯乃華化粧料
 藥用モンココ洗粉
 レオン洗顏クリーム
 ハリウツド化粧料
 藥用クレームアモンパヤ
 伊豆椿頭髪香油
 シヤベトニツク化粧料
 蜂研クリーム
 イオス洗顏クリーム
 粧素フレツクルぬか
 三共サポイド石鹼
 マイスキ
 毛生美髮液加美乃素
 ユゼ洗粉
 パーマン活性硼酸石鹼

東日本 關東及大東京發賣元

有名化粧品問屋

東京市本郷區湯島天神町三ノ十一

塚田合名會社

電話下谷 (83) 七一二五番
 二二五六番
 振替東京七九一四四番

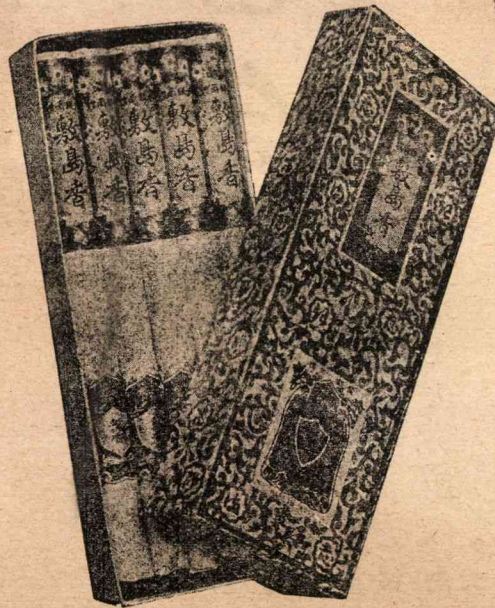
關東名物線香

敷島香

姊妹品
松葉香

本舖 津川 安正堂

東京 敷島會



森物問屋

イ	ゲ	キ	金	丸	敷	日
マ	ン	ン		明		本
ツ	フ		鳥	印	島	油
蠅	粉	グ		蠟		脂
取	末		香	燭		株
粉	石	香	香	燭		式
	鹼					會
						社

代理店

東京市日本橋區小網町二丁目

森友商店 株式會社 あ

電話茅場町四一〇・四四一
振替口座東京二六四番



養毛料の開祖……医療的性能豊かな正しい養毛料

ヨウモトニク

毛を傷めず何んでも落ちる

(姉妹品)

ヨウモト洗髪液

発毛促進の新洋髪香油

ヨウモト香油

パイン酵素入薬効的新化粧水

パパコロン

¥ .45 ¥ .60 ¥ .60



煙草店で賣る

たばこや后鹼

化粧・洗濯 一ヶ拾錢

實質本位の

オレンジ石鹼

一五、〇・一〇、〇の二種

製造元 東京室町 三共株式會社
(三共直系)

發賣元 泰昌製藥株式會社 三共株式會社雜貨部取扱

大日本政府登録商標
第一五〇五〇號



陸海軍御用品

忠勇ハズラシ

名實共に

日本一

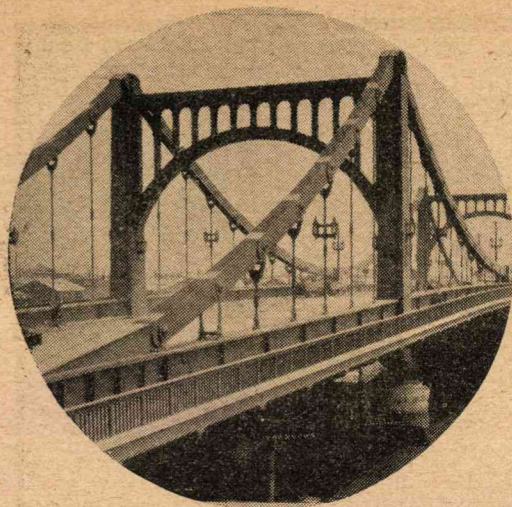
本舗

東京市日本橋區馬喰町三丁目

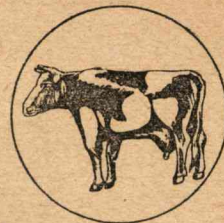
井阪支店

大阪市住吉區松崎町二丁目

井阪本店



橋洲清所名京東



紳士淑女も……
赤ちやんも……

牛乳石鹼

關東代理店

川野立志堂

東京・深川・清澄町一丁目

本舖大坂

共進舎石鹼株式會社

女冬の
女王
キヨス
入草藥
懷爐灰

止荒
めれ
キヨスクリーム

純植
物性
キヨスホマード

純
質
キヨス
洗化粧
濯粧
石鹼



石鹼化粧品雜貨問屋
川野立志堂

東京市深川區清澄一丁目
電話本所(73)一四六七番

う
さ
な
ら
ん



店理代驗石ソツチ
屋問驗石
店商磯近 舗本
町山横區橋本日市京東

驗石彩三

魅力ある若肌を生む

クロバーレモンクリーム

健康美を増す

クロバーほろ紅

六色 三五セシ
七色 四〇セシ

鮮麗な

クロバー口紅

六色 四〇セシ



35 セシ
50 セシ
70 セシ

所給配京東料粧化一バロク

一 地番七町山横區橋本日
番二四〇〇(67)花浪話電
會商葉三舗本

版大・京東

石鹼化粧品問屋

皆様の

合資
會社

脇田盛眞堂

東京市日本橋區横山町七番地一

電話浪花(67)〇〇四二番



ノすて 顔石な級高も最
ノすて 顔石く効にめ止焦日スカバソ・ビキニ

ンマルチス 顔石ルブダルクツレフ

ルクツレフ

顔石用薬

¥ 0.35 用んやち赤
用ビキニスカバソ
¥ 0.50 に剃髭の子男

薬門専容美

日本一 手發賣元

スチルマン本舗

河田商會薬品部

東京市丸の内日比谷
電話 銀座一七七六番
換替 東京三六七七番

- ¥ 1.50 ムーリクルクツレフ (ルグンシ)
- ¥ 1.80 ムーリクルクツレフ (ルブダ)
- ¥ 0.80 ショーロールクツレフ
- ¥ 0.50 ーダウバルクツレフ
- ¥ 0.35 か

定 價

ルクツレフ ムーリク

ポッシュ

Pomgee

化粧料

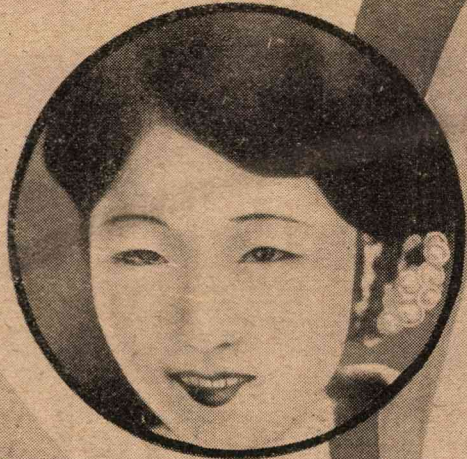


香煉水
 白粉
 水粉
 コロイドミルク...整肌料
 コロイドレモン...
 プリランテック
 ネリプリランチン
 ビルケンハールワツセル...養毛料

發賣元

コテイー代理店 岡本信太郎商店 電話京橋四三三

MIMOSA SHAMPOO POWDER



る止の毛けぬと毛白
ミモサシャンプー

ムーリクサモミ
 ドーマホサモミ
 油香サモミ
 粉洗サモミ

料髪美サモミ

舗本驗石ーレキ
 場工島向部品粧化澤増

四十二目丁七町島寺團島陶市京東
 六二三二電 市谷岡州信 店 本

月一年元化文業創

革命的な

座敷箒の

王座

丈夫で使ひよき



鋪本箒どかみ

店商原

目丁二町徒御仲區谷下市京東
番四八四三(83) 谷下話電



美加登箒

みかど

ミカド

品 種

長柄一號
長柄二號
短柄一號
短柄二號

荷造種別

小箱 長柄二十本入
短柄二十本入
大箱 長柄六十本入
短柄六十本入
一號二號詰合可

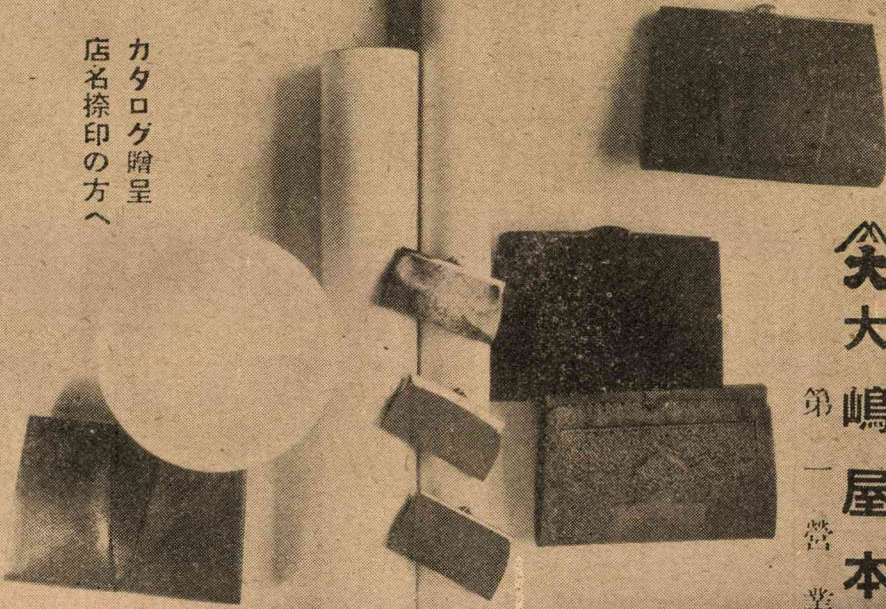
お仕入の節は美加登箒と御指定下さい



● 貴重なる皮革製品在庫種々

● 國策代用品豊富!

カタログ贈呈
店名捺印の方へ



東京市日本橋區濱山町七番地八
大嶋屋本店
第一營業部

電話 花 3650
振替 東 2268
京 5628

145604
151707

粉石鹼 太陽印

株式會社柳屋商會

取締役社長 葉滿田芳兵衛

東京市江戸川區平井町
電話 墨田(74)三四四六番
振替口座東京五二七四番

權威

製産能力一萬噸

斯界の

海外輸出の先驅

品質絕對の優秀

粉末石鹼の始祖

ソリノラ

クリーム

(ヨールド)



セットローション

スタイルセット

最新流行

獨逸專賣特許
ホルモン新劑

リーデルクリーム

(パニシング)

本 舗

所 究 研 オ レ ク

一四二ノ三川品北區川品市京東
番 九 七 九 一 輪 高 話 電

貴金屬・鼈甲・珊瑚・寶石裝身具
小間物・特選雜貨・帶留頭飾品

東京市淺草區駒形一ノ六

合名會社

丸新東京店

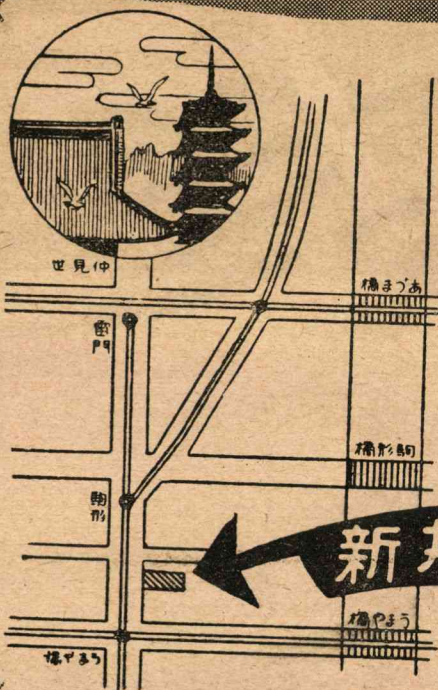
新設

代表者 中川敏二

雜貨

セルロイド容器一式
婦人子供洋裝雜貨

電話淺草(84)二八五四番
振替東京三九六五二番
取引銀行安田銀行淺草支店



ESSEX

エセツクス養爪料

優良國産品!

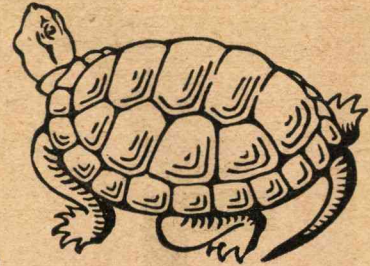


東京
本舖 小島屋商店
電話淺草五〇二二

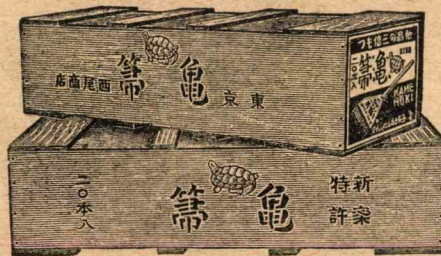
新案特許

登錄商標

龜箒



十二本入箱詰



見本御入用の節は
御取引店又は本舗
へ御照會被下度候

龜の子東子本舗

西尾正左衛門商店

東京市瀧野川區瀧野川町一八四五
電話大塚(86)六一〇一番・六一〇二番
71

使ひよき
經濟的室外用箒



ユニオン香水



既に定評

フケ、かゆみ、抜毛を
防ぎ頭髮に榮養を與へ
發毛を促進する絶品

本舗

古屋ユニオン商店

東京市日本橋區蠣殻町四丁目三番地
電話茅場町(66)六〇九五番
振替口座東京四一七四七番

長期建設に

優秀製品を！

マスターの七大主力製品

肌の専門栄養薬ラセラシ應用

マスター バニシング クリーム

新製「別型小」發賣

マスター コールド クリーム

肌色の粹6色・新製發表

マスター ホーム パクト

マスター ハンド パクト

新鮮な色味・複合微粒子の自然
化粧をつくる

マスター 千 番 粉 白 粉

マスター 百 番 水 白 粉

マスター 五百番 粉 白 粉



マスター バニシング

堂美尚社會式株品粧化一タスマ

地番一町館區市縣市京東

〇六六
〇七八 } (坂赤) 話電
六三三
四三三

番二〇八三七京東 座口替振

東京製品！

CK

定評ある...



品	製	屬	金
器	容	驗	石
器	容	品	粧
入	シ	ラ	ア
入	草	煙	卷
ト	ク	パ	ン
器	容	製	ム
入	粉	白	製
入	草	煙	屬
函	小	製	屬
ス	ツ	ホ	ン
器	金	貯	入

國立貯金器發賣本舖
井上小四郎商店

東京市淺草區淺草橋一丁目

電話淺草(84)四〇七四番
振替口東京座三五〇四番

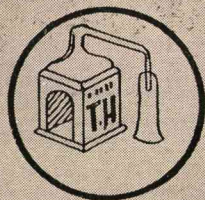
品	製	ド	イ	ロ	ル	セ
器	容	驗	石	製	ド	イ
入	粉	白	齒	同	同	同
ク	ツ	サ	シ	ラ	ア	同
器	容	品	粧	化	筆	同
入	草	煙	卷	同	同	同
入	ト	ク	パ	ン	コ	同
器	容	フ	パ	同	同	同
函	函	香	針	同	同	同
貨	雜	向	出	同	同	同

香料



飲 製 一 化 香 白 ポ ク 香
 料 菓 般 粧 粧 粉 マ リ
 水 用 用 水 油 用 用 水
 用 用 用 用 用 用 用 用

長谷川藤太郎商店



佛國デロン香料會社關東代理店

東京市日本橋區本町四丁目

電話日本橋(24)三四八一・三四八三番 振替東京五一三八番

毛がしんなりに麗はしくなります

ツマ



近代的な明眸をつくる
 スタア麗人達の愛用具！



¥ 2.50

¥ 3.00

..具粧美の毛ツマ..

ビウラは、マツ毛を上向きに美しくカールする唯一の美粧具です。ビウラによれば、どんな人でも雑作なくマツ毛のカーラッシュが出来て、お顔に素晴らしい近代的魅力が生れるので非常に喜ばれます。
 スタア麗人たちの、あの長いチャームングなマツ毛と明眸の輝きは、みなこのビウラ美容工作によるものです。

ビウラ

堂 芳 啓 東京 元賣發
 堂 生 花 東京 店理代

化粧品製造・販賣高

東京小間物化粧品卸商同業組合調査

製造額

種類別	昭和十二年度	昭和十一年度
齒粉	七、三六、三三〇	六、六六、五九〇
白粉	三、七〇、八五四	三、四九、一六三
洗粉及シャンプー	六三、七六九	六〇、〇八二
化粧水及化粧液	一、九〇、九四五	一、七五、六八八
クレンジング	三、七五、八八九	二、八七、九六六
香水	四〇七、六四〇	四〇六、五六三
香油及煉油	二、〇四、〇八六	一、七〇、七四〇
其他化粧品	一、二五、七六六	九三、九六〇
合計	二、〇五、六八八	一、八四、二八〇

販賣額

種類別	昭和十二年度	昭和十一年度
石鹼	二、九〇、〇四三	二、三三、二四〇
齒粉	九、三九、六六八	八、四四、五九九
白粉	五、〇二、四八八	四、七四、三三四
洗粉及シャンプー	一、〇〇、八三三	八三四、九四四
化粧水及化粧液	二、二六、九三〇	一、九四〇、七四四
クレンジング	四、九六、六九八	三、七四、三五六
香水	五、三〇、〇九六	五、三〇、〇四八
香油及煉油	二、三六、八三三	一、九〇、四〇六
其の他の化粧品	一、一七、七〇〇	九〇、八八三
合計	三九、三六九、六九三	三五、五四〇、四三三

生産販賣

快報が世間に對する氣兼ねを追ひ拂つてこの七五三景氣の爆發と云ふことになつたのであらうが、これから見ても潛勢的な購買力と云ふものは、相當高く評價しても然るべきであつて、材料自給の道さへ開けて居れば、わが小間物界の前途は長期戦下に於いても敢へて憂ふるに足らずと見られた。

純綿に代るス・フが襟芯、乳バンド、パフ等に入り混んで年末近くなるに連れ市場に出廻り始めたけれども、前記のもののは洗濯して使用すると云ふが如き性質のものでないから品質の變化が左程目立たず、若干耐久力に見劣りするところがあつても、國策に協力する意味から需要者の自覺に俟つて行かねばならず、その上純綿物も小出しながら出廻つて、不自由を感じず、今年ほど明らかに見ても悪い年と云ふ程ではなかつた。

洋装雜貨

女性が職業戦線に於ける有力な部隊と認められるやうになり、ことに事變で缺けた男子の後を補ふことが多くなつてから婦人の洋装がいよゝゝ本格的になつて、従来の如き春から夏に掛けての季節的性質は全く解消し、秋から冬になつても洋服を着用するのが普通となつて來たので、洋装雜貨も一年を通じての商品と進化して來た。

今年、統後緊張を示す意味から洋装一般の地色等が沈んだ落著きのある色合となり、仕立も力めて實用本位に傾むい

て居た關係からそれらの地味な調子を何處かで補はうとする意志が働いて、服飾品に心を用ひることが強く大型のパンツとした感じのブローチが殊によく賣れた。それも高級品は殆ど問題とするに足らず一般向きの安價品に於いて顯著であつた。これは男の背廣と同じく、婦人の洋装が大衆化した顯れと見られる。この業界でも、使ひ馴れた眞鍮の使用禁止は殊の外打撃であつたが、これに代るにアルミニウム、セルロイド、ラクトロイド等を動員して何かと不自由ながら國策の線に沿ふべく努力を怠つては居なかつた。又木製品の出出が著しく、材料の不足を補ふばかりでなく、調子の變つた目新しい商品が續々出現した。バンド用のパンツは、洋装それ自體が、バンドを必要としない型が多いので、面白い賣行を示すまでには至らなかつた。ここ二三年來賣れるやうになつた、ロケットのペンダントは、今年も順調な足取を示した。

が、洋装雜貨の分野である腕輪は、矢張り餘りバツとしなかつた。洋装に使用するクリップの需要は、昨年にもまして増加し、頭飾品中の寵兒になり了せたかに見え、意匠の嶄新さと相俟つて今後益々有望となる見込である。

朝鮮から滿洲、北支へ向ふ商品も著しく目立ち、内地向け同様のものが好調に消化されて行くが、その賣行は内地に比較して一層派手で、活潑を極めて居つた。商品の配給は原料の缺乏と、代用品加工に對する職人の不馴れのためにとかく圓滑を缺き勝ちで、順調な賣行が控へ

袋物

袋物類は、之を皮革絨制以前と以後とに別けて見ることが適當である。一月、二月、三月と春の見本市までの間は材料拂底その他で買氣は比較的旺盛であつた。その後その情勢を續けて六月に至り、同十九日日曜日の新聞に皮革製品製造禁止と云ふ記事が掲載されるや、その前後から噂だけはあつて皮革製品の買氣が濃厚に見えたのが、俄然その速度を昂めて、取引は一層慌しい状態に陥つた。それから七月一日に本格的に皮革の使用禁止となり、全業者の手持品調査と併行して今後はその都度使用許可を受けると云ふことになつたのであるが、革の性質上特定の用途に使用する目的で製造され、他の用途に轉用出来ないものは地方長官の許可を得れば八月末日まで製造しても差支ないことになつて居たので、製造家の方でも制限までの間に準備して八月一杯の許可を受けるために届出たストック

小間物製造・販賣高

東京小間物化粧品卸商同業組合調査

種類別	昭和十二年度	昭和十一年度
日本髪用櫛笄	三七、八六一	二四、九九二
日本髪用簪	七、七〇八	一四、三〇二
東髪用櫛	三、六三二	五四、一四
東髪用ピン及髮止	八九、二〇〇	三三、二五二
髮掛及根掛	二八、三四一	七五、三三
鬘	二五四、三〇二	五七、七六六
鬘、附鬘、入毛	二〇五、二四	三三、一〇四
金屬石鹼容器類	二四八、二二	二八、〇五五
婦人洋裝雜貨	三三、八六四	二四、〇〇六
セルロイド雜貨	一〇、五五六	一、二九、二六五
洋裝附屬品	四三、二四四	七、六〇四
羽織紐、鈞、時計バンド	四、〇二〇	
帶附屬品	二〇九、九六四	
襟附屬品	一〇〇、三四六	
リボン、レース	五七、三九一	
ゴム製雜貨	三七、五六六	
石鹼容器	四九三、六九四	
化粧品容器	六三〇、五七九	
化粧用器具	一六五、六五	
縫用具	五七、〇八三	
其他	四、八五三、二四四	四、〇〇、〇〇〇

量が百萬坪に達したと云ふことであつたそれを八月三十一日までに製作し終つて後は軍の使用に當ると云ふ話であつたそれで、七、八兩月中に秋から冬のもので、製造家は競つて馬力をかけ、八月末で一先づ打切となり、續いて価格は全くの暴騰であつたが、それから九月以後も毎月使用を許可すると緩和せられたものの工賃及び原料皮革が上り、一般に製造の標準が高いので値段は割合に高くなつて居た。その上民需のものに對してはタンニンの使用が不可能であり、染革が出来ないために、現に皮革商と製造家の持つて居るものだけで一段落となるわけであつたから、革の使へる範圍は規則の改正で廣くなつたが、値段は引下らなかつた。即ち袋物類の製造に當て得る程度の手持品の量には先の見透しがはつきり附いてしまつたからである。

皮革の使用禁止と同時に、代用品の問題が急速に勃興して來たのであるが、何と云つても十三年度は、軍需にも輸出にも向かない皮革の材料が現にあるために代用品の需要は本格的に進展するまでに至らず研究途上と云ふことに停まつた。一體、代用品工業そのものが、時局の波に乗つて居るのでその生産費が割方安くなく、一例を挙げれば水産皮革の如きものは皮を取るために魚獲して居なかつたから、これから革を取らうと云ふことになつても科學的研究の不足に災ひあつた皮革の大量生産には到達して居なかつた然しながら現在のところ代用品工業は國策會社としての大資本の支持を得て居るので、この状態が續く限り、皮革代用品の前途は注目し値ひする。

次に個々の商品に入つて、その代表的存在であるハンドバックの一年を眺めて見る。先づ皮革の使用制限と云ふ打撃を受けてからのハンドバックの世界はどう變化して居るか。

外出用の七ツ道具入れとして殆ど生活必需品に近いハンドバックではあるが、何とか代用品を使用しなければならぬ一年であつたばかりでなく、しかも金屬の使用制限さへ加はつて口金の新規地金の購入が罷りなくなつたので下半年からの製造はどうしても、従来の體裁を改めなければならぬ事になつて來た。そこで商工省主催の代用品展覽會等に於いて再々宣傳せられた如く獸皮代用の水産皮革即ち鮫、うづぼ、鮭、鯛から蛙及び蛇までも皮革飢饉のハンドバック界に動員されて來たのであるが、製革技術や細工の仕方に不馴れな爲に婦人の愛用を蒙るに至るまでは一寸距離が残されて居る。それに未だ市場には在來のものが相當幅を利かして居るから代用品は珍奇性を以つて目を惹いた程度に留まり實用の域には及ばずして新年を迎へたのであつた。然しうづぼや蛙などの味は却々捨て難いものであると云ふ。又あざらし等も一役受持つて登場して來るし、從來の獸皮もその後細々ながら許可せられて命を繋いで居ると云ふやうな事情で、革製のハンドバックが全然消え失せる虞れは先づないものと見られる。

それに、純國産の絹織物——例へば糸錦、佐賀錦、蠟結染等が時局の波に乗つて代用品の名乗りを擧げ、昨秋から今秋にかけて流行を極めたショールの刺繡入りビロード地と共裂地で以つて造つたのもあれば、箱根細工式の細木を列べた木製のハンドバックも現れると云ふ具合で材料の缺乏と云ふことは氣遣ひ無用であつた。用途から云ふと革製品は大體洋裝向、實用向であり、裂地製は訪問用の和服にふさわしい。又口金に於いても工夫の著しいものがあり、金屬の代りに木口が目立つて來たが、これは今まで大概裂地にのみ使用されて來たのを、金屬の使用制限後は革製品にも使用され始め、財布の口のやうにパンチ留とするもの、革でくるんでポツチ留とするもの、或ひは漆塗りの組み合せ木口とするもの等各種各様の新木口が現れて居た。

その他セルロイド、煉り物、陶器の口金等も出て居る反面には、口金止式のハンドバックにも飽きが來たか昔流行つた手提バッグに逆戻りする傾向が可成り顯著になりつとあると云ふ新事實が見られて來た。その形は平凡な矩形に止まらず四角、橢圓、蛤型、梯子形等材料と色彩に應じて千變萬化の觀があつた。

つまりハンドバック界は非常時の物資統制が反つて流行に拍車をかけて興味を増す結果となつた。大衆向のものに就いては、都會地方を問はずレザー製品の出が目覚ましくこれも昭和十三年度に於ける收獲の一つであらう。

墓口、札入、名刺入等の小物もハンド

化粧品製造・販賣

大阪化粧品同業組合調査

種別	昭和十二年度		昭和十一年度	
	製造額	販賣額	製造額	販賣額
白粉	五、八二、三四	四、八六、〇三	五、三六、九一	四、六六、〇三
洗面粉	一、二七、四〇七	一、〇六、九三	一、二七、四〇七	一、〇六、九三
齒磨粉	六、四四、二八	六、〇〇、五五	六、四四、二八	六、〇〇、五五
クレンジング	三、三〇、五〇	二、九六、〇一	三、三〇、五〇	二、九六、〇一
香水	八、二二、〇六六	八、八六、四〇一	八、二二、〇六六	八、八六、四〇一
香油	一、〇七、〇五五	一、〇九、〇三三	一、〇七、〇五五	一、〇九、〇三三
ボーマード	九、三九、八八	八、七三、〇六九	九、三九、八八	八、七三、〇六九
髪膏	三、四四、七二	三、九一、四五	三、四四、七二	三、九一、四五
チツク	五、五九、七三	五、〇二、三五	五、五九、七三	五、〇二、三五
口紅及頬紅	四、四四、六四	四、〇〇、八六	四、四四、六四	四、〇〇、八六
化粧水及化粧液	一、七三、八五六	一、六四、五九	一、七三、八五六	一、六四、五九
パウダー	四、七三、〇二	五、〇二、〇三	四、七三、〇二	五、〇二、〇三
其他の化粧品	五、〇二、〇三	四、三三、五六	五、〇二、〇三	四、三三、五六
合計	三、四七、七三	三、三三、五六	三、四七、七三	三、三三、五六

バックと略々同じ傾向であつて、材料の研究が統制後に著るしく深くなり、蛇らうつば、蛙、絹革その他一般擬革の製品で纏まつたものが出来るやうになつて来た。それから、今まで眞鍮を用ひて居たのに代つて鍍金が非常に進歩し、見掛は眞鍮に劣らない程の立派なものが工夫されて居つた。

セルロイド

一から十まで全部國産と云ふ惠まれた状態にあるセルロイド界は「代用品普及會」まで設立して金屬などの統制物資を原料として來た各種雜貨の製造難を緩和しようとするので來たのであつたが、セルロイド業界に一番強く響いた事變の影響は働き手の不足であつた。凝して商品個々の單價は安いものであるから、高い工賃を出すことが難しく、この點時局産業たる軍需品工場等は比べ物にならないので職工をその方面に吸収されて了つて折角の研究により代用品が完成して、注文を受けて見ても仕事が間に合はないために、納品が旨く運ばないと云ふ悲劇が繰返されたのである。しかし何れの工場も注文は手一杯引受けて居るので、同じ悲鳴を擧げて、十三年度の悲鳴は一面業界繁昌の嬉し、悲鳴であつた。素地の供給は、國策に則る大日本セルロイドの方針により、一キロ最低一圓五十五錢最高三圓八十錢と、昨年の事變勃發以來少しも變動がないために、それが及んでセルロイド製品の値上げは、他の製品に比

較すれば殆ど無に等しい有様であつた。セルロイドの安いと云ふ原因の一つは主要原料樟腦の値段が變らないことにもあるが、學術的研究の進歩の結果生地の生産費が、従前に比して軽減されたことも原因して居る。その上片一方の原料襪襪は輸出禁止となつて居るので、之も入手に困難と云ふ程のことなく、前途は可なり樂觀して可なりである。

代用品として著るしい進展振りを描いた代表的なものは、金屬製の洗面器及び湯籠不足の後釜を占めた進出であるが、金屬製玩具の製造禁止から、この部門にも従來に倍した勢ひを以つて、セルロイド製品が氾濫し始めた、その他文具に於けるセルロイド製品の地位も、著しく強化せられ、就中女學生用裁縫箱等は、全くセルロイドによつて占領され盡して了つたかの如き觀がある。筆や、圖書用品のセルロイド化も際立ち、従前からセルロイドの領域として認められて居たコンバクトその他の身邊裝飾雜貨類に於ける全面的進出體形を考慮の中に加へるとこの一年間に實證されたセルロイドの使用價值は、實に偉大なるものであつた。このやうに内地向は今を盛り我が世の春を謳歌し兼ねまじき股振張りであつたが、一轉して輸出方面を検討すると、ここには、遺憾ながら前年に比して總體引つくる三割減見當と云ふ香ばしからざる事績がもたらされた。これは主要輸出先である米國の不景氣が大なる因をなして居たが、對日感情のよくなると云ふことも見逃せない。それで、次々と趣向を

變へた新製品を出しては居るが、相殺するとその成績は、前年よりも劣るものとなつて現れる。

なほ、圓ブロック向、シンガポール、印度方面は事變後に於いても比較的良好な積出を續けて居るのであるが、頼みの綱圓ブロック仕向品には、運送の困難と云ふ痛が伴ひ、手許を離れても何時船積されるかのつかないこと云ふことであつた。しかし時局柄、輸出振興が最も國策に叶ふものであることを認識した業者は第三國向輸出の註文は、あらゆる條件に耐へて、これを引受け、國策順應に邁進すべきことをモットーとして來たのである。

なほ、代用品時代の到來を好機として乗出したセルロイド普及會の七月一日から十月七日までの結果を綜合すると次の如き數字となつて來る。即ち相談受附總件数は六六二件で、その内容は

- 製品に關するもの 三七二件
- 加工に關するもの 一一八件
- 轉業に關するもの 七六件
- 生地に關するもの 五二件
- 雜件 四四件

となるが、特に製品に關するもの、内譯を見ると

- 容器關係 一三六件—罐詰の罐、お茶の罐、藥品、菓子容器等
- チューブ關係 七四件—齒磨用が最も多い
- 文具關係 五二件—鳩目、ペン先、筆人等
- 靴履物關係 二八件—靴底、踵等

口紅及頰紅	六〇、九七	六八、三五
化粧水及化粧液	二、七六、三三	二、六八、三七
パウダー	五七、八三	五九、五一
其他の化粧品	一、〇三、四七	九九、五七
合計	三、一六、〇六	三、一七、六五

石鹼製造數量・價格

東京石鹼製造同業組合調査

種類別	昭和十二年度	昭和十一年度
化粧石鹼	二、七、九〇打	二、七、八〇打
洗濯石鹼	二、二六、七〇〇	一、〇五、六〇〇
粉石鹼	三、五九、一〇〇	三、五三、八五〇
工業用其他	六、九、九〇〇	九、九、九〇〇
粗製グリセリン	三、一四、六〇〇	二、七六、〇〇〇

價格

化粧石鹼	二、六〇、八〇〇	二、六〇、七〇〇
洗濯石鹼	六、五六、八〇〇	六、五三、八三〇
粉石鹼	一、三五六、九〇〇	一、三〇八、六二五
工業用其他	五、五九、六〇〇	五、九六、九八
合計	三、〇、〇九、一〇〇	三、一、九、三三〇
粗製グリセリン	三、二四、六〇〇	三、二八、〇〇〇

装身具關係 二二件・眼鏡四、卸一三、美鏡七、フアスナー七
喫煙具關係 一二件・巻煙入その他
この外家具の一四件、建築材料の一四件、洋傘の八件、醫療器具の八件、一般器具の六件等がある。しかも、以上は何れも事變後に於けるセルロイド進出の分野を示唆するものであるが、その第一年目に於いては、將來の廣汎な範圍を豫想せしむる程度で、多くは試作研究中の状態に終つた。

化粧品

クリーム

十二年暮から十三年春にかけてクリームの荷動きは活潑を極めた。これは南京陥落以後の明るい気分に加へて、化粧品課税の實施が當然来るものと豫想されたところからそれに續く値上げを見越してその前に出来るだけ仕入れて置かうとする販賣業者の假需要が、新規註文の形となつて、各本舗に殺到したためであつた。それに寒氣が厳しかつたことも手傳つて實際の需要も相當にあつたのである。そして、この繁忙状態は三月一杯まで續き注文には追はれ勝ちのため、配給は頗る不十分であつて四月一日の課税實施を契機とする値段改正が矢つぎ早やに行はれたにも拘らず問屋、小賣店方面の要求に副はうとする本舗筋では、その後長期にわたつて前替奉仕の策に出たりして四月五月と、依然市場は活況を極め、例年ならば大特賣發表の噂で氣負ひ立つ六月下旬

に入つて、やつと一段落と云ふことになつた。従つてクリームの特賣戰は今までと全くその行き方を異にし、期節が遅れたばかりでなく、その出足もまち／＼で業界の豪華版特賣風景は認められずに終つた。それでも、七月中旬に入るヤレト本舗の發表を皮切りとしてオリヂナルウテナ、マスターと續き、八月にはクラブ及びヘチマの發表があつて漸く一巡の形を整へ、賣込と同時に滞貨の消費を促進する愛用者優待の直接宣傳で、激しい販賣戰が展開された。事實、特賣蓋明けの七八月は上半期の反動から若干閑散振りを呈して居たのであるが、九月頃からそろそろ荷売れを脱して需要が動き出し消費節約獎勵や景品附特賣の取締強化などに脅かされながら、生活必需品としてのクリームの地位は毫も變動することなく、賣行は確固たる足取を残して居た。

價段の方はどうかと云ふと二、三月の買急ぎでどの問屋及び小賣店にも舊値の荷物が豊富に手持してあつたので、小賣値は一般に強含みと云ふ程度で、新値に移行したのは極めて稀であり、特別に賣足の早いものを除いては、大體舊値で賣られて居た。これは問屋から小賣屋へ行く場合も同様で、前替サービス等で入り込んだ荷物が消化し盡されなければ新値の實行は困難であらうと見る向が多かつたが、それも何れは時の問題に過ぎなかつたのである。

本舗の主張する改正値段勵行が市場に停頓して居る滞貨の牽制を受けて、依然混沌の域から抜けられない——この現象は課税と云ふ大異變に當面した業界自體の混亂の餘波がなほ、下半期にまで及んで漣程度のあほりをあちこちに與へて居たのであつて、それは漸次靜止の姿に歸るべきものであつた。

それから、一時に荷物を出す場合はそれだけの税金を前以つて本舗が立替へなければならぬと云ふ事情から、各本舗とも三四月頃の注文を特賣の名に於いて七月になつて一齊に出すと云ふ遣り方を避けて、注文があり次第に地道にそれに應じる風が強まつて來たので、とかく華美に流れ勝ちであつたクリームの取引が漸く常態に戻つたかの如き感があつたのも昭和十三年度の特徴であつた。これが業界人の一致した見方であるところを見ると、今までのクリーム戰と云ふものは、謂はば競争上已むを得ず採用して居た策戰と見られる。

原材料の拂底、生産費の昂騰及び税金の負擔等を計算すれば商品の一個々々がこれまでの觀念では割り切れないほど大切なものとなつて來たので、その氣持が反映して商賣の方にも内容を第一とする堅實な方針が萌し、これが結果となつて現れたのが取引の常道復歸となつたのかも知れないが取引の堅實化は、必需品として大衆生活に缺くことの出来ないものがあるクリームに取つて決して忌むべき傾向ではなかつた。しかし、この現象が今後にわたつて繼續するか、それとも昭和十三年度に限るかは遽かに豫斷は許さない。

石鹼製造數量・價額

大阪石鹼同業組合調

種類別	昭和十二年度		昭和十一年度	
	數量	價額	數量	價額
化粧石鹼	二、三、八、七、一	四、〇〇〇	二、三、八、七、一	四、〇〇〇
型棒石鹼	二、一、〇〇、〇〇〇	三、〇〇〇	二、一、〇〇、〇〇〇	三、〇〇〇
粉末石鹼	一、九、一、〇〇〇	二、〇〇〇	一、九、一、〇〇〇	二、〇〇〇
合計				

石鹼卸賣業者の販賣數量・價額

大阪石鹼同業組合調

種類別	昭和十二年度		昭和十一年度	
	數量	價額	數量	價額
化粧石鹼	二、三、七、五、〇〇〇	三、〇〇〇	二、三、七、五、〇〇〇	三、〇〇〇
型棒石鹼	一、八、五、七、〇〇〇	三、〇〇〇	一、八、五、七、〇〇〇	三、〇〇〇
粉末石鹼	九、二、六、一、四〇〇	三、〇〇〇	九、二、六、一、四〇〇	三、〇〇〇
合計				

又、量り賣の下の下にクリーム界に一分野を劃する安物はどうか。これは値が安くて消費者にも手軽である點が人氣を呼んで目立たないながら需要増の道を進んで来たのであるが、安價を冀つた果は品質は問題にならずと云ふ社會通念を作り上げて了ひ、それが事後の原料騰貴から「安い」と云ふ一大特色にまでひびが入つた形で、その經營は、いよいよ困難に傾むいて来た。

次にクリームの原料で、最も問題になつたのは、香料であるが、この一年分だけは、殆ど質を變へずに送出すことが出来たし、進んで香料自給の建前から香料研究に乘出すなどの本舖もあり、現在の國內ストックが切れる頃には國産品を以つてしても需要者に變化の感じを與へずに濟むと云ふことの見透しがついたやうである。コールドクリームの原料流動パラフィンの輸入が止まつたのでこの點若干の氣遣ひが残されて居たが、これも今までの分は、間に會つたから代用品の登場が必要者まで行きわたるの、今後に屬する。

グリセリン、ステアリンなどを見ても國産であり餘るグリセリンは別として、ステアリンの五割内外の値上りなど、一般のものに比較すれば事變下に於ける影響の少い部類である。更に進んで容器の問題に觸れて行くと鐵力の配給制限やら包装用品の割高などが利いて何とか適當な打開策を必要とする云ふ意見が、有力になつて来たが、永年の商習慣がもたらす安全第一主義は

急激な變化を迴避しようとする氣持を強くし、鐵力蓋がベークライトやラクトロイドに轉向した程度で、掛け聲ほどの變化は認められず、幾多の懸案を内部に包藏したまま、新年を迎へることになつた。

ポマード

外部からはイガ栗獎勵で壓迫を感じ、内部では原料カストル油の品切れに手も足も出ず遂ひに特賣の淋しい業界風景を描いた今年のポマード界であつた。然しその一年を細かに見て行くと、一月頃から課税に伴ふ値上げ見越しから二月、三月と續いて荷動きが多く、例年の調子を破つて好調を持し、上海南京路落後の明るい氣分まで手傳つて、上半期は豫想以上の賣上げを見ることが出来た。下半期に移つても大體例年程度の推移を示して居つたが、七月頃から物資統制がひびいてあらゆる材料及び原料品の供給不足から操業に不自由を感じるやうになり、特に秋口に入つてからは主要原料カストル油の軍需増から民間への出廻り少く、十月、十一月となつて全く市場に油がなくなつてしまつた。

ポマード本舖は、大小となく、これにはすつかり閉口して、關西から遠く九州邊までもカストル油探索の手を伸し、カストル油に對する本舖の觸覚は異常な鋭敏さで働いて居たのであるが、どうにも打開の道がないので、業者は一齊に起上つて、商工省の門を叩くことになり、東京愛油同業親油會を主體とするカストル

飢饉切掛け運動は、十一月に入り業界のカストル油使用実績を取まとして商工省に申告するまでの具體的進み方を見せたのであつた。

かうした原料難の實情から販賣方面に於いて積極の方策を取ることが許されず前例にないほどの消極的態度に出ねばならなかつたのであつた。その一因には既に、二、三月に於いてあり餘るほどの荷物が出た後であると云ふ事情もあつたが夏がれを過ぎて秋の商戦期に臨まうとするに當り、ポマードの特賣を發表した本舖が僅か一軒と云ふ寂しさであつた。

その他の本舖は或ひは發表を中止し、或ひは準備全く成つたのを急に見合せる云ふやうなことで、ポマード界に於ける原料難の打撃は實に大きかつた。一縷の光明を掛けて居た新種の出廻り時期が過ぎてこの形勢が緩和されさうもなかつたが、年末に近づいてから南洋からの輸入種が民間に振向けられるらしいと云ふ風説が巷間に傳はり、ストック食ひ繋ぎの心細い状態にあるポマード本舖に仄かな希望の影を投じた。

カストル油缺乏に乗せんとする代用品の簇出はこれまた業界の苦悶を他所目にして却々の壯觀で、各本舖筋に持込まれた試用品の數は、代用品時代なるかなと深く感歎せしめるに足るものであつたがカストル油に馴れた消費者を満足せしむるに足ると認識された合格品は殆どないらしく、結局代用油を使用すると假定しても、それは本舖自身の研究に成つたものでなければならぬと云ふのが、業界

最近五年間業界 關係品生産統計

商工省昭和十一年工場統計表に據る

白粉		齒磨粉		香油		香水		品目
數量	價額	數量	價額	數量	價額	數量	價額	
180,583	500,381	110	242	58,874	94,365	28,549	150,076	昭和7
185,790	6,302,560	220	7,375,779	26,848	2,220,029	40,204	559,009	8
629,674	583,488	25,047	955	56,571	73,088	28,821	200,169	9
243,568	7,920,812	1,603	9,290,626	35,205	2,903,271	43,993	588,184	10
49,562	1,496,336	2,629	34,195	122,051	121,309	37,269	166,958	11
	7,476,477		10,135,634		2,939,306		660,547	
	1,187,348		3,584		101,580		473,083	
	7,101,929		10,234,243		2,877,537		713,388	
	233,181		11,550		171,508		443,637	
	7,576,549		7,522,525		3,732,846		854,341	

側の一致した意見であつた。
一方販賣面に於いては、大陸の長期建設を國策とする以上、統後國民の心構へがより高揚されねばならぬと云ふところから男子の五分刈が喧しく云はれ、このためにポマードを使用するのは時局の精神に反するが如き見解が一部に行はれたこれは特に地方或ひは植民地に於いて甚しかつた。

そして地方の小賣屋には手持品が賣り切れないとその後仕入を行はない風もないのではなかつたが、これ等の現象も大部分の消費層を有する都市では問題でなく、事實賣上げに反映した実績から見ると問題とするに足りなかつた。
上半期に於いて大阪方面から大々的に賣出した二三の新製ポマードは、發賣當時は華々しい宣傳と一緒に順調なスタートを傳へられたが、その後の社會情勢の緊迫は、之等の後進に如何響いたか。既製有名品の牙城を抜くまでに成長するには相當の時日を藉す必要があるのではないかと見られて居た。

然し、その同じ有名品にあつても、結局品物の豊富に用意してあつたところが有利で、出荷が自由に出來たところは、歩のよい相撲を取ることが出來た。加減しながら注文に應じて行くこと云ふやうな營業方針は、實に業界始まつて以來の珍現象であらうが、これも日支事變と云ふ非常時局柄なればこそ見られたのであつて、軍需品と緊切な關係を持つ原料に依存するポマードが、業界に於いて時局の影響を受けること最も大きく且つ深刻であつた。

七月十六日カストル油の公定價格工業用百斤四十圓と決定して以來急激にポマード界の不安が増大して來たのである。その前には内地需要の外に三月頃から天津及び上海等北支中支要地向けの荷物が洪水のやうに動いて上半期の好況に一段と光彩を増したたのである。これは事變によつて杜絶して得た取引が治安の恢復と同時に舊狀に戻り、一遍に註文が殺到したためにその印象が強かつたのであるがその後永続的に取引が行はれつつある出鼻を挫く、原料難は、國策的にも口惜しい限りである。

滿洲産原料の一手管理の外に南米及び南洋産の原料輸入困難が、カストル油市場出廻り皆無と云ふ事情を招來したのであつて、工業、藥業に次ぐ業界の立場とすれば、日支の交戦状態が續く限り、豊富な原料を待望することは困難と見られて居る。

白粉

外面的には時局の影響が最も強く及ぼしたやうに見受けられた白粉のこの一年間はどうかであつたか。その内容を回顧してみると、これは又案外にも、根強い需要から結果としては少しも悲しむべきものは認められなかつたのである。

先づ、ここにも課税前後の假需要は猛烈にひびいて二三月頃の荷動きは、頗る活況を呈し、それが相當長く持たへられて居たので、その後は華やかな動きこ

そなかつたが普通の年なみの需要に至るところに見受けられた。それと上半期の市況旺盛をもたらした今一つの理由は、消費者直接の買込みも可成りに利して居たこれまでの業界品の値上げは大概建値の改正とか歩率の引締め等おほむ業界内部の問題に限られて居たのであるが、課税を契機とする今度の値上げは、事實上税金額は消費者の負擔すべきものであつたからして、それだけは當然小賣値が上る。即ち消費者の直接負擔になると云ふ切實な理由から買溜めをやつた向が少くない。そのために一時の昂奮が過ぎると幾分賣足が遠のいた氣勢はあつたが、それは前のやうな理由で、必要なものが一時に動いた後の反動に過ぎないのであつて、これを時局の消費節約等と結びつけて考へるのは、少しく先走りの感があつた。しかし、新聞雜誌等に於ける紙面の節約から廣告宣傳に掣肘を受けたことは事實であり、伸びやかな廣告をすることに不自由を感じたと云へば、それは確に時局の影響であつた。が、化粧品の人々に對する魅力と云ふものは、單なる一時の感情論によつて防ぎ上められる性質のものでなく、文化生活の必需品たる實際的必要から、白粉に對する種々なる欲求は一向に衰へた氣配はなかつた。ではその間に事變の影響が決して認められなかつたと云ふと、統後生活の緊張に伴ひ、商品個々の中に若干の消長があつたのは見落せない。その第一はクリーム白粉と言はれる手輕なそしてその効果が餘り目立たない白粉が殊によく賣れた。それか

石 鹼	價 額 計	そ の 他		洗 粉		ク リ ー ム		化 粧 水	
		数 量	價 額	数 量	價 額	数 量	價 額	数 量	價 額
14,994,519	29,269,751	11,388,612	570,323	375,607	29,335	304,118	1,668,732	13,337	19,599
4,170,158			4,053,293		1,686,675		3,215,683		823,670
15,455,922	35,196,563	8,914,015	872,446	427,537	59,795	320,955	1,965,260	1,995	4,656
5,787,931			5,276,566		923,694		3,786,984		751,573
16,225,812	37,674,108	2,965,308	277,485	564,258	54,347	435,472	2,290,598	5,689	13,379
5,182,045			3,267,921		1,481,913		6,135,852		1,121,851
16,482,378	33,110,381	86,091	151,310	475,095	524,578	413,631	2,476,596	10,901	37,652
6,844,320			4,298,423		1,041,425		5,867,649		1,015,056
17,693,443	43,438,264	794,224	431,487	228,346	27,249	74,329	609,872	5,984	15,954
5,556,538			7,687,944		1,717,083		9,138,421		3,264,219

ら十一月から正月にかけて需要期を持つ煉白粉に於いても、白粉下地を要しないクリーム地の上に直ぐに附くやうな特別な性質を持つものが、喜ばれる傾向があり、安易に手取早く化粧の目的を達することが出来るものほど賣行はよかつた。

それから、このところ全盛の勢ひを以つて婦人の寵を一身に集めて居る粉白粉は、ますますその需要を増し、生活様式の變化及びさう云ふ方向に需要者を導びいて行く宣傳方針と相俟つて當分の形勢は變りさうにも見えず、色は相變らず肌色系統が主であつたが、粒子の調査技術はなかなかの進歩を見せ、化粧効果を立體的にする遠見の効くものなどが工夫されて來た。煉は暮から正月、水白粉は夏、粉白粉は時期なしと云ふ通念は前からの通り相場であつたが、消費者に直接接觸する小賣方面では、その區別が次第になくなり、總體に於いて賣行は少しも減つて居ないやうであつた。

婦人の外に出て立働く機會が多くなればなるほど、そうなるのは當然であつて事變下に於ける職業職線への婦人の進出は、何よりも有力にこれを物語つて居る。

次に原料方面を見れば、他の部門に於いても再々扱つて居る如く、亜鉛華の入手難が殊更目立つて居る。これは實に白粉の主要原料と目されるべきもので、これの不足は白粉の製造に容易ならぬ打撃となることは言ふまでもなく、各本舗には、相當量のストックがあることであつたからしてここ暫くは毫も困りはしないが、しかし先行は全くの暗であるからその不

安が必要以上に叫ばれて居るのはあたりまへであり、代用品の研究は非常な勢ひを以つて進められつあつた。或ひはチタニウムを生命とする白粉が出るのではないかと云ふ説もあるが、今のところは高價なるがために問題とならず總べては明年への宿題となつたまゝ、見掛よりも内容に於いてよかつた年を終つたのである。

香 油

香油は元來落著きのある商品であるから時代の波によつて著しい變化があるものではないが、日支事變以來東洋は東洋独自の行き方があると云ふ考へ方が一般に普及して來た結果それが及んで傳統的の國粹美たる黒髪を生じて行かうとする精神が旺盛になり、一頃より見れば根強い需要が再び頭を擡げて來たやうに受取れる。所謂日本髪の大時代な結髪様式に復することは困難かも知れないが、黒髪を尊重する氣持は、一般にずつと高められてその保存と云ふ上から香油は良く賣れて居た。

これは特に有名品を出して居る本舗に強く反映して居たやうで、賣上は向上線を辿りつつあると云ふことであるが、懸つて考慮すると、その裏にはバチ物の逼息が有力な原因となつて居るのではないかと云ふ説もあつた。即ち支那棟或ひは流動パラフィン等に色と香を附けた安物が、事變このかたの國策に阻まれて、原料手當難から次第に市場よりその姿を没し、その空白を有名品が填めて行つて居るのではないかと云ふのである。

課税關係の影響は比較的輕微で、業界が憂へて居た程のこともなく、他の業界品と同じく三月の候は非常に旺盛な荷動を示し、その反動來を慮れて居たところ左したることもなく、滞荷の消化が順調に進み、夏から秋へと靜かな推移を辿つて行つた。原料精油はその年の作柄によつて價格に非常な開きがあり、ここ二三年は不作が續いた上に補助原料の輸入杜絶で騰勢を持続し、昨年十月頃は二罐詰一箱七十圓弱を唱へて居つたのが、今年に入るや作柄良好が利いて六十七八圓に落ちたところ、その後伊豆方面が暴風雨のために被害を受けて豊作豫想が覆され、平年作以下になつて了つたので豊作の九州物までを強氣の中に巻き込み、又々高相場を持続して行くことになつたやうである。

商品の品質は、香料をより有効に生かさうと云ふやうな努力から精製に手を加へることが増加したので、名の通つて居るものは年々改良されて、格段の進歩をなして居る。容器に於いても一寸氣懸りになるのは瓶蓋のユルクだけであるがこれも氣遣ふほどのことはなく、香料類についてはその方面の間屋が、從來の顧客筋に對しては當分保證して居るから、今急に差迫る問題はなかつた。しかし、原材料の値上りはこの春の課税額だけの値上げ位では補ひさうもないで、特賣の發表なども景品率が詰められてその内容が窮屈になり、内輪の費用を出来るだけ少

その他	粉石鹼		洗濯石鹼		薬用石鹼		工業用石鹼		化粧
	數量	價額	數量	價額	數量	價額	數量	價額	數量
圓	匁	圓	匁	圓	匁	圓	匁	圓	打
428,437	13,283,975	2,508,606 133,444	48,084,916	7,621,747 767,757	300,444	159,911 109,047	3,683,095	852,638 598,048	17,386,515
1,118,112	12,239,914	2,461,455 531,255	46,442,355	8,051,255 1,533,141	97,523	107,891 86,393	6,612,267	1,707,827 850,397	18,026,552
2,037,024	15,364,493	3,193,054 138,571	61,760,606	11,677,113 2,079,620	229,932	242,970 134,774	6,323,989	1,348,308 583,919	20,303,056
3,491,252	15,538,683	3,489,759 638,716	70,833,474	13,400,517 2,137,716	578,444	333,697 144,287	10,425,642	2,519,853 775,503	19,701,131
2,915,031	14,681,900	3,201,589 269,135	91,132,376	17,370,687 852,730	337,825	144,051 162,443	28,330,273	3,334,487 408,368	20,732,405

香水

くして採算を有利に導かうとする努力が認められた。

課税實施を前にして業界が沸騰した二月から三月は丁度香水の仕入時期でもあったので、十三年の香水界は、より一層活況に満ち、その上舶來品の品切れと云ふ好材料がひびいてその出足は可成り好調であつた。一概に修奢品と見做して來た香水に對する在來の觀念が、近來次第に變化して化粧品として誰からも愛好されるやうになるに従ひ、國產香水の内容は著るしく進歩して氣品のある味はひが多くなり、それで居て大衆向を狙つて進んで來たから一頃に比すれば、社會情勢の然らしむるところであらうが、押しなべて香水の消化は樂になつた。

一般に愛好される趣味としてはヘリオトロップ又はシユエブル等が時勢の波に乗り、マネキン宣傳及び紙面廣告を主として需要層の開拓に當つて來た。香水は夏場のものと云ふ業界常識も、次第に變化して來て、オーデオロンなど床撒き用の需要も侮り難く、近代的生活の必需品としてこれまたその占むる位地は年一年と鞏固を加へつつある。

輸入香料の杜絶から原料の不足は製造方面を擧げての頭痛の種であるが、これも他の化粧品と同様、今までのところではストックで間に合つたので大した問題ではなく、不安は寧ろこれから先に屬するのであるが、國產香料の進歩に待てば香

水が全然駄目になるやうな慮れは絶對にない。しかし今の分では、未だ國產香料を使用するまでに追詰められて居ないから今年度邊のものは從來のものと同じくも變りはない。

唯、國產品を一途に頼らうとする種類に限りがあるから匂ひの變化に乏しくなり、各本舗の特色と云ふものが、次第に似通つたものに歸して了うのではないかと云ふ心配が、業界の一部を支配して居つたことは否めない。

アルコールは、五月頃の形勢では、大變な品不足でこのまゝ行つたならば如何なるかと氣遣はれたが、その後特殊な方法で融通の利く道が開け、時局と可なり密接な性質を有する原料を使ひながら一向苦悶の聲を聞かないのは香水界のために慶賀すべきであつた。

舶來品の杜絶から、常識的にその名稱の行きわたつた舶來香水に似通つた匂ひのする國產品の高級物ものに、需要者が轉換して來るにつれて、その勢ひに乗じて國產香水の再認識が行はれ始め、これに業者の研究が加はつて九月までの香水界は、繁忙を極めた。

茲で十三年の香水界に於ける特異な動きを加へると、前年度から持越しした間屋方面に於ける非常な好況であつた。これは主として舶來品を狙つての動きであるが、事變の擴大と共に之等のものの輸入が禁止されるや、大規模な小賣商筋は手の届かざりの在荷品を掻き集めて、これをストックとし、其上に當座の販賣品は又これとは別個に買ひ漁つて居たので

あるから、昨年暮から今年始めにかけての輸入化粧品筋の景氣は、爆發的であつた。そこへ化粧品課税が舞ひ込んで一時落著きかけた波を亦々廻る結果となり、香水を主軸とする之等の品の廻轉は目まぐるしいばかりであつた。その餘澤によつて國產の香水も一緒にその景氣に捲き込まれ、輸入品の見當らなくなると同時に、匂ひの性質や瓶型の似たものが需要の對象となつて乗出して來た。

原料は間に合ふものとしても手一杯と云ふところであるし、需要もさう悲觀すべきものでないところであると販賣の方法に於いて若干の強氣が出て來るのは當然で、自由販賣制度の本舗に於ける常套手段たる特賣などを見ても、從來のしきたりに做つたままで景品率の引締めが特に顯著になり、一方表面に現れる値上げは力めて遠慮すべき時局であるから、どうしても内部に於ける何等かの改善によつて時局の壓迫を免れる外なく、結局香水界に於いても、特賣と云ふやうな販賣形式は漸次その影を薄くするのではあるまいかと云ふ見方が擡頭して來た。

かうした國內狀勢を他所に、遠く前線にある皇軍慰問のために送られる慰問袋の中に香水の一瓶が入つて居たことも決して稀でなく、汗と泥に固まつた戎衣に身を包む勇士に爽快な匂ひを送つて銃後生活の一端を回想せしめたと云ふ朗かなニュースも數多く傳へられた。

人間生活と香料の繋がりには本能的なものがあり、匂ひ、よい香り、よい香りは人間生活に影響してその精神を昂めることに役

子油	大豆油		落花生油		棉實油		椿油		油脂・その他	價額計
	價額	數量	價額	數量	價額	數量	價額	數量		
圓	庇	圓	庇	圓	庇	圓	庇	圓	圓	圓
2,183,052	39,081,867	9,720,108	611,376	227,721	5,829,763	1,306,941	40,583	51,327 54,000		32,344,312
3,182,399	42,742,968	12,790,731	994,564	362,636	9,632,179	2,579,428 2,816	47,190	37,175		37,691,579
2,939,685	52,568,325	13,341,245	1,178,062	457,328	10,154,910	3,012,687	68,931	58,805		42,843,210
4,823,270	43,769,300	15,561,070 218,148	1,139,546	569,023	19,423,297	6,589,024	80,953	57,876 566		50,258,003
6,534,397 22,500	50,699,011	20,015,698	1,028,498	551,299	20,586,401	7,828,788	47,108	41,812 486		51,908,502

生産販賣

立つ。この本能的なものに迎へられた香水が、事變下に於いて尙ヂリノと其の賣上げを増加せしめて居ると云ふことは如何にもさもあるべきことであり、舶來品の入らない今日こそ國産香水飛躍の好機であると言ふところから、香水に關する研究には異常な熱意が拂はれて來た。

然も、これは有名品であつても、消費者を永久に擱んで行くと言ふことはなかなか難しく、その年、その時代に於ける流行の匂ひと云ふやうなものが必ず附き纏ふものであるからそれ等に對する製造本舗の關心は絶えず最高度の注意を以つて拂はれて行かねばならない。

化粧水

化粧水も、その他の化粧品と同じく課税と前後して配給上、時間的に甚だしい不均等を見た。この一事は事變の推移如何に拘らず市場の混亂性を來した有力な材料となり、それに加へて事變の長期戦化はそれが及ぼすところ國內の消費節約運動となつて、大なり、小なり各化粧品に打撃を與へたかに見えた。

その間にあつて、化粧水は、その使用結果が直接外面に表れないと云ふ性質から、他のものに比較すると寧ろ戰時體制下の現在では需要増の一部があつたほどである。その因は下地となつて外部から看取されない關係上事變下に於けるうつて附けの美肌劑として、第三者を刺戟することなく使用することが出來たからであらう。従つて昭和十四年度も、今年度

の延長として見る時化粧水の前途は尙樂觀して可なりと云ふ觀測が行はれて居る。次にこれは、逐年その傾向を高めて來て居ることであるが、化粧水そのものの使用範圍が甚だ廣くなつて來た。勿論これも今後に持越さる可き性質のものであるから、かく樂觀的に見て來れば化粧水と事變とは迂遠の感じがするのであるが併し、何れにせよ原料資材の方面とか或ひは宣傳廣告等のことを考慮して行くと今年はその掣肘の受け方が、前例を見ないほど強烈だつた。それも現に目先の營業が困るとか註文をどうかうすると云ふことではなく、今年はその中の精神的な壓迫によつて、觀念的に營業が伸び々々なかなかつたのであつた。これがために各業者ともより多く内省的になつて、力めてこれまで履行して來た營業方針を再検討して見ようとする機會を自發的に作り出すことになり、氣が附いて居ながらもどうにもならなかつた行き掛りや情勢の正體を、明白に認識し始めたところを以て終ることになつた。その現れとも見られる一、二の現象が、年末に及び取引制度改正の形に於いてポツポツ市場に姿を見せ始めたが、昨年の改正は何れもその内容に値上げを含んで居るか又は後日にそのことあるを匂はして居たに反して、今年のものには全く取引の合理化に重きを置かれて居る。

物資動員計畫の統制下にある原料品に於いても、既に以前からの手當分が豊富であつたので、今年はその影響を身邊に感ずることなく、表面的にはともかくも

平穩な一年であつたと見られる。

シャンプー

シャンプー界は前年度に引き續き平穩な一年であつた。原料は粉石鹼を主とするものであるから大して時局の壓迫を感ずることなく、香料と云つても國産品で間に合ふし、一部礫砂などの如きは輸入品に若干の不足は覺えて來たが、これとて主要品と云ふではなし、衛生思想の發達からフノリ或ひは粘土等を使用して居た向の轉向で需要は底固い歩調を示して居る。それからシャンプーを使ひ始めると洗髪が手軽に出来るので、今まで一月に一回のものが二度になり三度になると云ふ風に、度數が多くなることも、人口の自然増加から来る消費量の増大とも考へられて良いことである。荷動きは矢張り、二三月の課税前と夏の需要期を控へた前頃が一番よく、十月、十一月は全く閑散状態に入つて了つた。

そして、シャンプーとして今年特に目立つたことは包装材料及びその手間賃が内容に比して著るしく割高になつてしまつたことである。

これがために、包装に特殊の意味を持たせて居つたある製品の如きは、思ひつきの容器が反つて仇となつた形となつて居る程であると言はれた。

賣り値が安い故に、かくも速かに大衆に浸潤して行つた、シャンプーであるが、今や中味よりも外装に災されて苦しい採算線を彷徨するとは、これ全く時局

燭	硬 化 蠟		イ ロ シ 油		硬 化 油		牛 脂		椰
	數 量	價 額	數 量	價 額	數 量	價 額	數 量	價 額	
圓 額	匁	圓	匁	圓	匁	圓	匁	圓	匁
4,636,144 316,404	2,476,196	632,182	12,545,310	794,500 7,850	50,148,197	10,022,189 16,938	2,196,878	626,346 39,639	8,993,580
5,001,746 408,882	1,689,347	513,571	3,309,228	449,925 6,827	61,459,240	13,563,868 30,160	2,543,673	789,306 70,000	12,053,473
3,811,722 1,283,763	1,050,512	404,608	3,794,471	599,987 2,829	63,252,226	13,043,601 180,000	1,880,250	630,051	14,774,987
4,006,966 1,194,922	885,778	254,064	6,244,040	828,588 850	83,086,957	19,173,264	6,544,166	2,656,335 39,777	17,598,562
5,961,456 1,096,391	1,464,582	440,692	26,596,064	6,036,355 20,047	75,663,951	21,849,043	2,378,512	885,539 58,019	20,287,150

の影響と云ふより外はないであらう。以上の事情から今年には目ぼしい新製品の現れるもの殆どなく、寧ろ製造本舗の數から行けば、活潑な活動を中止して鳴を潜めて居つたと見るべき向が少くなく、殊に雑品の整理は、昨年にも増して著しかつたやうであつた。かうしてシャンブーにも完全に有名品時代が来たかの如く見られ各有力な本舗はそれらの顧客層を擱んでがっちり腰を据えてしまつたのである。

舶來化粧品

舶來化粧品輸入杜絶の第二回目、全くストック消化の一年であつたこの昭和十三年はどんな動きを示したか。取り立てて問題にするには餘りに淋しい輸入化粧品の世界であつた。

繼續性が望まれないところから各間屋ではストックの整理に乗出し、國産品の間屋に散在して居つた小數の品物までも探し出して客の需要に應じること力めて居たが、その後だん／＼品探しの手を伸して、神戸、横濱等の小賣店にあつたものまで、東京の一流取扱商の手許に集中され、余命はそれ等の商店に残つて居る品だけと云ふことになつた。

名が通つて居て、從來捌け工合のよかつたものは、もう殆ど出盡した形でありどちらかと云へば賣足の良くないのが残つて居ると云ふことに歸着する。

これまでであると盆暮の贈答用に相當多量に出た高級の香水は、時局柄匂ひを

撒き散らす嫌があつて憚りがあると云ふ考へからかこれに代るものと見られる高價な外國製の石鹼が目立つて余計出るやうになつた。つまり、贈答の内容が事變下に於いて實用化したその一端が、ここに示されたと見るべきであつて、石鹼ならば變質せず永く保存出来ると云ふ地道な考へが、舶來化粧品の中で石鹼の賣行を殊更良好にしたのである。品物にするモノニイ、ロヂヤーガム、ウルフミカニミ等がその代表的なもので、一箇一圓八十錢から八圓止りと云ふ程度である。舶來品の詰合せは、品數が揃はないので、年末にはすつかり問題とならなくなつて了つた。七月の中元時には、一、二點の不足を我慢すれば、形は整つたのであつたがそれがだん／＼難しくなつてどうにもならなくなり、その後へ、國産品が進出し始めた。とりわけ、クリーム類、口紅、ポマード、チツク等は、舶來品を使用し続けた一部消費層の間に目立つて進出して行つた。

石 鹼・齒 磨

石 鹼

〔化粧〕

化粧石鹼は、昨年比して四五割の生産増が、一般の情勢である。その中の一部には勿論軍部への納品があり、それと支那及び滿洲向の進出が、目立つて來た結果である。内地自身の需要増は、大體のところ一、二割内外で、新規増産の大部は、大陸市場に負ふところが大きかつ

た。特に、化粧石鹼界に響いた昭和十三年度事變下に度ける現象は、原料の統制であつた。

これがために使ひ馴れた牛蠟を始め海外にその供給を仰いで居た諸原料が全く入手困難となり、これに代るべき原料で自給の道の立ちさうなものを研究したり集めたりすることに拂つた業界の精力は實に莫大なものであつた。しかし、その結果として、原料統制下に於ける一年の後にもたされたものは、決して尠くなく業界は今や、國産或ひは圓ブロッタ内の原料を以つてして、從來の製品とその本質が變らない石鹼を生産し、永續的に需要を充し得る自信をつけることが出来た。それでここに問題として残るものは品質は變らないとしても匂ひの點に於いて幾許かの變化を免れ難いと云ふことである。即ち、香料の輸入は、昨年来殆ど困難視され、リンク制によつて少量額は認められて居るけれども、これは第三國向輸出用に限られて居ることであり今年一杯は、少しも差支へなかつたのであるが、今後國産の香料を使用することが避け得ざる道とすれば、化粧石鹼の匂ひの變化は免れないものと豫想されるに至つた。それが如何なる程度になるかは天然香料のストックに對する國産人造香料混合の割合によつて決定することになるのであらうが、從來の匂ひより質が變ることには間違ひない成行となつた。

これは國策上海に已むを得ないことであるとしても、その變化を如何なる程度で喰ひ止めるかは、業界の負ふべき重大

人造香料	ステアリン酸		樟腦油				木蠟		蠟	
			赤油		白油					
	數量	價額	數量	價額	數量	價額	數量	價額	數量	價額
757,060	1,374,587	4,246,838	1,689,016	1,019,280	469,847	876,319	407,121	3,784,684	1,249,913	8,093,640
1,001,758	1,822,048	6,849,520	2,561,848	819,015	418,694	1,185,131	608,265	4,208,131	1,440,017	11,293,996
1,728,746	3,976,215	11,633,538	3,881,885	929,919	566,461	1,188,078	761,031	4,998,324	1,701,743	8,220,616
1,204,770	3,672,881	18,120,001	5,480,962	915,403	659,191	1,392,925	826,486	4,283,426	1,845,215	8,595,896
1,848,655	4,720,619	11,405,034	5,016,241	1,081,730	809,860	1,479,555	832,184	4,884,419	2,462,458	11,118,409
	222,618		12,650						1,500	

生産販賣

問題である。そしてその變化が表面に現れて来るのは來年度の下半年以後であらうとは關係筋の一致した観測となつて居る。何れより見ても内地市場は既に満腹の状態にあることが、顯著となつて來たから、今後の石鹼界の目標は、一にかかつて大陸進出に歸着するやうである。これは今年度の豫想外の進出によつて明かであり、また各本舖筋の大陸販路開拓の工作も、今や本格的な力の入れ方を見せ始めて居る。この際化粧石鹼が特に注意しなければならぬことは、その品質に於いて、任向先の水質、氣候或ひは又國民性に添つたものであることを絶対必要とするのである。この點は最近著るしく各方面の關心を惹きそれに相應しい品質改良の方法が盛んに研究されて來た。

石鹼の主要原料油脂類に就いては、永く研究されて來て居るので、化粧石鹼に使用しても何等不自由ないのであるが、政府の統制の手が伸びつつあるので、値段に左したる變化がない代りに配給が思はしく行かなくなる傾向があり、苛性曹達や椰子油に於いて殊にこの風が見えて居るから次年度に於けるそれ等の原料は相當逼迫するのではないかと一部憂慮されて居る。その及ぼすところ當然石鹼の製造高にも響き、石鹼の相場は今後ますます強氣に向くものと思はれる。

一頃の中たるみを經過して、年末の多忙時に入ると同時に、來年度の注文が屆いて居るやうな具合で、石鹼界の多忙は又ぞろ再開の氣味となり、各工場とも生産に追はれて年の瀬を迎へた。この忙し

い理由の一つは設備の擴張が全く困難となつて居ることである。七月以降新規模の製造が禁止されてより以來は、新しい設備は無論のこと望みなく、一つ一つの修理にさへ、許可を受けることを要するので、間に合はないのを知りながらどうすることも出来ず、この設備擴大不能は、益々以つて業界を必要以上の繁忙に追ひ込んで居る。

それから、石鹼界を多忙ならしめた需要増の原因に、贈答用に石鹼が實用品として例年になく歓迎されたことが作用して居るのも見逃せなかつた。

事變下、何事も實用を尊ぶ世相下にあつては、安價にして體裁の悪くないものとして石鹼に關心が寄せられたことは非常なもので、この現象は年末の贈答季に於いて特に目立つて來た。

從來簡單な贈り物とされて居た一本の手拭が純綿の使用禁止、ならびにス・フ物の割高から同じ値ならば見立の立派な石鹼をと云ふ注文が、單業者の許には相當に纏つて入つて來た。大工場が軍部の注文等に追はれて、手が廻り兼ねる間隙を狙ふこの種の抜け穴は隨所に見出されたりしく二、三年前の單業者整理の後を承けて、現に操業を繼續中の小石鹼工場は利益は少ないながらもやつと息を入れ得た觀があつた。

單業者の經營難を嘲つ理由の主なものに化粧石鹼の値上げが行はれないところから總じての原料及び材料高に處して算盤が取り難いと云ふ點を擧げて居る。しかしながらこれを大工場の場合に當て嵌

めて見ると、一個一個に於いて内容を削減するとか目方を減ずる等の方法により値上ほどの衝撃を消費者に與へずによりく調節出来る道が見出されるので、大規模業者が率先して動かない限り化粧石鹼の値上げは實現の可能性がない。また濠洲半蠟に代る和蠟使用の場合に於ても、中小業者は規格の不統一の故に、これを原料として採用し得ざる状態にあるに反して、大工場では各地方より買集めたものを一手に纏めて、或る程度の手を加へしめこれを原料として使用して居るなど同一業界にありながらその優劣の差は蔽ふべくもなく各所に見出された。また事變の恒久化に伴ふ平和産業共通の悩み、働き手の不足に於いても、中小業者は第一線の職工補充に困難を感じつつあるに反して、大工場に於いては學識を必要とする技術部門に於いて、その不自由を覺えるなど、統制經濟下に於ける大小業者の利害は、却々一致し難きものがあつた。

石鹼のリンク制

石鹼製造業界では爲替管理の強化から輸入原料の入手困難となるや、國産代用品の研究に着手する一方に於いて生活必需品たる石鹼の品質保持と海外販路維持と云ふ建前から、石鹼原料に關する輸入制限の緩和に對する陳情運動を昭和十二年末から全面的に展開し、再三商工省又は大藏省に迫つて念願達成に努力を續けて居つたが、その間の經驗から割り出して陳情奏効の範圍が漸次明瞭となるや、今度は戦線を狭めて、原料取扱業者及び輸入業者と共同戦線を張り、過去の業績

苛性曹達		薄荷油		薄荷腦		亞鉛華		鉛白	
数量	價額	数量	價額	数量	價額	数量	價額	数量	價額
此	圓	此	圓	此	圓	此	圓	此	圓
75,116	10,502,453	210,002	1,463,340	214,945	4,264,451	15,350,137	4,419,745	617,470	185,932
110,953	22,007,028	289,333	1,844,545	280,839	4,729,770	17,763,021	6,244,862	796,565	251,444
177,773	29,135,759	329,478	2,157,242	297,972	5,455,504	16,423,208	5,664,436	795,277	249,368
233,288	34,971,326	438,456	2,981,994	343,276	6,176,206	21,407,203	7,005,156	1,613,246	571,737
284,999	34,026,016	373,193	3,098,506	339,944	6,181,836	22,459,175	6,697,710	2,076,639	841,591

を基礎として輸出方面にその目標を定め今年に入り遂に商品別リンク制の一つに石鹼を認めさせることに成功、その規定により輸出石鹼用に限る牛脂及び香料の輸入は數回之を繰り返すことが出来た。

化粧石鹼は申すに及ばず洗濯石鹼に取つても大切な原料であつた牛脂は濠洲から入るものに限られて居たが、その輸入が止まるとなると直ぐに、石鹼界では全商工者に向つて緩和の陳情を繰返した。商工者に向つて緩和の陳情を繰返したのであつたが、國際收支の調整を企圖する政府の出方が堅く、唯問題を輸出と關聯させる場合に希望實現の期待があることを知るや、早速手を換へて問題を日本石鹼輸出組合に移し、牛脂が不足するに於いては、海外市場に於いて他國品と販路を争ふ際に、著るしく不利な状態に立たねばならぬことを力説し、兼松商店を代表とする輸入業者とタイアップして根氣よく運動を續けた結果、輸出石鹼用に限つて前年の實績を考慮の上外装を含んだ總重量の三割五分に當るだけの牛脂輸入を許可すると云ふことになり、東京支部の數字で見れば、

- 第一回 一八五噸 二月から四月まで
- 第二回 一五噸 五月から六月末まで
- 第三回 四噸半 七月から九月まで
- 第四回 申請中

と云ふ工合に、原料は入りつつある。但し、第一回分の一八五噸に比して二回以後の量の餘りに小さいのは、リンク制の確立と同時に滿洲並びに北支中支等圓ブロック向のものは輸出と認められぬこと

となり、五月以後はリンクの基礎材料に圓ブロックの荷物が入らなくなつたことに基因するのである。

香料は、牛脂に次いでその輸入緩和運動が開始されたのであつたが、既に牛脂に於いて經驗済みであつたから、この方は始めから輸出用を強調して、氣候風土の關係上國産品を以ては補ふことの不可能なものに就いての輸入を許可せられたいと陳情し、香料業者とも提携して前以つて事の成功を豫期しての運動であつたこれも矢張り、國策に沿ふ輸出振興と云ふ言分が認められて、情勢は次第に有利に展開し、五月に輸出石鹼價格の二割五分の範圍で輸入許可が下りるばかりになつた。ところがその後の状態の變化から圓ブロック向の實績は、この計算の中に入らないことになり最初の金額とは大變な差異を生じたが、結局香料業者の顔觸れも決定して六月初め、最初の許可があり、直ぐ續いてその不足分を申請してこれも通り兩方併せて、

- 第一回 十三萬二千圓 六月二十二日許可
- 第二回 六萬二千圓 九月七日許可
- 第三回 目下申請中 四萬二千圓の豫定

の如く、香料も確實なるリンクを以て輸入が行はれて居る。その後十月に至り輸入香料取扱業者の間に一異變があり、商工省の旋輪で一部貿易業者を加へた日本輸入香料統制會が設立されるに至つた。

次にリンク制とは別個に輸入許可となつた原料に松脂及びコブラがある。松脂は聯合會が主となつて、再三、再四商工省に對し緩和陳情を行つたのが成功した

もので、七、八、九三ヶ月分に對して千六百樽の輸入が許可せられその配給は全國各地組合經由の申告により各業者にそれ／＼手渡され、十月に至つて配給完了となつた。それからコブラであるが、これは十一月石鹼用として二百噸表南洋から輸入を見たもので、成る可く輸出石鹼用に使ふべしとの但書附きで、油となり次第業者の手に渡ることになつて居る。

石鹼

〔洗濯〕

石鹼界は今や全く魚油より石鹼への一貫作業にその企業形態を完成した。あらゆる角度から見ても魚油より石鹼への機構を維持するに非ざれば經營は困難となつて来た。特に洗濯石鹼の需要状態は、近年益々兼業會社及びこれに準ずる一流社の有名品に偏する傾向があり、宣傳の威力と相俟つて、この形勢は年々昂まつて来たのであつた。

それがため兼業各社の自社製品並びに自己の傘下にある業者に振向ける原料硬化油の量は増大する一方であつたから単業者は愈々原料難に直面しなければならず、その値段も石鹼の賣値からすると一様に割高であつた。

大阪方面に於いては、この難境を打開する策として、工業組合を主體として硬化油自給の法策が目まされ、一、二硬化油會社をその手中に納むべく運動を試みたけれども、何れも成功するに至らず、最早中小石鹼業者の原料難は決定的な問題となつて終つた。

其 他	ブ ラ ッ シ						袋 物	曹 達 灰	
	糊 付 用		理 髮 用		齒 磨 用			數 量	價 額
	數	價 額	數	價 額	數	價 額			
圓	打	圓	打	圓	打	圓	圓	此	圓
443,519	5,451	6,320	100,534	180,340	3,482,121	1,790,703	165,611	134,802	9,264,103
576,692	49,400	13,600	99,720	190,830	3,861,944	2,750 2,258,676 42,500	191,221	272,135	26,893,004 1,800
991,570	2,000	2,000	146,394	207,696	3,988,335	2,477,585 10,700	330,469	170,622	14,133,927 36
1,121,496	1,416	16,993 500	178,750	202,432 9,932	2,904,848	1,426,433 28,160	358,917	364,613	27,345,225
922,749	1,640	19,677	135,431	361,130	5,095,778	4,252,662 3,600	448,271	367,205	23,145,194

生 産 販 賣

この対策の一つとして単業者群の兼業者をめぐる小ブロック結成が始まり、それによって素地の配給を受け併せて仕事の一部を分擔しようとするのであった。東京に於けるその色別けは、或ひは三つとなり四つとなつて利害關係の多少により、幾分難然とした分子もあるが自づからなる一聯のつながりは次第に目立つて来た。

単業者苦境の原因を、拾つて行けば、大會社の壓迫の外には幾多のものが擧げられる。その一つは副収入の減少である。廢液が引續き話にならぬ安値であるのに加へて、ドラム罐、石油箱などの空物が品不足から取引の際に既にそれ等のものが勘定に入つて居るので、それを賣り拂つても儲けとならず、この方面の收入で營業の一部をカバーすることに習慣づけられて来た単業者に取つては、心寂しい限りである。しかし、上半期に於いては概して好調を持し、利益は薄いながらも多忙を極めた。

今春二月リスリン三割減産決行の頃から、兼業各社は石鹼の採算を石鹼一本槍で押し進めることに肚を決め、次第に強氣に出始めた。この形勢を見て取つた販賣方面では一面諸物價の騰勢に促されて先高見越の買氣に出で、そこへ軍部からの注文も加はり、業界を擧げての大多忙は、近來にない見物であつた。

春以來の洗濯石鹼の値上りは十廻しを目標として日本油脂が、眞先に突破つたからで、他の諸社もその後を續き、値段のつり上げは製造者側からすると成功で

あつた。それは結局巨大資本と機構の整備を桶とした強味が、業界を引きずり、販賣方面を感慥した結果とも見られる。かうした値上げは原料の類似と相俟つて洗濯石鹼と化粧石鹼を著るしく接近せしめ、賣り値に於いては甲乙ないものになつて來さうに見えた。それが需要期一過の九月に入ると、荷渡し一巡を契機として活況を失ひ、四方に推積した滞荷が市場を閑散に導く根本事情となつて響いて來たのである。

それがために、云ひ値の十廻しは九廻半程度に釘付けとなつてそれ以上は進まず、假需要の旺盛から見かけは華やかだつた上半期の昂奮から醒めて見れば、洗濯石鹼はその頃の生産能力を以つて飽和點に達したことが分り、これ以上の擴張は各製造會社にマイナスの負擔が増加するのではないかと云ふ意向から、秋口にかけての發社七社の會議に於いては十廻し賣の嚴守、匁付の種類一定等の問題が再々審議の中心となり、型を定め賣値を均して行かうとする運動が具體的に運ばれさうな氣運が動いた。しかし、これも

間屋及び地方の販賣筋に安い時の契約で引取つた荷物がある間は、早急に實現となるのは難しいが、生産統制に近づくと一歩前進であると思はれた。なほこの形勢に拍車を加へるものと考へられるのは硬化油の輸出である。輸出の増進が現下の國策に則するものである以上、それが及ぶところ、石鹼の生産制限は、意識的でなく寧ろ結果的に徐々に表面化して來る氣配にあつた。その結果

として石鹼の相場は先行底堅いところを堅持して行くものと見られる。一方、一昨年から昨年に於いて西日本の群雄諸社を自己の傘下に集めて大阪石鹼及び日本石鹼を成立せしめた日本油脂の觸手は、本年に至り東京業界に及び、九月初旬一流單業三社即ち田中石鹼、齋藤流明舎、ワイエス石鹼をその子會社とすることに成功、流明舎は王子石鹼株式會社と改組し、それら、日油の庇護の下にあつて從來の營業を繼續して行くことになつた。

こゝまで來て日油の小工場合併運動は一段落の形となり、纏まるものは纏まらべき所に納まつて了ひ、年末に近づくとつれて、殘された問題は各ブロック間に於ける協定如何と云ふことになつた。勿論その指導權を握るものは、日本油脂であつて兼業各社間に於ける値段協定を強調する外、目付、型等の取決めが問題となつて居ることは前に述べた。

これに對しては各社とも異論はないが一度實行となると出足がそつと居ないだけに歩調が一致することは難しかつたが、十二月を標準にして協定強化に移らうと云ふ申合せは成立した。それが進んで自治的の生産統制となれば業界の理想であらうが、そこまで行く間には各社間に利害の衝突が起り、現在に於いてこれを行ふ方が分のある會社では統制を歓迎するが、幾分でも伸びる余裕のあるところでは、そこまで行き度くない氣持が働

き、本年度の洗濯石鹼業界に於ける兼業各社間の協定は利害の一致する距離を限

兵

庫

カガシ化粧品工場	日商油脂兵庫工場	杉商磨粉會本工場	美濃人粉化製本	矢野洗粉製本	長岡製粉製本	同製粉製本	吉原製油西宮工場	阪神製油西宮工場	大日本除蟲菊製本	紅屋除蟲菊製本	日本油脂製本	森末吉商店製本
岡田退理	大田退理	杉田喜造	佐久保善志	佐久保善志	長岡善志	同善志	吉原五郎	同五郎	大日本除蟲菊製本	同製本	同製本	同製本
神戶市合區協演町二ノ八	同林田區大開通六ノ一	同林田區東川崎町五ノ九	同林田區二宮町四ノ三	同林田區明和町四ノ六	同兵庫區武庫郡本山村田中	同兵庫縣加古郡平岡村土山	同西宮市真砂町一四	同西宮市真砂町一四	同兵庫縣同馬郡有野村	同兵庫縣同馬郡有野村	同兵庫縣同馬郡有野村	同兵庫縣同馬郡有野村
大昭和四年三月	大昭和四年三月	大昭和四年三月	大昭和四年三月	大昭和四年三月	大昭和四年三月	大昭和四年三月	大昭和四年三月	大昭和四年三月	大昭和四年三月	大昭和四年三月	大昭和四年三月	大昭和四年三月
白粉・クリーム・香水・煉油	石鹼・ステアリン酸・化粧品	各種石鹼・油・洗粉	美人ぬか・ミョーリ洗粉	洗粉・藥品・香料	蚊取線香・除蟲菊粉末	シンピレス殺蟲劑・ピントキ	植物性油脂・油粕・石鹼	米糠油・榨油精製・ベルメル	蚊取線香・除蟲菊・ベルメル	江戶蠶・輸出コンパクト	石鹼・硬化油・グリセリン	各種備
一〇五	一〇五	一〇五	一〇五	一〇五	一〇五	一〇五	一〇五	一〇五	一〇五	一〇五	一〇五	一〇五

和

歌

山

旭除蟲菊會社工場	大日本除蟲菊製本	帝國除蟲菊製本	同除蟲菊製本	南海化學工場除蟲菊製本	内除蟲菊製本	山彦除蟲菊製本
成川孝男	御前七郎右衛門	森川仙太	岸本常之助	同上	同上	同上
箕島町保田村山田原一八〇	箕島町保田村山田原一八〇	箕島町保田村山田原一八〇	箕島町保田村山田原一八〇	箕島町保田村山田原一八〇	箕島町保田村山田原一八〇	箕島町保田村山田原一八〇
大昭和四年三月	大昭和四年三月	大昭和四年三月	大昭和四年三月	大昭和四年三月	大昭和四年三月	大昭和四年三月
クモ印蚊取線香・サンピレス	除蟲菊粉・蚊取線香	除蟲菊粉・蚊取線香	除蟲菊粉・蚊取線香	除蟲菊粉・蚊取線香	除蟲菊粉・蚊取線香	除蟲菊粉・蚊取線香
一〇五	一〇五	一〇五	一〇五	一〇五	一〇五	一〇五

そ

の

他

増澤化粧品部工場	近藤商店掛り工場	伊藤井藤製油工場	吉井利徳製油工場	和泉善三製油工場	山本盛善製油工場	羽田千賀武製油工場	高倉乙次郎製油工場	世高鳥龜次郎製油工場
岡谷市八〇五	滋賀縣蒲生郡掛村一四六八	倉敷市桑町四九七	岡山市南上石井三	岡山市南上石井三	岡山市南上石井三	岡山市南上石井三	岡山市南上石井三	岡山市南上石井三
文化元年一月	文化元年一月	文化元年一月	文化元年一月	文化元年一月	文化元年一月	文化元年一月	文化元年一月	文化元年一月
リボン美髮料・化粧料	カストル油・椰子油	蠟取紙・蠟取液・殺蟲液	蠟取紙・蠟取液・殺蟲液	蠟取紙・蠟取液・殺蟲液	蠟取紙・蠟取液・殺蟲液	蠟取紙・蠟取液・殺蟲液	蠟取紙・蠟取液・殺蟲液	蠟取紙・蠟取液・殺蟲液
二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇

註 従業員十名以上使用の工場に限る

又既に普及せるものに就いても品質上の缺陷が多いと云ふ難點である。しかしながら要するに代用品工業に取つては、現在實施されつつある戰時統制經濟が基本的な助長條件であると見なければならぬ。従つて事變終了後この經濟統制が假りに幾分でも緩和された場合代用品工業振興策として如何なる方策が取られるか。これは各方面に於いて關心を寄せて居るところであるが、假に戰局が安定したとしても、わが國は來るべき非常時に備へる爲長期の經濟建設が必要である。而して、この長期建設は産業構成の國防的編成替と原料自給がその中心目標とならなければならない。従つてこの際代用品工業の振興に一段と力を添ふるべきであることは當然豫想されるところである。たゞ原料自給の範圍にあつては、友邦滿洲國の外に如何なる友邦の建設を見るか、それによりこれ等の政權、國權の統制力の範圍如何と密接な關聯を持つものである。

代用品工業の將來は事變後の經濟統制方策の如何によるよりも寧ろ、事變後の圓ブロック經濟の支配力の如何にかかつて居る方が大きいと見られる。

商店商品

商店商品

業界商店一年史 [自昭和十二年十一月一日 至同十三年十月三十日]

十一月 [十二年]

角倉商店の重役陣刷新

大阪、株式會社角倉商店では營業部門の擴張に伴ひ、重役陣の強化を圖るとともに、その内部組織に新味を感ずる爲め、社外より加野廣數計氏を迎へて左の如き首脳部を構成した。

取締役社長 角倉 秀雄氏
 專務取締役 小牧 淺次氏
 取締役 岡部 熊雄氏
 同 中持嘉重郎氏
 同 柿原 哲三氏
 同 加野廣數計氏
 監査役 宮永 直治氏

木屋本店の廢業

帝都の化粧品問屋界に於ける老舗として知られた神田區美倉町の木屋芳兵衛本店は突如廢業の上、卸業界から全く引退し各方面から惜しまれた。尙芳兵衛翁は太陽印粉末石鹼本舖株式會社柳屋商會の經營にのみ専ら力を盡くこととなつた。その廢業引退に際しては東京組合及び東京ライオン會よりそれぞれ感謝狀を贈つた。

日本石鹼會社の創立

大阪石鹼界の雄たる日東、松竹、大阪油脂、栗津石鹼の四社合同成り、資本金

二百五十萬圓(全額拂込)の日本石鹼株式會社として創立、日産の子會社として石鹼の分野を載然たらしめた。新重役左如

取締役社長 蟻川 忠一氏
 常務取締役 奥山喜太郎氏
 同 栗津孝太郎氏
 同 金 義雄氏
 取締役 久保田四郎氏
 同 大橋 退治氏
 同 長郷 幸次氏
 監査役 石田 義治氏
 同 長坂 茂氏

資生堂の美容部新設

本舖資生堂では明治節の佳日を卜して資生堂美容部を銀座小賣部三階に新設した。美容主任は小幡惠津子夫人。最新設備を誇つて銀座美容界にヒットを放つた。同美容部はまた花椿會員との聯絡により、本舖の販賣政策に關聯して各方面の注目を牽いた。

島根クラブ特定品創立

島根縣クラブ特定品販賣株式會社は十日玉造温泉に創立總會を開いて、定款の承認、重役の選任を行ひ、松江市寺町一一に事務所を設置して二十八日から業務を開始、重役如左

專務取締役 神田 敏夫氏
 常務取締役 飛石泰一郎氏

取締役 伊藤 新市氏
 監査役 本田 作一氏
 同 岡野公之助氏

日本油脂關西油脂部昇格

日本油脂株式會社關西油脂部は大阪支店に昇格改組され、支店長に取締役大橋退治氏が就任、同時に左の如く異動。
 取締役大阪支店長大橋退治氏
 大阪支店油脂部長郷幸治氏
 支店總務部長吉田文熊氏
 業課長片山直亮氏
 子油脂工場長山際太郎氏
 務課長長浦重三郎氏
 長中谷光造氏
 田又一郎氏
 修介氏
 高石淳

ライオン石鹼の修養週間

日支事變に際しその社員工員中より四十餘名の應召者を出し、内二名の戰死者を出したライオン石鹼株式會社では、銃後精神の緊張物凄く、十日より「奉仕・修養週間」を開催、第一日には文部政務次官内ヶ崎作三郎氏の講演を乞ふて、社長以下四百名の社員男女工が聴講した。

大阪・浪花油脂の設立

大阪石鹼界に於ける有力業者を打つて一丸とする浪花油脂株式會社は資本金三十萬圓(四分の一拂込)を以つて創立。重役陣は左の如き發表を見た。

取締役社長 吉岡久四郎氏
 常務取締役 宮崎寅四郎氏
 取締役 藪田善治郎氏
 同 船橋 健次氏
 同 日野長治郎氏
 同 三輪乙五郎氏
 同 梶野重太郎氏
 同 山縣 高七氏

アイデアルの一萬圓献金

アイデアル本舗高橋東洋堂では、半期決算の利益金の中より金一萬圓也を東京朝日新聞社に寄託、軍用機献納資金の一部として献金した。

曾田商店の献金

香料商曾田商店主曾田政治氏は、二十五日東京朝日新聞社に金一千圓也を寄託して軍用機献納の義舉に参加、店員もこれを見ならつて金百二十五圓也を同じく朝日新聞社に寄託した。

花王の在郷軍人會結成

花王石鹼本舗長瀬商會及び大日本油脂株式會社の兩社では、事變初發以來數十名の出征者を出したが、未應召の兩社従業員にして軍籍に在るものを糾合し、大日本油脂工場在郷軍人分會を結成、銚後の結束を固めた。

レイト號の献納式

レイト本舗平尾贅平商店代表取締役板倉安兵衛氏は、國防強化の一念から鐵閘機一臺を海軍省に献納した。これが献納

式は二十八日羽田飛行場に於いて舉行、海軍大臣以下海軍將星列席のもとに厳かに式典を擧げ、榮界關係參列者は五千名を超えた。

十二月 (同前)

資生堂の北支進出先驅

明朗北支工作が進められてゐる折柄、資生堂では業界に於ける北支進出の先驅として天津に販賣會社を設立した。新會社は同地の長瀬廣濟堂との提携に成り、資本金五萬圓を以つて設立、同本舗の大政政策に於ける第一步を印した。

マスター本舗霞町へ

蒲田梅屋敷の社屋をライオン本舗に譲渡したマスター本舗尙美堂は、同本舗發祥の地たる霞町一番地の舊社屋を改築して復歸した。

レイト美容院の開業

レイト本舗平尾贅平商店では丸の内日本劇場三階にレイト美容院を開業した。同じく四階には東京婦人會館を開設、婦人文化の向上に資すべく、化粧品本舗として先驅的な文化運動を開始し注目をひいた。レイト美容院はその規模の雄大さと設備の完璧さと相俟つて帝都美容界にセンセーションを呼んだ。

札幌クラブ特定品創立

札幌クラブ特定品販賣株式會社は資本金二萬圓を以つて小樽市に創立、事務所

を同市稻穂町西三丁目一〇に設置して業務を開始、小樽札幌の兩市、及び石狩、空知の各支廳管内を販賣區域として包含した。重役陣如左。

専務取締役 青柳 福治氏
 常務取締役 増田 輝夫氏
 取締役 廣瀬 久也氏
 同 庄 壽夫氏
 同 永谷 學氏
 同 中山 豐三氏
 同 田中 定治氏

田村香料部組織變更

大阪、田村眞策香料部では従來の個人營業の權利一切を新設の田村香料株式會社に譲渡、取締役社長には田村眞策氏が就任した。

ライオン本社の移轉

淺草橋際鹿熊ビル全階を領して過去數年間、偉大な業績を續けて來たライオン齒磨本舗小林商店は、蒲田梅屋敷のマスター本舗尙美堂の社屋を譲り受けて移轉した。

仁丹のグライダー寄贈

仁丹本舗森下商店では帝國飛行協會を通じて全國に亘る十五地方の各學校へ仁丹號グライダー一機づゝを寄贈、これが贈呈命名式は十九日大阪城東練兵場に於いて舉行、森下仁丹社長より各學校への傳達書を呈上、帝國飛行協會長の命名があり續いてグライダーの飛翔實施が行はれた。



自昭和十二年十一月一日
 至同十三年十月三十日
 十一月 (十二年)

合名會社服部松榮堂は横山町より城東區龜戸町八の一七三へ移轉、電(墨田)二五七一
 角倉商店全社員は出征社員の武運長久を祈るべく伊勢大廟に參拜七日

株式會社播金商店はハリキン興業株式會社と社名を變更、
 ライオン本舗大阪口腔衛生部では九州駐在員飯田榮藏氏並に東京本部永田修三氏を加へて陣容強化。

大阪朝日堂社長伊藤勝藏氏は先代の名を襲ひ、貞七を襲名。
 飛川商店では横山町五の一二小松ビル内に輸出部を新設した。電(浪花)〇四七一。

名古屋山丈商店では取引關係者を招いて懇比須講の賀宴を催した。十九日

大坂雜貨卸商古住商店は東區南久寶寺町二の四〇へ店舖新築移轉、
 名古屋加藤石鹼商會は中村區米野町中田一五六へ移轉。

十二月 (十二年)

中山太陽堂大阪本店では入替者七名の盛大な歡送會を舉行した。三

廣瀨廣盛堂の組織變更

ツキワ化粧品本舖廣瀨廣盛堂では從來の個人經營より合資會社に變更、二十一日合資會社廣瀨廣盛堂を設立、從來の營業權一切を譲り受け、代表社員に店主廣瀨小三郎氏が就任した。

世戸石鹼・日本石鹼へ合併

日本石鹼株式會社創立當時よりの計畫たる海外市場への雄飛は、從來その方面に強固な地盤を有する世戸石鹼株式會社の合併により解決、世戸石鹼も遂に日産の傘下に合流、二十八日東京本社に於いて正式調印を了した。

一 月

平壤・廣田本店化粧品卸部新設

半島業界の廣田本店は從來獨立せる平壤化粧品販賣會社を解散、本店直轄下に置いて販賣機構の合理化を行ひ、左の如き職制を布いた。

- 化粧品部長 久田秀耕 同次長 廣田政雄 販賣任入課主任 金子松吉 同次席 尹鳳俊 會計 任東錫 外務係 李錫祿 同 趙三吉 同 佐竹義映
- 同 神谷進吉 同 宮野次郎 内務係 李桓三 同 大迫直通 同 斐賢燮
- 同 金炳虎 同 金福壽

金鳥香東京販賣の總會

金鳥香東京販賣株式會社の第十九回定期總會は東京組合樓上に開催、總會終了

商 品 商 店

後一同は二百餘名の金鳥會々員と合して明治神宮に參拜、出征兵士の武運長久を祈願した。

永廣堂本店合名組織へ

大阪の永廣堂本店は合名會社永廣堂本店と組織を改め、店主今井安太郎氏を代表社員として營業上の權利義務一切を繼承した。

澤村亞鉛の組織變更

大阪の澤村亞鉛工業所では從來の個人經營を株式組織に改め、澤村亞鉛株式會社を創立、取締役社長に佐々木伸一氏、澤村保氏が専務取締役に就任、業務一切を繼承した。

ローヤルチエーソンの規定改正

ローヤル化粧品販賣會社及びローヤル化粧品東京配給會社ではローヤルチエーソニアに對する年末感謝歩戻金規定を發表した。それによる年額支拂金額は餘りにも少額に失するの憾あるに顧み、これが金額の改正を計り、加盟ストアの見識を重んじて今後の支援を要請した。

楠本政太郎氏獨立開業

マスター尙美堂にあつた氏は獨立開業してアレミヨウ本舖を日黒區中目黒四の一四五に店舗を構へ、化粧品製造本舖として業界にカムバックした。

伊東胡蝶園の幹部移動

伊東胡蝶園では首脳部陣容を更新した

針塚工場長は化學研究所に移つて北村支配人工場長を兼務し、草野博志氏をして實際業務を擔當せしめ、針塚氏は長谷部研究所長兼總務の下に専ら研究に没頭することとなつた。

ミツワ工場の主任更迭

ミツワ丸見屋工場の第一部主任工博三雲次郎氏の辭任に伴ひ、同第二部主任野中正夫氏が兼任となつた。第三部河村氏、第四部荒川氏は從來通りである。

小倉油脂會社の創立

もと小倉化學工業技師松本通氏等の發起により小倉油脂株式會社は、同市大阪町に資本金四十萬圓を以つて創立された

新潟クラブ特定品創立

新潟縣西部クラブ特定品販賣株式會社は資本金二萬圓を以つて長岡市千手町三の七三三に創立された。販賣區域は南蒲原及び西蒲原のうち彌彦線以西の新潟縣下、販賣主任としては佐藤勝太郎氏が專任。重役如左。

- 専務取締役 今井 萬吉氏
- 常務取締役 青山 徳信氏
- 取締 役員 品田孫次郎氏
- 同 川浦 留吉氏
- 同 田中積一郎氏
- 同 吉澤銀太郎氏
- 同 市川茂兵衛氏
- 同 中山 豊三氏

柳生會初の幹事會

柳生會初の幹事會

花王石鹼長瀨會では年末賣出に伴ひ東京大阪に恒例の店頭裝飾會を開催

ライオン石鹼株式會社では戦死社員四名の慰靈祭を同社工場内に執行した。二十八日

大阪廣瀨翠香園は日新商會と商號を改めた。

鹽野香料株式會社は臺灣竹東街上公館に香料工場を新設すべく工事に着手。

安藤井筒堂では茅場町清水ビルのレストラン・クレールに社内新年會を開催。一二日

横濱霜田商店では網島温泉に新年會開催。四日

麗顔印化粧品製造和久田製作所では電話(淺草)四九一七番開通。

資生堂では七日夜大阪ビル、レインボウに社内新年會を開催。一七日

マスター尙美堂の工場は京橋區湊町一の一四へ移轉完了。

大阪稻垣生美堂は南區順慶町一の四三へ假營業所を設けた。

大阪川村勘合資會社は東區博勢町一の五二へ假營業所を設置。

日本油脂株式會社大阪支店は昇格の上堂島ビル三階に業務を開始。十日

カガシ化粧品本舖は昭和十三年版カガシ商店日記を刊行。

桑原花生堂では百餘頁の取扱商品價格簿を發行配布。

大阪角倉商店新春懇親會を心齋橋はり半に開催。一二日

レイト本舖では名古屋代理店々員五十餘名を東京に招待慰勞した。一

柳屋本店を中心とする柳生會では二十
八日、池之端月莊に於いて幹事會を開
催、萩村會長の挨拶に次いで化粧品課
問題に對する陳情委員の報告、新製品の
發表、第十四回總會豫定地並びに開會に
關する件、會計報告、課税問題に就いて
の本舖側の希望意見開陳等あつて議事を
終了した。

クラブ東京販賣の總會

クラブ特定品東京販賣株式會社の第四
回總會は二十九日、東京組合樓上に開催
各株主及び新任重役出席、昭和十二年度
決算に關する諸報告成り、凡て原案通り
可決、取締役の任期満了による改選の結
果は左の如く發表された。

代表取締役社長 中山 豊三氏

取締役 桑原 啓造氏

同 千本木彌八氏

同 芥田 林藏氏

同 松浦 嘉七氏

同 庄 壽夫氏

同 永井 千秋氏

同 額賀 誠氏

同 田中吉兵衛氏

同 武井孝次郎氏

同 田中 定治氏

同 松田幸治郎氏

同 萩村 武郎氏

同 菊地三之助氏

同 中山 太一氏

同 相談役

クラブ第一販賣の總會

クラブ化粧品第一販賣株式會社の第七

回定時總會は三十日同社に於いて開催、
東京側重役出席の外は大阪側は委任狀出
席、第七期昭和十二年度の決算諸報告あ
り、凡て原案承認可決、左の如く任期満
了の重役改選を行つた。

取締役 重任 兒玉 勝一氏

代表取締役選任 中山豊三氏

同 田中 定治氏

同 同 酒井 武雄氏

同 新任 庄 壽夫氏

監査役 重任 岡野公之助氏

二月

カガシの關東地方懇談會

値上を發表したカガシ化粧品本舖東京
支店では、その徹底を期すべく東京市内
に於いては派出婦を雇つて新定價の貼り
かへを行ひ、地方に向つては下司支店長
が、宇都宮、栃木、古河、助川、水戸、
高崎、太田、桐生、足利の十都市に出向
いて新値徹底の諒解を試みた。

茨城縣クラブ特定品創立

茨城縣クラブ特定品販賣株式會社は十
日、水戸市馬口勞町一の二二三四に創立
された。資本金は半額拂込の二萬圓、西
原末雄氏を主任として任命、縣下一圓の
配給を確立した。重役如左。

專務取締役 西原 三平氏

常務取締役 太田愛之助氏

取締役 西原由三郎氏

同 大竹榮之助氏

同 秋山元右衛門氏

同 西原 末雄氏
監査役 中島覺次郎氏
同 中山 豊三氏

ライオン洗濯科學研究所落成

ライオン石鹼株式會社主宰のライオン
洗濯科學研究所は江戸川区平井三丁目
工場敷地間に新築落成、二階建、延坪八
十坪、研究室、實習室、講演室、參考品
室、暗室及び豫防室の各室、諸機械設備
を設け、洗濯科學に關する一切の機能を
能率的に發揮することとなつた。同研究
所の現理事者の顔觸れは如左。

理事 小林同社々長

同 竹井 專務

同 所員 工學士日比野定成氏、工學士赤

堀昇三郎氏、農學士富山新一氏、安田

藤三郎氏、原一平氏、松下正枝氏

日本油脂の十五社合併

日本油脂では從來投資會社としてその
經營に參畫して來た左の十五社を、諸般
の事情から十五日を期して同社に合併し
日本油脂傘下の工場として企業統制の完
成を期することになつた。

▽釧路魚糧▽北海油脂工業▽室蘭魚糧

▽北日本水産▽靜狩魚糧▽長萬部魚糧

▽新谷漁糧▽八雲魚糧▽森魚糧▽豊國

水産▽大津魚糧▽波崎魚糧▽勝浦魚糧

▽永見魚糧▽宇出津魚糧

大正除蟲東京支店開設

大正除蟲株式會社では今年より關東
以北の地盤に更らに強化を圖る爲め、日

十二日
大阪角倉商店では二百八頁の取扱商
品のブライス・リストを刊行した。
大阪朝日堂では菊版五十二頁の同社
取扱商品に關する營業案内を發行
した。

大阪朝日堂では故前社長を偲ぶ會を
同社樓上に開催追懷談を試みた。

同 十五日

ウテナ東海販賣株式會社の第二回總
會は名古屋市内に開催、重役は何れ
も重任。

名古屋クラブ特定品會社第四回株主
總會は共済ビルに開催。

同 二十七日

二月

芳誠合石鹼製造所では工場内に伏見
稻荷の分靈を勸請初午の鎮座祭を
舉行。

同 七日

横濱成和商會では初午祭を舉行。

同 七日

東京商事株式會社は横山町より木屋
跡へ移轉、神田區美倉町一七。

丸見屋大阪支店では主任に中村信氏
副主任に増田專吉氏を任命。

脇田盛眞堂の三浦勝吉氏は獨立松本
屋化粧品製造所を開業、日本橋區
橋町二。

同 二月

月の友化粧品園では大阪南地「いろは」
に於いて店員慰安の懇親會を開催

同 十二日

レイト本舗では銀座四の一と神戸三
宮に美容院を開設、美容界に乘出
した。

三月

日本ワイエス石鹼株式會社の蒲田工
場は火災に逢ひ居宅ともしく全燒
一。

ナルビー本舖鈴木福次郎商店では東

本橋區轟鼓町二丁目に東京出張所を開設
田尻信三氏を主任として十五日より業務
を開始した。

京仁クラブ販賣創立

京仁クラブ特定品販賣株式會社は資本
金二萬圓(二分の一拂込)を以つて京城
府黃金町二の一四八に創立、京城、仁川
を販賣區域として業務を開始した。
重役陣は如左。

- 專務取締役 山本惣三郎氏
- 常務取締役 南方 新一氏
- 取締役 宇惠 吉藏氏
- 同 夏川 富雄氏
- 同 三田村 貢氏
- 監査役 岡野公之助氏
- 同

三月

藤津總本店の新築祝ひ

下關市の化粧品雜貨問屋藤津總本店で
は藤津六藏翁創業五十周年を迎へ、新築
中の店舗も落成を告げたので、これが披
露に代ふるに經費を國防、恤兵の爲め献
金、業界の各方面に對しては記念品を贈
つた。

角倉商店の四十周年

大阪角倉商店では創業四十周年、株式
會社改組十周年、及び社旗入魂式、角倉
大神祭式を三日舉行、業界各方面に記念
品を配布した。

支那俳優の日本油脂參觀

商 品 商 店

日支提携の國策映畫「東洋平和の道」
を撮影すべく東和商事の手により來朝中
の北支の新進スター徐聰、白光等一行は
日本油脂王子工場を見學、三日には一行
の指導役たる北京大學教授張迷生博士を
芝山内の嵯峨野に招待して藤田副社長、
村山專務等が出席して北支事情を繞る懇
談會を催した。

ライオンの製品意匠部

ライオン本舗小林商店では製品意匠並
びに規格全般に關する綜合事務を取扱ひ
一層合理化を期せんが爲め、製品意匠部
を新設、廣告部次席竹越武治氏を部長に
任命した。

永廣堂支店の組織變更

永廣堂支店ではその組織を合名會社永
廣堂に變更、今井信、安宅孝三郎の兩氏
を代表社員として永廣堂支店の權利義務
一切を繼承した。

寺澤覺兵衛商店組織變更

大阪小間物卸商寺澤覺兵衛商店では従
來の個人經營より法人組織に變更、株式
會社寺澤覺兵衛商店を設立した。代表取
締役には寺澤覺兵衛氏就任。

龜山甲陽堂の五周年記念

大阪、龜山甲陽堂では本年恰も創業五
周年を迎へたところから、六日七日の兩
日は曾根屋ヶ岡茶寮に、八日は歌舞技座
觀劇の三部に分けて二百餘名の取引關係
者を招待した。

四月

共進舎先代胸像除幕式

大阪共進舎石輪株式會社では三日同社
恒例の稻荷祭を舉行するとともに先代宮
崎奈長次郎氏の胸像除幕式を舉行した。
式典は午前九時、全社員、來賓參集のもと
に嚴肅に舉行、先代の遺徳を稱へて今後
の發展を誓ひ、了つて劍道角力の奉納試
合を行ひ、摸擬店、演藝會等に賑つた。

資生堂西銀座へ移轉

資生堂は業務の擴張により西銀座七丁
目三に移轉した。東京販賣と同じ建物で
ビル内を改造、全階を本社事務所として
使用。

群馬縣クラブ特定品創立

群馬縣クラブ特定品販賣株式會社は七
日前橋市に於いて創立總會を開催、資本
金二萬圓(全額拂込)の配給會社として
群馬縣下一圓の配給に任じ、同市横山町
四丁目に事務所を設置して業務を開始し
た。重役左の如し。

- 社長 田邊仙太郎氏
- 專務取締役 高橋政次郎氏
- 取締役 清塚佐太郎氏
- 同 磯野 憲造氏
- 同 須田 健三氏
- 監査役 大塚 恭平氏
- 同 中山 豐三氏
- 顧問 星田 仁助氏
- 相談役 小林茂十郎氏

京商事より三戸憲治氏を迎へた。
モダンシャンブー本舗葛原工業所
では東京堂から乃萬令三氏を化粧品
部主任として迎へた。

大日本油脂工場では戦死者歩兵準尉
川西碩君の慰靈祭を舉行——三日
名古屋松永商店は新築店舗落成祝賀
の宴を中區葛町の同店に開催——
三日

正木屋商店主安井勝藏氏の逝去によ
り長男久信氏が營業一切を相繼し
た。

札幌クラブ特定品販賣會社は小樽市
稻穂町七の四へ移轉。

東京商事株式會社の清水時雄氏は濱
町二の八八に獨立開業化粧品卸商
を始めた——十九日

播金興業株式會社は下谷區上野櫻木
町五二へ移轉、工場と合併した。

金鶴香水株式會社では安土町森吉に
於いて京阪神代理店懇談會開催——
二十五日

大阪クルミ商會は電話番號(天王寺)
二八〇〇番に變更。

全焼になつた日本ワイエヌ石輪の假
工場竣成し製造を開始した——二
十五日

アイデアル函館販賣所は西川町二十
九番地へ移轉。

大日本油脂株式會社吾孀工場研究室
發火、一棟を烏有に歸した——二
十八日

四月

大阪明色化學工業所では同社内祭祀
の稻荷社に於いて恒例の祭典を舉
行——二日
大阪桃谷順天館では同社内祭祀の桃
谷稻荷大明神祭を舉行した——八
日

モンド本舗株式組織へ

モンド化粧料本舗モンドパーフェュマールは、その經營者山中勇三郎氏の辭任を見るに至つたので、坂入福三郎氏が代つて全事業を繼承するに決定、その組織を株式會社に改むると同時にモンド化粧園と改稱、坂入氏社長に就任した。

東京商事の職制移動

東京商事株式會社では永年同社の經營に當り貢獻されること多かつた小柳朱一氏が退社し、クレオ化粧料本舗の業務に専念されることから、花生堂の松田治義氏が事務取締役に就任、同社の運營に任じた。

クラブセールスマン學校

第七回クラブセールスマンスクールは二十日より二十四日までの五日間、夕陽ヶ丘大阪青年塾堂に開講、聽講者は關東二十名、關西四十名の多きにのほり連日盛況を極め、最終日には中山店主の「商店の神髓」と題する講演あり、終了式後懇親會を催した。

レイト婦人會館開館式

平尾登平商店板倉安兵衛氏の計畫になる東京婦人會館は、日本女性の文化的修養社交機關として丸の内日本劇場に二十五日開館式を舉行した。式は會館の常任理事村岡花子氏會の下に開會、顧問板倉安兵衛氏の會館創設に至るまでの經過報告並に運營に關する抱負の開陳あり、

小橋東京市長、内ヶ崎文部政務次官、田中文部省社會教育局長、本野久子刀自、菊池寛氏、市川源三氏等の祝辭あり、了つて館内の設備を縦覽して閉會した。

五 月

東京商事・主婦の友と提携

東京商事株式會社では從來特殊化粧品に力をそよみてゐたが、主婦の友社代理部發賣品の配給權を獲得、またランランポマードもチェーンを除く一切の配給を得て新組織による活動を開始した。

ローレルの雜貨部新設

ローレル本舗太田榮治郎東京支店では淺草區柳橋二の一一畑宗一商店の在來の營業一切を繼承して雜貨部を新設、畑商店の店主及び従業員をして雜貨部擔任者として業務に従事せしむることとなつた

梓屋號の創業記念式

京城の株式會社梓屋號では創業三十二年に及ぶところから、改組三周年の自祝を兼ねての記念式を八日舉行、同時に資本の充實を圖る爲め未拂込株金四分の一、二萬五千圓の拂込みを行ひ、山本社長以下全店員京城神社に參拜、勤続従業員の表彰を行つた。

小黒商店の創業祝賀會

新潟業界の本舗小黒喜三郎商店では創業四十五年自治の意を兼ねて、八日業界關係者を招待、近郊の見物を了へて鍋茶

屋に清宴を張つた。

明色本舗の制度改善懇談會

明色本舗桃谷順天館では十日、東京組合樓上に市内代理店を招いて制度改善に關する座談の懇談を遂げた。

アイデアル第十三回總會

東京アイデアル會の第十三回總會は十一日箱根遊覽熱海各旅館分宿の上舉行された。總會は柳澤販賣主任司會の下に菊池常任幹事の開會の辭に始まり藤田幹事長の挨拶、秋山幹事の事績報告、山岸幹事の會計報告、佐々木副幹事長より會に就いての概況を述べて、役員の改選に移るや、座長指名の下に建部氏以下十名の詮衡委員が擧げられて一ヶ年を限り現幹事の重任を決定。

柳生會の第十四回總會

柳屋本店を盟主とする柳生會では二十三、四兩日鹽原温泉一泊を兼ねて第十四回總會を開催、會員六百餘名出席、總會は擴聲機を利用して列車中で行はれ、まづ營業部長白井隆三氏の挨拶あり、次に會長荻村武郎氏一場の挨拶を述べて直ちに議事に入り、森副會長より事績報告、伊澤會計幹事より會計報告あつて何れも原案通り承認。次いで明年度の總會出席資格は取引額百五十圓以上の會員と決定して全く議事終了。來賓を代表して松田幸治郎氏祝辭を述べれば、本舗主外池五郎三郎氏之に對して謝辭を酬ひ、鹽原温泉に清適の一夜を送つた。

西銀座七の三へ移轉を開始した資生堂は各部とも完全に移轉を完了した。――十日

ウテナ化粧料販賣部發送部は花生堂出荷部内より横山町一〇へ獨立分離。――十日

北九州クラブ特定品會社販賣店懇談會小倉市商工會議所に開催。――十一日

東京商事株式會社々員山口剛生氏は本所區東兩國二の六へユニーク化粧品本舗を獨立開業。――十五日

廣島東部特定品會社販賣店懇談會尾道市商工會議所に於いて開催。――十五日

桃谷順天館の社員慰安會は名古屋熱田神宮戰捷祈願行として開催。――十六日

大阪巴屋化粧品製造所では同社祭祀の稻荷祭舉行、夜は關係者の招宴を張つた。――十六日

モンココ本舗では春の社員慰勞會を鬼怒川温泉に催した。――十六日

ライオン本舗小林商店では本社庭園講堂に於いて社員家族慰安會開催。――十七日

カガシ化粧料本舗東京支店では戦死せる丸矢伍長の慰靈祭を同所に舉行。――十七日

ダイナー本舗社員並に取引先關係者慰安觀劇會を國際劇場に開催。――十七日

丸見屋商店向島工場では春の従業員慰安デーを開催。――十八日

朝鮮油脂では清津漁港に新工場を建設することに決定。――十八日

日本油脂では滿洲鐵道に新工場建設を決定。――十八日

高砂香料株式會社前常務取締役故八木竹四郎氏の一週忌法要を天王寺

山形縣クラブ特定品創立

山形縣クラブ特定品販賣株式會社は二十二日上の山温泉村尾旅館に創立總會を開催した。販賣區域は山形縣全縣下、資本金一萬圓、事務所を山形市八日町七八に設置して六月一日より業務開始。重役如左。

- 專務取締役 鈴木 義夫氏
- 常務取締役 小松謙次郎氏
- 取締役 佐藤 公三氏
- 同 加藤政伊喜氏
- 監査役 尾關 久助氏
- 同 中山 豊三氏

宮城縣クラブ特定品創立

宮城縣クラブ特定品販賣株式會社は二十四日仙臺市元鍛冶町料亭青葉に創立總會を開催、資本金は一萬圓、販賣區域は同縣下本吉郡の内小泉川以北を除く全地區とし、新事務所を同市東一番丁九五の六號館に設置し業務を開始した。重役如左。

- 專務取締役 菊田 貞吉氏
- 常務取締役 荒井岩之助氏
- 取締役 村上安之助氏
- 同 菅野 長藏氏
- 監査役 狩野 源助氏
- 同 中山 豊三氏

六月

東京商事大阪支店移轉

東京商事株式會社は小柳社長の引退に

商 品 商 店

伴ひ東西に互り營業方針を一變、これに伴ひ大阪支店は従来の船場ビルより東區材木町十三に移轉、一日より業務を開始した。

七若宮殿下齒磨教練御參加

六月四日のムシ齒デーに際し目白學習院初等科では特にライオン齒磨本舖口腔衛生部長向井喜男氏及び講師北村達郎の兩氏を聘して、全學童四百名に對して講演を行ひ、次いで北村氏指導のもとに齒磨教練を行つたが、畏くも同校に御在學中の七若宮殿下にも親しく齒磨教練に御參加遊ばされた。

各地ボーネット會

國產カツビー本舖出端豊香園のボーネット會は各地に總會を開催した。即ち神奈川ボーネット會は五月十四日、神奈川の田中屋料亭に於いて會員八十五名出席、廣島、吳合同のボーネット會は中島商店の主催により二十四日山萬料亭に、名古屋ボーネット會は三、四日の兩日原錦莊堂主催のもとに富士五湖巡り、箱根清遊を行ひ會員百二十名出席した。

モンド會第十四回總會

モンド化粧園の販賣機關たるモンド會では七日熱海温泉大野屋旅館に第十四回總會を開催した。出席者百三十餘名。總會は村瀬常任幹事司會の下に開會。先づ並木會長開會の挨拶を述べ、事績報告會計報告に次いで濱田副會長より會則變更についての提議あり、即ち従来の會員互

選による會長、幹事役員制度を廢し本舖が直接會務を擔當し新社長の手腕に待つこと並に取引制度の一部改正である。何れも満場一致可決。森顧問、坂入社長の挨拶があつた。

日本石鹼新陣容

日東、栗津、奥山三會社の合併になる日本石鹼は愈々世戸石鹼會社とも合併、十八日臨時株主總會に於いて左の如く新組織後の職制を發表。

- 社長代理 經理部長 吉田 文熊氏
- 常務取締役 營業部長 栗津孝太郎氏
- 常務取締役 工務部長 奥山喜太郎氏
- 取締役技術部長 金 義雄氏
- 監査役 世戸 悟氏

關西業界の貯蓄運動

二十一日より實施された國民貯蓄強調週間に際し大阪各本舖では何れも左の如く貯蓄報國を實施した。即ち中山太陽堂では従来の貯蓄規定の外に中山店主援助のもとにその収入額により一圓、一圓五十錢、二圓五十錢、五圓、七圓の標準により各人名義により郵便貯金をすることとなり通帳は工場主にて保管。金鶴香水株式會社では西村社長の提唱のもとに一口金二圓とし、更に社長が一口二圓を加へて合計四圓として一年積立て、愛國公債を購入。松浦商店化粧品部では従来の高率貯金を更に強化。桃谷順天館でも従来の百分の二天引に更に百分の三を天引、強制貯金を實施した。

本堂に執行——十八日
萬原工業所では従業員並に出入關係の慰問觀劇會を東京劇場に催した——二十日
レイト本舖の事業たる日劇の東京婦人會館は準備成つて開館式を舉行——二十五日
花王石鹼長瀬商會では名古屋市中二萬五千坪の工場敷地を買収した——廿五日

五月

クラブ第一販賣會社は京濱代理店を大森松淺分店に招待、懇談會を開催した——二日
朝日堂株式會社の社員家族慰安會は同社全館を會場として舉行——八日
レイト大阪支店は西區立賣堀南通一の七を假營業所として移轉
大阪婦人雜貨卸根來商店は東區南久寶寺一丁目へ新築移轉
ダイナー本舖では名古屋市内販賣店を同市向陽館に招待懇親の宴を張つた——十六日

モンド化粧園では京濱鈴ヶ森に新工場の建築に着手、八月末完成の豫定。
大阪石鹼株式會社は大阪府北河内郡諸堤村大字横堤七七八電話旭二一五三番へ新築移轉
クラブ商磨本舖中山太陽堂は京濱の有力代理店伊豆半島周遊の懇親會に招待した——十七、十八
ハリウッド美容室福岡市上萬町七に九州店を開設、主任は川上千代野女史——二十日

モンド化粧園では神田講武所の花家に關係者十數氏を招待、坂入社長就任並に改組後の刷新陣容に就い

クラブ工場の安全週間

中山太陽堂大阪工場では二十九日、安全週間の夕を開催、午後六時全員集合、伊勢神宮、宮城遙拜の上、工場長の安全頌朗讀、健康者表彰を行ひ一同安全歌を齊唱、日の丸辨當を喫して散會、ひきつゞき左の實施事項を掲げて週間を了へた
第一日安全祈願日 第二日清淨整頓日
第三日精神修養日 第四日検査點檢日
第五日規律訓練日 第六日保健衛生日
第七日報國宣誓日

ライオン刷子會社の創立

ライオン齒磨本舗小林商店では同社發賣のライオン齒刷子の發展を期する爲めと、將來全體的な刷子に對する關心を示してこれを分離、新たにライオン刷子株式會社を創立した。これが創立總會は三十日行はれたが、新會社は資本金四十五萬圓(全額拂込)工場は當分の間現在のまま大阪に置き、ライオン刷子會社製品の中、ライオン齒刷子並にエスエス齒刷子の販賣は小林商店に於いて引受けることとなつた。新會社の重役如左。

- 社長 小林 喜一氏
- 常務取締役 山崎 麻吉氏
- 取締役 吉田 武夫氏
- 同 小林寅次郎氏
- 同 竹井 俊郎氏
- 同 小林多平治氏
- 同 小林寅次郎氏
- 同 小林寅次郎氏
- 同 神谷市太郎氏

七月

高砂香料の臺北移轉

高砂香料株式會社では南進國策の線に沿ふて本社を臺灣に移轉した。即ち臺北市大安路龍安坡一〇番地に本社を設けて一日より營業を開始し、從來の東京本社は東京支店、蒲田工場は東京工場と改稱した。尙、前社長甲斐莊氏の政後を承けて専務取締役堀内利器氏が新社長に就任した。

丹頂本舗の本社移轉

大阪金鶴香水株式會社は業務の擴張により東區材木町より東區十二軒町十七番地に移轉、一日より營業開始。

丸見屋のゼオラ發賣披露

ミツワ石鹼・サワ化粧品本舗丸見屋商店では專賣特許藥用鹼ゼオラの發賣に際し、二日、市内有力小賣店千五百餘名を國際劇場に招待して發賣披露會を催した。席上店主三輪善太郎氏はゼオラ發賣に關する經過並にその効能を解説して販賣店の協力を乞ふた。

日本油脂の東北石鹼部

日本油脂株式會社では東北營業所内に石鹼部を新設し、東北六縣に北海道樺太を管掌區域としてニッサン石鹼の進出を計畫し、東京營業所の石鹼販賣係桑島篤次氏が主任として就任した。

カガシの京城出張所開設

カガシ化粧品本舗では京城府明治町の四五に京城出張所を開設、近藤徳壽氏を常駐して開拓に當らしめ、更らに滿洲支那方面進出の備へとして門司出張所の吉田豊氏を應援として新出張所に屬せしめた。

ニード・コナ洗粉發賣懇談會

ニード化粧品本舗田中善株式會社ではニード・コナ洗粉の發賣に際し、九日京濱有力問屋を上野笑福に招待して發賣披露の懇親會を催した。本舗側からは羽矢藏雄氏、高田龜太郎氏、川澄良之助氏出席。

ウテナの代理店協議會

ウテナ化粧品本舗久保政吉商店では十日、大東京特定代理店協議會を上野精養軒に開催した。本舗側よりは上半期の業績に就いて報告、下半期に臨む積極方針に就いて代理店の諒解を求むるところがあつた。

資生堂の朝鮮販賣強化

資生堂朝鮮販賣株式會社では十三日京城半島ホテルに於いて總會を開催、釜山配給所昇格の件並びに圖們販賣會社設立の件を附議、協議の結果は從來の釜山配給所を昇格せしめて支配人に野島欣一氏を就任せしめ、同時に圖們販賣會社の設立も可決、支配人に石丸薫氏の就任を見た。又從來の朝鮮販賣會社は京城販賣會

て諒解を求むるべく一夕の宴を張つた——二十日

朝鮮協同油脂清津貯油タンク地鎮祭は舊輪城川河口に舉行——二十五日

六月

メデカポマード本舗各新聞社招待會は南久寶寺南園園に開催——五日
角倉商店全社員ハイキング會は桃山御陵、石清水八幡、乃木神社戰捷祈願行——五日
エニーク化粧品本舗山口商店では電話(茅場町)五八〇三番開通。
スチルマン河田商會では前理容館支配人山口清太郎氏を地方係主任として迎へた。

金鶴香水株式會社は大阪市東區十二軒町一七電(東)三五六・一二九六へ移轉。

合資會社開花堂は下谷區練堀町五二電話(下谷)六五八五へ移轉。

大阪大和商會では創業十周年記念祝賀に兼ねて模範店員表彰式を舉行十五日

鳥取縣クラブ特定品會社第一回株主總會は三朝温泉萬翠樓に開催——十六日

ライオン本舗小林商店では同社講堂に青少年、婦人社員八十名を集めて第一回業務講習會を開催——十七日

大阪要彌三郎商店では東區南久寶寺町二丁目へ店舗新築移轉。

資生堂花椿會社江市公會堂に開催——十九日

大阪川菱商會は東淀川區豐崎東通三の九七の新店舗に移轉。

大阪三長洋行石鹼製造所は大阪府布施市高井田九七七の新築工場へ移轉。

社と改稱、仲義雄氏が支配人に就任、従つて一小路氏は滿鮮支の總支配人に榮轉大連に駐在して天津、北京、上海、青島奉天、大連、新京、哈爾濱、齊々哈爾、圖們、京城、釜山の十二販賣會社を統轄することとなつた。

資生堂チエーン總會

東京資生堂チエーンストア會の第五回定期總會は十八日東京劇場六階ホールに開催、出席會員は四百餘名、末川常務の挨拶あつてのち、議事に入るや、神保理事長より十二年度事業は時局を反映して高度統制の實績上り、會員數も増加し現在は七百店に近き一大チエーンを形成し統制時代に處し物心兩面の親和力を發揮する一方、店員の訓練、商品知識の普及を期して開講せる店員講座は四百數十名に上る多數の參加を得て店頭最前衛の新鋭強化を圖る等、益々會の基礎鞏固を見つゝある旨、詳細に亘つての事業報告に併せて會計報告を行ひ、滿場拍手裡に原案承認、常任理事助川氏辭任の後を襲うて就任せる現支配人佐藤吉文氏より就任の挨拶あり、來賓側代表濱田仁三郎氏謝辭を述べて總會を終了、觀劇の懇親會に移つた。

加美之素製品講演會

加美之素關東發賣元たる塚田合名會社特定品部主催、總發賣元高橋盛大堂後援の美髮劑加美之素講演會は十四日上野池の端一平莊に開催、出席者は市内チエーンの六十餘名、塚田合名の三浦敏雄氏の

挨拶、高橋盛大堂の伊藤宇右衛門氏の製品解説あり、最後に本舖山敷晴彦氏の講演があつた。

クラヤの販賣會社創立

クラヤ化粧品本舖ではクラヤ口紅、頬紅、クリーム、ドーラン等を完成して一般化粧品に乘出したのを機會に直屬販賣會社、株式會社クラヤを設立した。

資生堂の北支進出計畫

昨年末より北中支市場の積極工作に乘り出した資生堂では、同社販賣部次長大塚浩一氏の前後三回に亘る渡支、及び六月松本事務の渡支視察によつて販賣政策は完全に確立し、内地同様制度品としての綿密な販賣網を敷くこととなつた。即ち本年一月には天津販賣會社を創設、次いで七月には上海販賣會社の創設を見、八月青島販賣會社の創設を俟つて北中支に於ける根幹とし、これに附屬して北京、張家口、綏遠、大同、石家莊、保定、濟南、兗芝、南京、膠州、蘇州の十一都市に配給所を設置する計畫である旨發表した。

臺北・南和商會社創立

臺北市表町合資會社大崎公司では營業の一切を新設の南和商工株式會社に委嘱し、同社を合併の上、和洋雜貨、化粧品卸商として活躍することとなつた。新會社の重役如左。

取締役社長 小林 啓七氏
取締役 古川三之助氏

同 中村 義男氏
同 監査役 岡部 徹氏
同 大槻 晃三氏

八月

資生堂の飛行機獻納奉仕

資生堂では一日より全國従業員の勤務時間を三十分延長し、これに對して本社では一人當り一日十錢の支給をなし、これを六ヶ月間繼續して飛行機二臺を獻納すべく、本社員始め各地販賣會社配給所員は三十分の勤務奉仕を行ふこととなつた

クラブ愛知縣販賣創立

クラブ化粧品愛知縣販賣株式會社は二十七日名古屋市名古屋ホテルに創立總會を開催、資本金十五萬圓の新會社として同市西區菅原町三の十一に事務所を設置一日より業務を開始した。中山太陽堂としては最初の縣單位の販賣會社の設立を見た譯である。就任の重役如左。

専務取締役 伊藤東兵衛氏
常務取締役 村瀬 俊一氏
同 水谷 藤助氏
同 小林 正義氏
同 横井 光義氏
同 鈴木 丈八氏
同 梶浦 倉一氏
同 原 顯則氏
同 原田 常吉氏
同 井澤 宗治氏
同 伊藤伊三郎氏
同 中山 太一氏

七月

大阪共進舎石鹼株式會社新築工事中の事務所の上棟式を舉行——三日
大阪大和商會従業員の松和會ハイキングは楠公遺跡巡遊で舉行——十五日

大阪の化粧品容器商會資會社吉田商店は東成區大今里町一七〇へ移轉。

モンド化粧品本舖では近藤波保氏を入社せしめ陣容を強化した——十九日

モンド化粧品本舖では坂入新社長就任披露を兼ねて販賣店を歌舞伎座に招待——十九日

大阪松本竹商店では神戸水害に對し金三百圓を大朝社を通じて獻金——廿五日

八月

大阪谷同春堂では合資より株式組織に改組、取締役社長に谷新助氏就任——十二日

シチー化粧品本舖協和化學研究所は資源愛護の建前から、容器の買戻しを發表した。

新京の滿泰洋行では天津日本租界蓬萊街三五の二に天津支店を新設した。

淺草橋山口眞弘商店では電話淺草八九七二番を新設。

大阪大和商會では降雨による地元の道路修復に工場員百名勤務奉仕——十七日

花堂武子金太郎商店では大森福久良に二十五周年記念の賀宴を張つた——二十日

資生堂では社員を日本橋俱樂部に集めてス・フ講習會を開催した——

福井クラブ特定品創立

福井縣クラブ特定品販賣株式會社は資本金一萬五千圓を以つて福井市照手仲町一三番地に創立、八月一日より業務を開始した。重役如左。

- 專務取締役 野地正大堂氏
- 常務取締役 牧野 作松氏
- 取締役 長原清太郎氏
- 同 酒井 武雄氏
- 同 山本武四郎氏
- 監査役 岡野公之助氏

資生堂の拓務部新設

大陸市場に對しても内地同様制度品としての販賣網を敷かんとし、各地に販賣會社配給所を設置しつゝある資生堂では、今後の發展に備へて本社内に拓務部を開設、岡内英夫氏をして主任に當らしめ數名の專屬係りを配置した。

第一工業・木津川油脂合併

京都第一工業株式會社の木津川油脂合併は二十日の兩社臨時株主總會に於いて正式決定、第一工業五十圓拂込株一に對し、木津川油脂三十一圓拂込株二の割合を以つて合併成立は十二月一日行はれることとなつた。

神戸クラブ化粧品販賣創立

神戸クラブ化粧品販賣株式會社は陽敏製品の神戸市及びその附近の配給會社を二十四日創立、資本金五萬圓、一日より業務開始の運びとなつた。重役顔觸れは

如左。

- 專務取締役 竹本 梅吉氏
- 常務取締役 伊藤久一郎氏
- 取締役 笹谷 精逸氏
- 同 美馬 貞藏氏
- 同 森住 俊男氏
- 同 前田 竹松氏
- 監査役 岡野公之助氏

九月

長瀬商會大連支店設置

花王石鹼長瀬商會は從來京城及び奉天に出張所を設けて大陸發展の據點たらしめてゐたが、この兩出張所を廢して大連市大縣通一八に大連支店を設置した。これにより朝鮮、滿洲、中支に及び大陸市場を管掌せしめ、將來の發展に資さんとするものである。これが支店長としては宣傳部長たりし高橋鐵雄氏を起用、左の如き幹部の構成を以つて陣容とした尙、これに伴ひ本店宣傳部長として服部之聰氏が後を襲ひ、前販賣部長たりし伊東六郎氏が新たに支配人に就任、後任の販賣部長としては大阪支店販賣部次長たりし鯉淵健造氏の就任を見る等、幹部職制の更迭を行つた。

- 支店長 高橋鐵雄氏
- 營業次長兼中南支販賣主任 栗原貞一氏
- 朝鮮販賣主任 藤森 清氏
- 滿洲販賣主任 井上武雄氏
- 北支販賣主任 三木忠次氏

京城駐在所主任 今井忠雄氏

安藤井筒堂の金蓋買上

安藤井筒堂では容器回收の國策に應ずべく、同本舗發賣オリヂナルクリムの金蓋を北海道地方に限り、愛用者より五錢で買上げ、販賣店に對しては一個について二錢の手數料を贈呈する計畫を發表した。

齊藤流明舎の組織變更

流線型石鹼本舗齊藤流明舎は組織を變更して王子石鹼株式會社を設立、流明舎の營業一切を繼承して齊藤高一氏專務取締役に就任。

旭川クラブ特定品の幹部移動

旭川クラブ特定品販賣株式會社主任鹿野爲吉氏は圓滿退社、後任として東京本社より中村正吉氏が赴任、會社重役も大專務取締役に増田常務が引退し、新たに田卷留吉氏が專務に、石倉忠平氏が常務取締役に就任。

資生堂横濱セールズ設立

資生堂横濱販賣株式會社よりセールズ商品を分離して新たに資生堂横濱第一セールズ株式會社が設立された。新會社は中區長者町九の一四二に事務所を設置、セールズ商品の躍進に努力することとなつた。

十月

二十三日

九月

ローヤル化粧品東京配給株式會社は銀座佐々木商店内に移轉した。三日
大日本除虫菊株式會社々長上山勘太郎氏の令弟上山英夫氏は副社長に就任。
大阪裕香料店では店舗新築落成の上東區問屋町六十一へ移轉。
大阪小間物問屋井上徳商店は東區南久寶寺町二へ店舗新築移轉。
中山太陽堂クラブ化粧品齒磨の全般に亘つて容器の買上げを發表。
八重樫本舗三友商會ではボマードの容器買上げを發表國策に順應二十五日

花王石鹼五十年史は服部之聰氏の宣傳部長就任により小林良成氏が擔當。
柳屋本店では關西代理店田中清商店との諒解成り東區農人橋一の二五に關西販賣部を新設。
ライオンの第四回社員講習會は同社講堂に開催——二十七日

大阪合名會社山本店は新築落成、東區南久寶寺町一の四六電話（船場）四八〇八へ移轉。
東京商事株式會社卸部は桑原花生堂内に移轉合併した。
奥住商店の中村協氏は獨立、淀橋區西落合町三の九三六、電話（落合長崎）三四一〇へベリヤン化粧品本舗協愛社を興した。

十月

ライオンの改組二十年記念

ライオン齒磨本舗がその組織を改めて株式會社小林商店を創立してから本年はその二十周年に當りこれが記念式は十日蒲田の本社に擧行された。參列者は齒磨石橋兩會社の社長、重役、各地支店長、幹部社員を始め三百餘名。式は正九時北村達郎氏司會のもとに開始、全員起立、宮城遙拜、出征將士への感謝默禱、國歌齋唱に始り、神谷專務の回顧談、社長小林喜一氏の訓話ありたる後山崎常務より相談役前社長小林富次郎氏に對して彰徳表を獻呈、次に社員總代より相談役に胸像日録を贈呈、これに對して小林相談役より一場の訓示あり、次に永年勤続者への慰勞記念品、一般社員への記念品贈呈あり、了つて來賓の額賀收師よりの訓話、社員、工員代表の宣誓をなした。次いで社員、工員代表を始め竹井專務、上野豊次氏、來賓緒方博士、東京ライオン會代表、廣田東京商報、石川大阪商報兩主幹、東條海軍中將等の祝辭があつた。

レイト大阪支店新築落成

レイト本舗大阪支店は道路擴張の爲、假營業所に移轉中の處、東區南久寶寺町四丁目の新築店舗落成、十五日移轉。

花王石鹼の重役移動

花王石鹼株式會社長瀬商會並に大日本油脂株式會社では、十六日開催された臨時總會及び取締役に於いて三重役の移動が決議された。即ち從來花王石鹼の取

締役經理部長にして大日本油脂の監査役たりし秋元直氏、大日本油脂の取締役たりし伊藤英三氏、及び大日本油脂の取締役技師長たりし川上八十太氏の三氏がそれ〴〵左の如く新たに就任を見た。

花王石鹼監査役 秋元 直氏
大日本油脂專務取締役 花王石鹼取締役經理部長 伊藤英三氏
大日本油脂監査役 大日本油脂專務取締役 川上八十太氏

ローヤルの組織強化

ローヤル化粧品本舗は今度ローヤル化粧品株式會社佐々木商店を組織常任監査役に若山三郎氏を迎へて陣營を強化し、つやふきん佐々木商店の業務一切を繼承することとなり、又從來のローヤル化粧品配給株式會社をローヤル化粧品販賣會社と改稱、京橋區銀座一ノ四本社内に移轉した。重役如左。

社長 若山 孝二氏
專務 若山 義雄氏
常務 梶梅 四郎氏
取締役 大谷龜太郎氏
同 佐々木了吉氏
常任監査役 若山 三郎氏
監査役 小林良之助氏

京城アイデアル會創立

アイデアル本舗では十九日京城本町ボアグランに於いて京城アイデアル會の創立總會を開催、京城及び仁川に於ける有力販賣店五十餘名出席、左の役員を決定した。

幹事長 岡田 永治氏

常任幹事齋藤三郎氏▽同諸方壽忍氏▽同橋本一氏▽同三浦美一氏▽同東亜理髮會社▽同北島藥店

福島クラブ特定品創立

福島クラブ特定品販賣株式會社は十九日郡山市太田旅館に創立總會を開催、新會社は資本金一萬圓、福島縣下一圓を配給區域とし事務所を若松市七日町三五に設置、本橋藤助氏を販賣主任として即日業務を開始した。就任重役如左。

專務取締役 芳賀 新吉氏
常務取締役 馬目勝次郎氏
取締役 矢部 元雄氏
監査役 橋本 久氏
同 中山 豊三氏

北海道燐寸販賣創立

北海道に於ける有力燐寸取扱者を打つて一九とする北海道燐寸販賣株式會社は二十八日小樽市色内町三菱商事株式會社會議室に創立總會を開催した。新會社は資本金五萬圓、北海道、樺太、千島を以つて販賣區域とし十月一日より業務を開始した。就任重役如左。

專務取締役 小泉 商店
常務取締役 小樽 三忠商店
取締役 旭川 三箇商店
同 小樽 笹田商店
同 札幌 高桑商店
同 函館 大庭商店
同 小樽 上勢商店
同 札幌 長谷川商店
同 東京 太陽商事

中山太陽堂は訪日中の秘露經濟使節團婦人部一行を迎へて同工場を案内、中山氏邸の午餐會に招待した。

二日

石川縣クラブ特定品では金澤商工會議所に時局販賣經營懇談會を開催した。

大阪清水忠石鹼株式會社は今度雜貨部を新設、各種マツチを取扱ひ始めた。

九日

ライオン齒磨本舗は飛行少年團及び航空婦人會協力のもとに容器回収に乗出した。

富山縣クラブ特定品では宇奈月温泉に創立一週年記念の祝賀懇親會を開催した。

十二日

ハリウッド美容室事務所は麴町區一番町九番地に町名變更。

大阪共進舎石鹼株式會社は同社内の新築事務所に移轉した。

十五日

ライオン石鹼では出征社員遺家族八十餘名を國際劇場に招待慰安した。

十七日

福岡縣南部クラブ特定品會社の商談會は同市商工會議所に開催した。

七日

花王石鹼では例年の如く吾嬬工場に花王祭を擧行、戦死社員の靈を弔つた。

十七日

松山市ウエルス商會は新築工場社屋竣成移轉した。

二十四日

十全堂株式會社では麴町區富士見町一〇七九、電話九段四八八〇に東京出張所を新設。

戸谷佐治商店の齋藤安弘氏は淺草區藏前三の二〇に獨立開業。

清遊日記

一、昭和十三年中、全國の業界に於いて行はれたる清遊觀劇及びその他の招待會等を月次の調査したものである。

一、清遊、觀劇中、愛用者に対する優待サービスは「廣告宣傳」の部門に取扱ひ、此の日記中には一切除外してある。

一、別項の「清遊、觀劇一覽」は、此の日記を統計的に分類したものであり、更らにその清遊の地方別にしたものと及び觀劇を劇場別にしたものも別表に掲げてある。

一、調査期間は昭和十二年十一月一日より十三年十月末日に至るまでである。

十一月 十二年

丸見屋商店ミツワ石鹼東京歌舞

伎座觀劇 二日

ウテナ久保政吉商店都下代理店

幹部店員招待新宿第一劇場 二日

加藤キネマ石鹼製造所抽籤招待

横濱雨月莊 二日

東粧聯盟ヨルカ會發會式上野精

養軒 七日

ライオン小林商店市内販賣店招

待東京劇場 八日

益田合名會社創立二十年記念販

賣店招待雲仙清遊 十一・十二日

ゴロー整髮料本舖北陸温泉めぐ

り清遊 七日・九日

播淡クラブ特定品販賣株式會社

駒木銀三郎商店清和會永平寺清

商談會籌樂園 十二日

クラブ第一販賣株式會社デー特

賣披露招待演の家 十三日

二七會六百回記念觀劇 十三日

イオス研究所明治座觀劇 十五日

三葉商會乳脂石鹼名古屋歌舞伎

座觀劇 十五日

保利新商店仁徳石鹼大阪歌舞伎

座觀劇 十六日

播金興業株式會社ループ化粧品

有樂座觀劇 十七日

大丸商店クラブ化粧品吾平山陵

指宿温泉清遊 十八日

古澤榮七商店コレネット美粧料

大阪歌舞伎座觀劇 十九日

ロイヤル化粧品東京配給株式會

社大森福久良招待 二十日

田中善株式會社ニード美人石鹼

伊勢大廟參拜 二十一日

大内大洋堂マスケン替友明治座

觀劇 二十二日

三友商會八重椿東京劇場觀劇

二十二日

花王石鹼長瀬商會代理店懇談會

阪急星ヶ岡茶寮 二日

日本油脂株式會社代理店懇親東

京歌舞伎座觀劇 七日

日本油脂株式會社代理店懇親伊

勢大廟參拜 十一日・十二日

丸見屋商店サワー白粉國際劇場

觀劇 十三日

千代田齒科子本舖國際劇場觀劇

十四日

荒木金助商店コマ齒科子大阪歌

舞伎座觀劇 十五日

美香園タマゴシャンブー名古屋

遊 四日

御園座觀劇 十七日

藤金製油場サカエ美髮料伊勢大

廟參拜 八日・九日

二六商會エデノン化粧品寶塚劇場

觀劇 十日

月の友化粧品東京代理店招待熱

海清遊 十三日

朝日堂株式會社本椿香油大阪歌

舞伎座觀劇 十四日

辻萬商店花王石鹼御園座觀劇

十四日

吉田實石鹼株式會社伊勢大廟參

拜 十五・十六日

資生堂チエーニーストア招待伊勢

大廟參拜東京遊覽 十六・二十

ライオン小林商店國技館招待

十七・二十一日

桑山喜重郎商店コレネット美粧

料御園座觀劇 十七日

山彦除蟲菊株式會社代理店招待

長岡温泉清遊 二十日

金鳥香東京販賣株式會社懇親會

目黒雅叙園 二十一日

霜田商店マスター化粧品川崎大

師參拜 二十三日

ウテナ久保政吉商店代理店懇親

會上野雨月莊 二十四日

水上政勝商店國産カツビ化粧品

料大阪歌舞伎座觀劇 二十四日

瀨尾伊商店金千代石鹼大阪歌舞

伎座觀劇 二十六日

柳屋本店柳生會幹事會上野雨月

莊 二十八日

ライオン小林商店京阪神取扱店

大阪歌舞伎座觀劇 三日

長岡驅蟲劑製造株式會社菊牡丹

招待會日本閣 四日

日本油脂株式會社滿鮮代理店招

待紀州白濱清遊 五・六日

柳屋本店柳屋ポマーD歌舞伎座

觀劇 七日

山彦除蟲菊株式會社建值發表會

築地治作 八日

太田屋荒物店ライオン石鹼東京

遊覽有樂座觀劇 九日・十日

ウテナ久保政吉商店甲信越代理

店懇談會布半別莊 十日

飛川商店特賣熱海清遊 十一日

仁壽堂分店京阪神代理店招待播

州松巡り 十二日

千草會總會熱海清遊 十二日

ウテナ久保政吉商店上越地方代

理店懇談會鍋茶屋 十二日

ウテナ久保政吉商店東北地方代

理店懇談會淺蟲温泉 十三日

朝日堂クラブ商事株式會社大阪

歌舞伎座觀劇 十四日

十全堂株式會社花王シャンブー

湯の川温泉招待 十五日

スチルマン河田商會京濱代理店

有樂座觀劇 十五日

丹頂ベルトライン神奈川懇親會

平安樓 十八日

田中石鹼營業所スマイル石鹼懇

親會東港園 十八日

並木伸之助商店ライオン石鹼東

京遊覽有樂座觀劇 二十日

井の内製油所東京お染會招待福

井樓 二十日

粧和理化學工業所メードリン化

粧料歌舞伎座觀劇熱海清遊

二十日

小林春吉商店ライオン石鹼東京

遊覽有樂座觀劇 二十日

内外除蟲菊株式會社月虎會熱海

播金興業會社

村上晃陽商會

ロイヤル化粧品

ダイナー本舖

粧和理化學工業

日本油脂會社

大内大洋堂

千代田齒科子

井筒屋香油店

水島屋商店

飛川商店

吉村安太郎商店

卯野商店

三浦晋次郎商店

葵香本店

岡島商店

鈴木福次郎商店

東京コレネット

田中石鹼營業所

丹頂會

福田號商店

山口商店

王子石鹼會社

井上儀三郎商店

金鳥香東京販賣

田中花王堂

玉置文治郎商店

堀内隆敬商店

明和會

芳誠舎石鹼製造所

東京赤ベル會

東京堂株式會社

木下商店

柳佐吉商店

ヨルカ本舖

千草會

中部・北陸

増澤化粧品部

商 品 商 店

一四一

三

清遊 二十一日
 三友商會ケイラン髪洗粉古奈温
 泉清遊 二十二日
 村上晃陽商會金ツル齒刷子明治
 座觀劇 二十二日
 レコード石鹼鹿兒島販賣所相撲
 招待 二十六日

三 月

卯野商店ビジュニア化粧品明治座
 觀劇 三日
 世戸石鹼株式會社白菊石鹼中座
 觀劇 三日
 木下商店萬上會新宿第一劇場觀
 劇 四日
 三宅堂本椿ボマード明治座觀劇
 四日
 奥畑商店營業部乳白乳兒石鹼賣
 塚劇場觀劇 六日
 井の内製油所大阪お染會北野劇
 場觀劇 六日
 宇の達商會タンゴドーラン中座
 觀劇 八日
 朝日堂株式會社るびるボマード
 中座觀劇 九日
 永田美芳園エデン化粧品北野劇
 場觀劇 十三日
 中東商店モンココ洗粉御園座觀
 劇 十四日
 増澤商店ミモサ化粧品温温泉清
 遊 十六日
 酒井義人商店クラブ化粧品大阪
 遊覽團原神宮參拜 十六・十七日
 伊東露木分店庄慶化粧品奈良伊
 勢巡り清遊 十六・十七日
 木村金三商店各種頭飾品明治座
 觀劇 十七日
 井の内製油所お染會山中温泉清
 遊 十七日
 芳誠舎石鹼製造所大東京オバー

ル會招待東港園 十八日
 石田佐一商店ラモナー化粧品新
 橋演舞場觀劇 十八日
 荒川正商店トロット化粧品中座
 觀劇 十八日
 共道舎石鹼株式會社牛乳石鹼中
 座觀劇 十八日・十九日
 ライオン小林商店御園座觀劇
 千代田美髮料本舖千代田會御園
 座觀劇 十九日
 葵香本店東京二葉會山水樓招待
 東京劇場觀劇 十九日
 サケイ商店初荷特賣作並温泉清
 遊 二十日

四 月

村上晃陽商會ピツク替及明治座
 觀劇 二日
 三葉商會東京シャンブー名古屋
 歌舞伎座觀劇 四日
 一色石鹼工業所南座觀劇 七日
 岡島商店忠勇齒刷子クローバー
 化粧品別府清遊 九・十日
 山口縣クラブ特定品販賣株式會
 社温田温泉清遊 十一日
 孔官堂東京蘭月會式根島清遊
 十二・十三・十四日
 田中華株式會社ニード洗粉中座
 觀劇 十二日
 村山甚十郎商店青島神宮參拜
 十三・十七日
 戶崎芳男商店販賣店懇親會嚴島
 招待 十四日
 井筒屋香油店滿洲井筒會東京遊
 覽箱根清遊歌舞伎座觀劇 十
 五日
 鈴木福次郎商店ナルビ化粧品
 中座觀劇 十五日
 小松屋商店庄慶化粧品東京遊覽
 國際劇場觀劇 十五・十六日

藤金化粧品部サカエ美髮料御園
 座觀劇 十六日
 西村勝商店日活石鹼南座觀劇
 十六日
 赤松商店クリン會奈良島山巡
 り清遊 十六日
 松村商店オリヂナル化粧品東京
 遊覽明治座觀劇 十七・二十日
 金鶴香水株式會社廣島縣下代理
 店招待嚴島 十九日
 增澤商店ミモサ協榮會上山田温
 泉清遊 二十日
 清水忠石鹼株式會社健康石鹼賣
 塚劇場觀劇 二十日
 金鶴香水株式會社九州代理店招
 待別府温泉清遊 二十一日
 東揚明和會メードリン化粧品本
 舖共同東京劇場觀劇會 二十二
 日
 金鶴香水株式會社四國代理店招
 待道後温泉清遊 二十三日
 岡島商店黒獅子白髮染新宿第一
 劇場觀劇 二十四日
 夏川大連支店星ヶ浦公園觀櫻招
 待會 二十九日

五 月

ミコト石鹼製造所豐岡劇場觀劇
 會 一日
 クラブ第一販賣株式會社京濱代
 理店招待會大森松茂 二日
 ダイナ化粧品本舖濱松販賣店
 招待濱名湖ホテル 二日
 河西清商店南座觀劇會 四日
 後藤善太郎商店ウテナ化粧品淺
 蟲温泉清遊 五日
 吉村安太郎商店オリンピア美粧
 料明治座觀劇 六日
 三浦音次郎商店ビヤン聯盟會員
 三田濱樂園招待 六日

林屋商店ライオン石鹼東京遊覽
 國際劇場觀劇 六日
 美香園東玉會國際劇場觀劇 七日
 井上興吉商店クラブ化粧品富士
 五湖めぐり清遊 六・十日
 二六商會センチュリー化粧品北
 野劇場觀劇 七日
 壽原商事株式會社クラブ化粧品
 鬼怒川温泉清遊東京遊覽明治
 座觀劇 八・二十日
 池田鎌次郎商店キンシ髪洗粉寶
 塚劇場觀劇 八日
 小林朝商店大阪歌舞伎座觀劇
 八日
 增澤商店ミモサ化粧品魚屋ホテ
 ル招待 十日
 東京アイデアル會熱海清遊 十一
 日
 ロイヤル化粧品販賣會社チエー
 ン招待明治座觀劇 十一日
 山形クラブ化粧品販賣株式會社
 飯塚温泉清遊 十一日
 壽原商事株式會社ミノル石鹼東
 京國技館招待 十二日
 佐脇勉強堂ナルビ化粧品熱海
 清遊 十二日
 梶野石鹼製造所乳脂石鹼琵琶湖
 めぐり清遊 十三日
 田中華株式會社ニード粉洗粉發
 賣披露招待阪急星ヶ岡茶寮
 十三日
 ダイナ化粧品本舖名古屋市内
 販賣店招待向陽館 十三日
 山口剛生商店ユニーク香水有樂
 座觀劇 十四日
 クラブ化粧品函館販賣株式會社
 販賣店湯の川招待 十四日
 蛭子商店ベザリン化粧品富士五
 湖めぐり清遊 十六日
 竹中一晃商店定山溪温泉清遊

宮坂金人商店
 安井・商店
 富山クラブ特定品
 新潟クラブ特定品
 露木正敏商店
 林屋商店
 ミコト石鹼製造所
 宮崎甚平商店
 名古屋
 美 古 屋
 三ツ葉商會
 月の友化粧品園
 藤金化粧品部
 中東商店
 名古屋ライオン會
 太田屋荒物店
 コロソナ本舖
 水谷藤助商店
 辻萬商店
 原錦粧堂
 桑山喜重郎商店
 山松屋商店
 村瀬谷三郎商店
 千代田本舖
 京 都
 橋金治商店
 鈴木藤商店
 河西清商店
 西村勝商店
 一色石鹼工業所
 はれやか石鹼
 大阪
 金鶴香水會社
 二六商會
 花王大阪支店
 田中華株式會社
 中山太陽堂
 朝日堂株式會社
 共進舎石鹼會社
 小林朝商店

十七日
安井商店庄慶香油水上温泉清遊
東京遊覽國際劇場觀劇 十七日
クラブ第一販賣株式會社東京濱代
理店招待伊豆半島清遊 十七日
十八日
柴仁商事株式會社寶塚劇場觀劇
十八日
柳佐吉商店小柳會房總半島めぐ
り清遊 二十日
クラブ中山太陽堂東海四縣代理
店招待四國巡り清遊 二十一日
二十四日
宮崎甚平商店オリヂナル化粧料
東京遊覽長岡温泉清遊 二十一日
二十四日
小林春吉商店ライオン石鹼東京
遊覽有樂座觀劇 二十二日
池畑勝美堂ワカミヅ會大阪歌舞
伎座觀劇 二十二日
柳屋本店柳生會鹽原温泉清遊
二十三二十四日
友貞義助商店別府温泉清遊 二十
三二十四日
花王石鹼長瀨商會大阪歌舞伎座
觀劇會 二十四日
坪井商店橫濱歌舞伎座觀劇會
二十六日
小島屋商店エセツクス美爪料熱
海清遊 二十七日
播金興業株式會社ループ化粧料
品川沖沙干狩り 二十九日

六 月
原錦粧堂カッビーポーンネット會
箱根清遊 三十四日
モンド化粧園東京モンド會熱海
清遊 七日
月の友化粧園東京代理店招待十
和田湖清遊 七八日

村濱谷三郎商店オリヂナル化粧
料日光清遊東京遊覽歌舞伎座
觀劇 七九日
東京赤べる會明治座觀劇 八日
三葉商會クローバー化粧料寶塚
劇場觀劇 八日
鈴木藤商店ランラン油粧料タン
ゴドーラン京都寶塚劇場觀劇
九日
丸百クラブ化粧品販賣會社釜山
東京相撲招待 十日
花王石鹼大阪支店販賣店々員招
待御殿場海岸 十二日
廣瀨廣進舎ハイカー石鹼寶塚劇
場觀劇 十二日
橘金治商店クラブ專門部南座觀
劇 十二日
福岡クラブ化粧品販賣會社大博
劇場觀劇 十三日
保利新商店仁徳石鹼大阪歌舞伎
座觀劇 十三日
藤井商店クラブ化粧品大博劇場
觀劇 十三日
鳥取縣クラブ特定品販賣會社三
朝温泉清遊 十六日
二六商會アモン化粧品大阪歌舞
伎座觀劇 十六日
井上儀三郎商店正金シャンプ
ル松葉製洗石鹼伊東温泉清遊
十七日
ライオン小林商店松江代理店招
待玉造温泉清遊 十八日
高松大正堂ユース石鹼北野劇場
觀劇 十八日
大丸商店青島神社參拜 十八十九
日
永田美芳園エデン、スロイン化
粧料北野劇場觀劇 二十二日
石田佐一商店ラモナー化粧品昇
仙峽長岡温泉清遊 二十三二十五日

北村薰主堂東京時代會伊勢大廟
參拜 二十三二十五日
中東商店クラブ化粧料御園座觀
劇 二十四日
金子屋本店オカツ化粧料綱島
温泉招待 二十四日
早川商店登別温泉清遊 二十五日
二十六日
水谷藤商店クラブ化粧品御園座
觀劇 二十六日

七 月
增澤商店ミモサ化粧料販賣店岡
谷山せん招待 一日
霜田商店タンゴドーランいそご
園招待 三日
月の友化粧園五百番香水明治座
觀劇 六日
三友商會八重椿香油國際劇場觀
劇 六日
クラブ中山太陽堂九州大洋會雲
仙清遊 八日
田中善株式會社東京濱代理店招
待上野精養軒 十日
ウテナ久保政吉商店東京代理店
招待上野精養軒 十日
小林朝商店ハードラバー掃寶塚
劇場觀劇 十日
藤金製油場サカエ美髮料南知多
半島清遊 十一日十二日
日刊商業十五周年記念大阪歌舞
伎座觀劇 十三日
仙臺アイデアル會作並温泉清遊
十四日
資生堂京城販賣會社資生堂齒刷
子京城東京相撲招待 十七日
資生堂東京チエーンストア會東
京劇場觀劇 十八日
モンド化粧園東京販賣店招待歌
舞伎座觀劇 十九日

三龜順次商店千代田香油日田盆
地清遊 十九日
仁丹森下商店中央仁丹會豐川稻
荷座觀劇 二十日
仁丹森下商店東京劇場觀劇 二十
日
龜山甲陽堂販賣店懇親熱田神宮
參拜 二十二二十三日
イオス研究所有樂座觀劇 三十一
日
露木正敏商店ツキ石鹼大島清
遊 二十二二十三日
月の友化粧園名古屋販賣店招待
前芝沙干狩 二十二日
帝國除蟲株式會社二色キング香
湯の川温泉招待 二十三日

八 月
二六商會丹頂石鹼あみだ池二葉
招待 一日
田中花王堂丹頂石鹼國際劇場觀
劇 三日
大阪クラブ特定品販賣株式會社
中座觀劇 八日
陽成合營業部ツバサ石鹼寶塚劇
場觀劇 八日
葦内石鹼製造所サンヤク石鹼磯
子借樂園招待 八日
クラブ化粧品函館販賣會社函館
劇場觀劇 十八日
宇多商店スミレ石鹼寶塚劇場觀
劇 二十日
サケイ商店荒物特賣飯坂温泉清
遊 二十日
玉置文治郎商店歌舞伎座觀劇
二十二日

九 月
クラブ第一販賣會社仙臺出張所
文化キネマ觀劇 一日

日本油階大阪店
山彦除虫菊會社
荒木金助商店
保利新商店
廣瀨廣進舎
仁丹森下商店
永田美芳園
赤松卯藏商店
吉田實石鹼會社
增田孔官堂
瀨伊尾商店
伊東露木分店
三宅
世戸石鹼會社
荒川正商店
水上政勝商店
古澤榮七商店
ゴロー本舖
池畑勝美堂
蛭子商店
山本商店
大阪クラブ特定品
平尾喜三郎商店
岡田文美堂
田中清商店
仁壽堂分店
北村勲商店
川村勲主堂
陽成合營業部
神奈川丹頂ベル
龜山甲陽堂
清水忠石鹼會社
梶野石鹼製造所
東陽明和會
池田鎌次郎商店
奥畑商店營業部
井の内製油所
宇野達商會
宇多商店
朝日堂クラブ商事

ニッパル

化粧石鹼

本社—東京・芝・日産館

一洋東額産

日本油脂株式會社

ニッパル

洗濯石鹼

ランラ ポマード

羊毛ホルモン主成



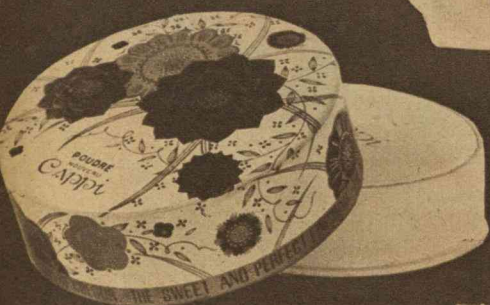
す決解を髪整の人本日な癖潔
がひ匂ノだれこがドーマポる
養——いよのち落ひ洗てくよ
イノ・ンランラな著顯用作毛

大阪 店商號 田福 東京

カピツピ化粧料 國産

品製園香豊 <輝は品良

人氣の焦點！
國産の至寶！



79 込牛園香豊端田京東

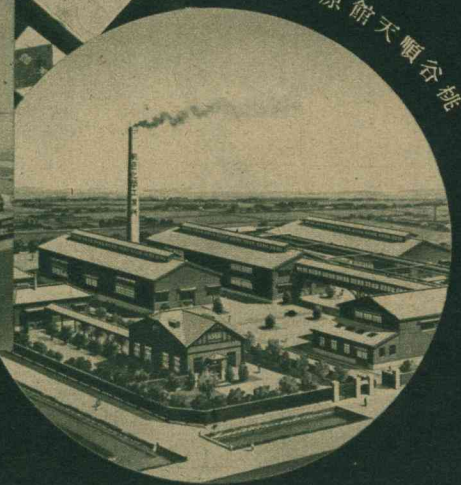
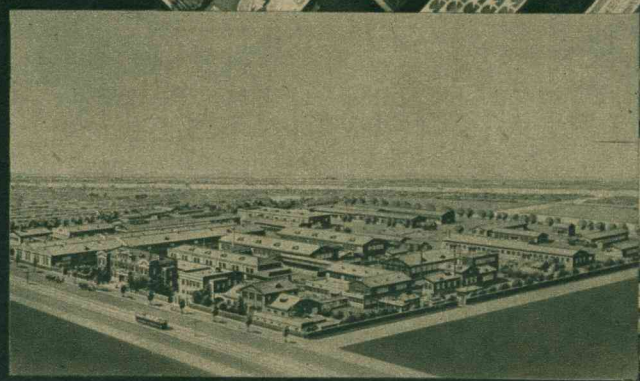
明色



明色

ムーリクンミンリク

! 湯も水も使はぬし洗顔料!



桃谷順天館原料工場

桃谷順天館と工場全景

明色美顔化粧品本舗
株式會社
桃谷順天館

二重効果の新強力化粧水

アシトリンゼン

年と共に愛用家激増
 多年の御擴賣深謝致します

榮養化粧水

養毛劑
 モデナ
 ゼルモン

髪洗
 モダン・シャンプー



モダン・シャンプー		ゼルモン		モデナ		粉製		固形	
大瓶	小瓶	大瓶	小瓶	大瓶	小瓶	大瓶	小瓶	大瓶	小瓶
金一圓三十錢	金一圓	金六十五錢	金四十五錢	金六十五錢	金四十五錢	金六十五錢	金四十五錢	金六十五錢	金四十五錢
（一週間の髪を洗い流すのに適する）		（一週間の髪を洗い流すのに適する）		（一週間の髪を洗い流すのに適する）		（一週間の髪を洗い流すのに適する）		（一週間の髪を洗い流すのに適する）	

—行賣的倒壓—

純植物性

(養毛素コレステリン配合)

本椿 トニック

ポマード

コレステリン配合

本椿 トニック オイル

洋髪専用、賣行潑刺

本椿 っや出し香油

素肌美時代にゼヒ

リリース 洗 顔 クレンジナー



(賣薬部外品)



55 セン

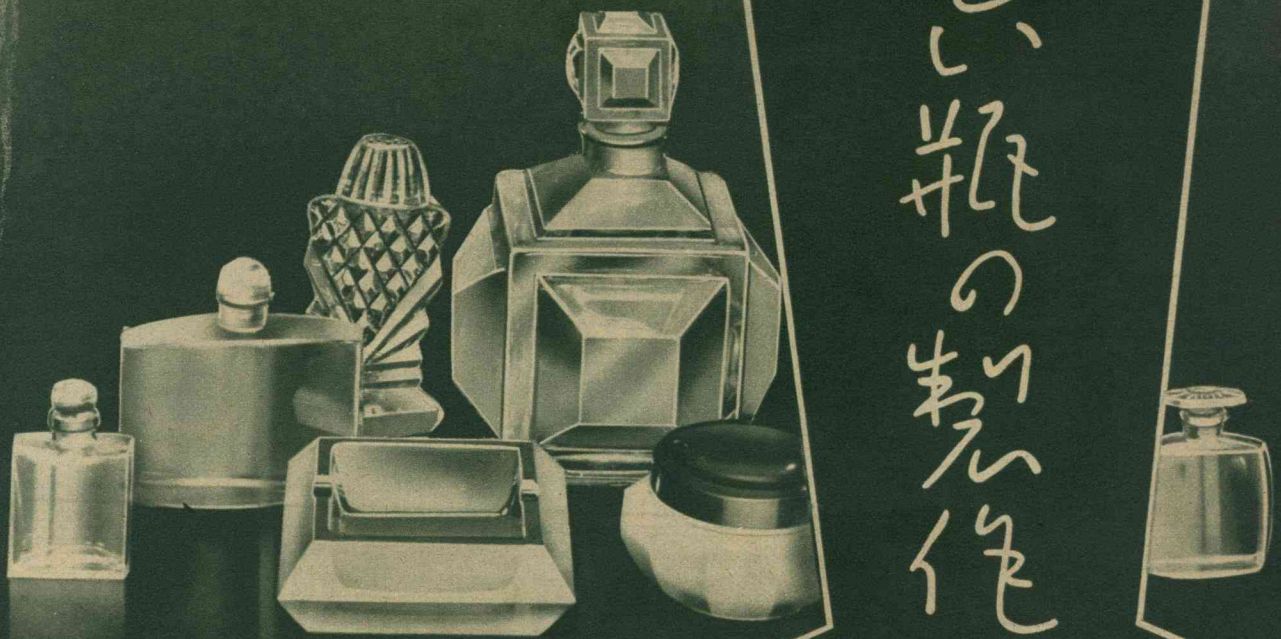
本 三 堂 資 合 社 本

大阪市東区小橋北之町三丁目
電話南(75)四八七・五八七・六八七番

東京市浅草区鳥越一丁目
電話浅草(84)七〇七番

出張所

新らしい瓶の製作



店商屋釜 株式會社

地番四目丁一越鳥區草淺市京東 店本
番二九三四・二九〇七(84)草淺話電
番四八一二一京東座口替振

壘粧化で型のみ望お
品製トイラクーベと
に間おに價廉速迅を
すまし致せ合
呈進グロタカ

Whisper

場工二第阪大
一三町橋美加下府阪大

場工一第阪大
四五七町全杭區吉住市阪大
番三四五三寺王天話電

Trot

品製的期劃の 舗本トット



原料は數種の高級植物
性及コレステリン・レ
シチン配合、毛髪の生
命を助け艶を出し美を
保ち抜毛フケを防ぐ
底部を押し上げますと頭
部の布が自然に張り切り
ます。
布の面で頭髪を撫でます
と絶対に手を汚す事無く
ムラなく美しく整髪が出
来ます。

許特賣專 性物植純
ドーマポット

國產最高
基準品

ムーリクンシンリク



蒸したタオルで拭き取
つて下さい、湯水を使
はす理想的な洗顔が
出来、入浴前に、白粉
落しに、洗顔後のお肌
の榮養と厚化粧下には
是非本品を推奨いたし
ます



お化粧の
基礎工作に
このクリーム
を顔全體によ
く擦り込んで
から柔かいガーゼか
蒸したタオルで拭き取
つて下さい、湯水を使
はす理想的な洗顔が
出来、入浴前に、白粉
落しに、洗顔後のお肌
の榮養と厚化粧下には
是非本品を推奨いたし
ます

ンアリド 有含ンアリド玉實果る創なさ若と美

ムーリク



色白く美と若さを
創る！ドリアンは
南洋に出来る野生
の果實であり驚く
べき榮養素を保持
してゐます。
特効ニキビ、ソバ
カス、シミ、
ヒゲソリ後
等々。

元賣發東關

堂王花中田

目丁三町喰馬區橋本日市京東
三三三・二三三(67)花浪話電
四三三三京東座口替振

良優產國 並表代國各米歐

化粧品 原料

御申越次第化粧品原料商報送呈



店門專

店商壽宇以和三社會式株

地番一目丁二橋京區橋京市京東

番七六四三番〇五三三(56)橋京話電
番四七一三三京東替換

オッカオフ美粧料

日本最高位の

品質と

厳正にして

合理的な

制度を誇る



安心して御販賣

願へる……

新興優秀製品の

代表!!



總本オッカオ

店商郎三喜尾平

京東一阪大



セルロイド洋髪櫛製造卸



清水英商店

清水英一郎

東京市淺草區鳥越二ノ二
電話淺草(84)五八七九番
振替東京八七二七一番

純無鉛

あせ知らず



印ワチウ赤

舖本

徳田商店

東京市下谷區中清水町五



青
切

相馬石鹼 木ー力ー石鹼

品質第一位！
よく賣れて利益も確實



諸石鹼製造

相馬帝國社

東京市向島區田町一丁目一三六〇番地
電話田三七六一番 振替東京三三六番



塩野香料株式會社

本社

大阪市東區道修町三丁目

東京出張所

電話北濱(23)一六八三・三〇三一・三〇三二
 振替口座大阪三七七番
 東京市芝區田村町一丁目鳥羽ビル五五室
 電話銀座(57)二三五・三六一二番

大阪工場

大阪市東淀川區新高北通三丁目

臺灣竹東工場

電話北(36)二三九五番
 臺灣新竹州竹東郡竹東街上公館



意匠斬新
 最廉價引受
 既製ペーパー紙器
 ポスタ！封緘紙等
 何業用も常に三萬余種有
 御利用を乞ふ

商報進呈

浮世印刷は版代無料

一タス水・鹵品瓶化・鹵水香等上袋薬膏・鹵品薬
 他具・用類筆類油漆林品料食物間小利染品漆品瓶化

い安は紙封 慢自か明鮮刷印

りな明鮮は刷印 の器紙

屋間パーペルベール
 所刷印堂歩進田山
 地番八目丁一越鳥草浅宗東
 番〇八六〇草浅話電

現金勉強主義



頭飾品・裝身具・化粧用品問屋

君が代印本舗

合名
會社

飛川商店

貿易部

東京市日本橋區横山町
電話浪花二五六五番
振替東京七一七一二番
東京市日本橋區横山町五小松ビル
電話浪花〇四七一番

菊手固形灰

十二時間持 十二本入



本舖 裕積之助商店

工場
 東京市本所區向島請地六二
 電話墨田(74)一三四八番
 本所區向島請地町六九

香料



香料直輸出入並製造

田村香料株式會社

營業所 大阪市東區淡路町二丁目

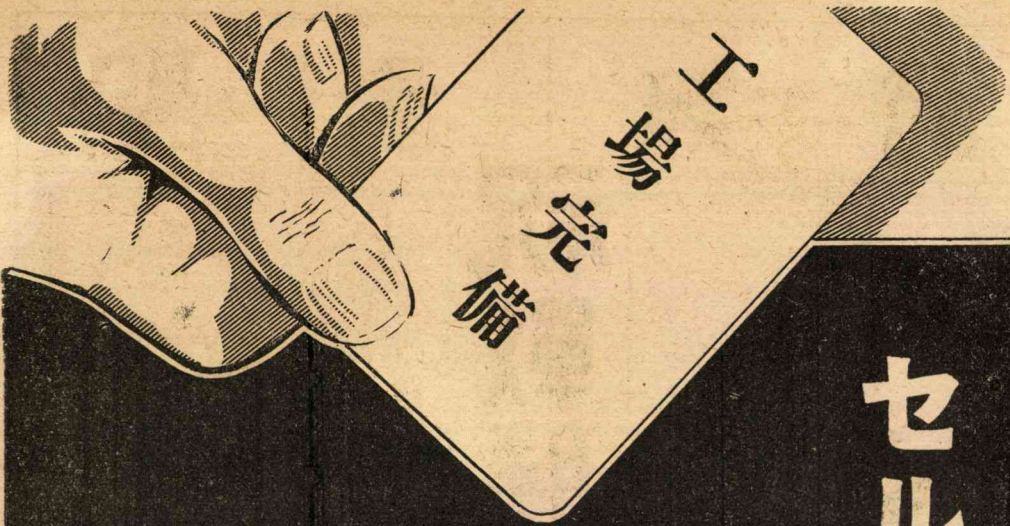
電話北濱(23) 六六九番

振替大阪二六六九二番

發電略號(タムラ)

製造所 大阪府豐能郡箕面半町

電話櫻井一〇四番



セルロイド製

化粧用具

文房具

玩具雜貨



東京市淺草區柳橋二丁目一十二番地ノ二號

荻村龜太郎商店 會社名

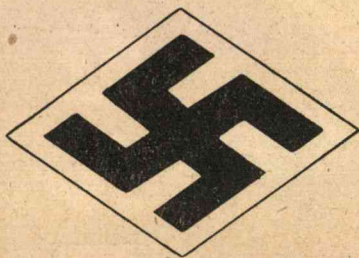
電話淺草(84)三九四番 振替東京一四五六番

東京市東區龜戶六丁目八十六番地

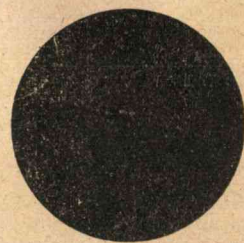
荻村セルロイド工場

電話墨田(74)四三〇番

窮 無 壽 聖



祝 戰 勝 之 春



東 協 粧 會 京

井田西國堂

東京 本所

武孝商店

東京 巢鴨

合名 芥田商店

東京 品川

鈴木義明商店

東京 神田



香 料

小林 鍵次郎 商店

工場 東京市世田ヶ谷區若林町三四八
電話 世田ヶ谷二七九六番

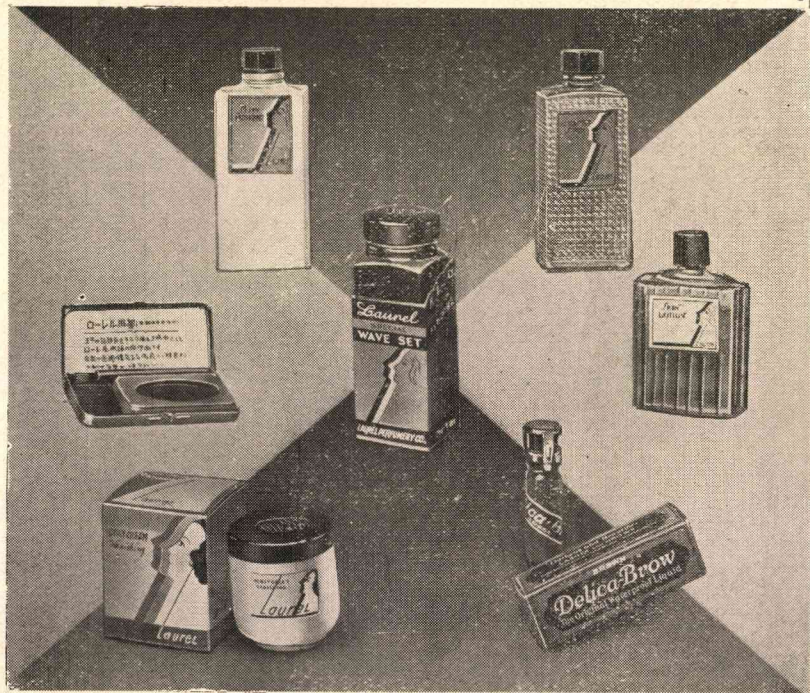
東京市日本橋區本町四丁目三番地
電話日本橋(24)一七九六・三九〇一番



化粧料

煉白粉	デリカブロー
粉白粉	スキンクリーム
水白粉	コールドクリーム
ホ、紅	スムーシングクリーム
口紅	蜂蜜入バニシングクリーム
まゆ墨	アストリンセントローション
コスメチック	ミルクーフレッツシユナー
特製	スキンローション
コスメチック	ウエーブセット
化粧石鹼	ローション

明朗 健康なる
近代女性美を
創る！



本 舗
太田榮治郎商店

東京市本區橋久町四十番地
大阪市南區本町五丁目四番地

嚴然たる

チエーン制度に依る

最高級國産化粧品

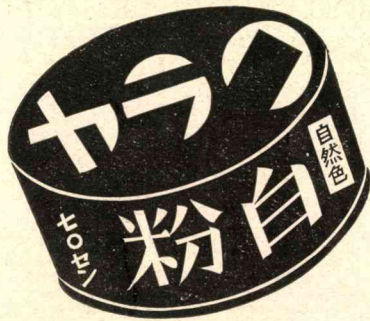
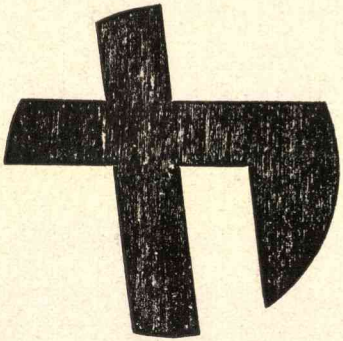
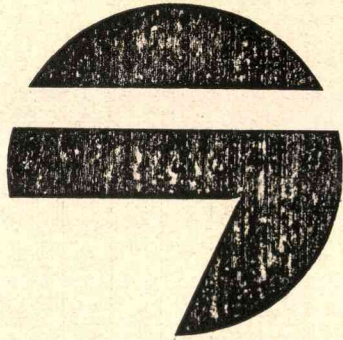
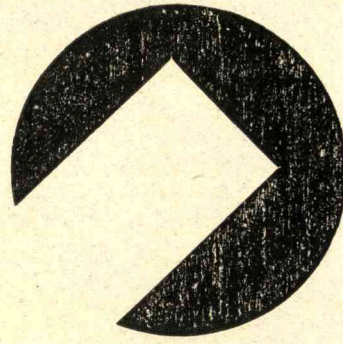
特殊榮養クリーム

整肌基礎コールドクリーム

睫毛養毛劑・クラヤレンゼン

香水ポマード・無香ポマード

口紅・頬紅——その他



ヤラカ 社會式株

厨上・谷濑・京東

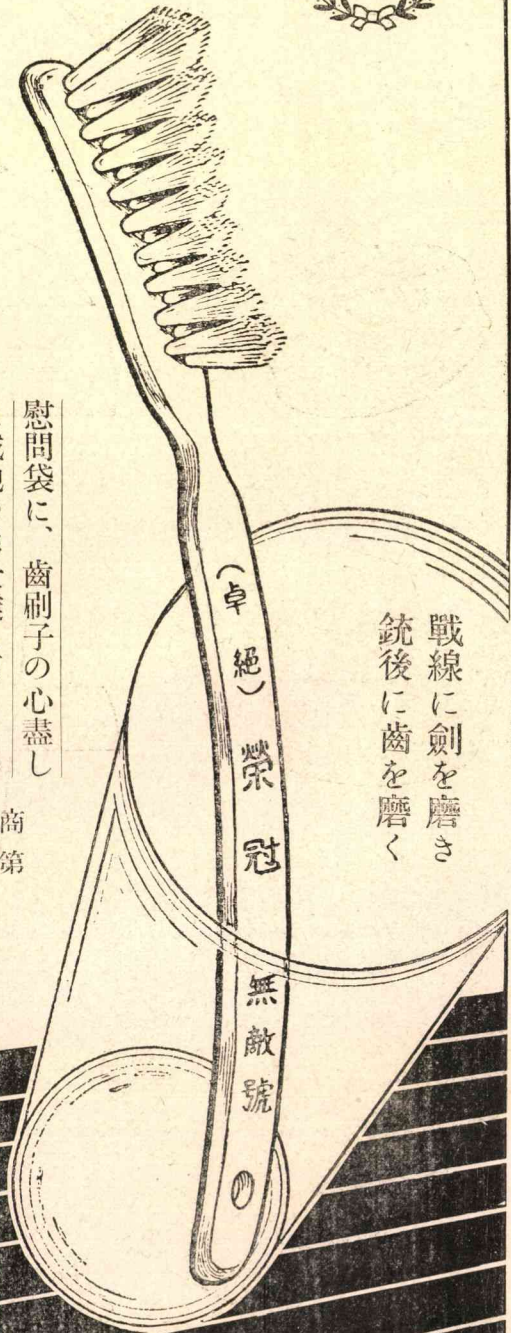


榮冠ハブラシ

輝やく榮冠
燦たり王者

慰問袋に、齒刷子の心盡し
は戦地の勇士達に何よりの
ものです。
品質、經濟主眼、獨特の植
毛を誇る榮冠こそ、其の使
命を全うするものです。

商標登録
第二四六四三號



戦線に劍を磨き
銃後に齒を磨く

中 文 本 舖
店 商

大阪營業所 齒刷工場
天王寺區外 尾八尾
通山崎町 丁一丁目
三十番 寺法五

東京營業所
東市橋區 橋本三丁目
番六三三(67) 番九〇二〇
電話 三三三三

博覽會 見本市

十三年度の概観

昭和十三年度に於ける博覽會・展覽會

見本市の状況に就いて概観すれば、まづ何よりも先に支那事變による國防經濟の波及が顯著に觀取される。即ち、見本市に於いては前年度秋季見本市の開催が懸念されたにも拘らず、未だ統制經濟の掣肘は具體化せず例年と大差なき景況を示し、當時既に業界人の懸念は昭和十三年に持ち越されてゐた觀があつた。支那事變の發展は昨年十二月の南京陥落以來、今年に入つて殊に著しい進展を示し、國防を主眼とする戦時經濟から長期建設を旨とする統制經濟に移行し、舶來資源の輸入禁止、使用制限、國防資材の使用禁止等々の影響は汎く一般業界に反映し當然、博覽會、展覽會、見本市にも大きな影響を齎すに至つた。もとゞ、博覽會展覽會、見本市の類は、平和時代に咲き出る産業の花と見るべきものであらうがその根幹に於いて變半を餘儀なくされた

以上、この「産業の花」もまた色彩を變へるに至るのは當然であらう。

時局的影響の最も著大なるものは昭和十五年に開催さるべき日本萬國博覽會の開催中止であつた。紀元二千六百年を祝賀するこの國民的大博覽會が中止されるに至つたといふことは、當時、經濟界の將來に對しても、または國運の將來に對しても一抹の危懼を抱かせたかの觀があつた。そのことは暫く措くとしても、これによつて從來の觀念による國內博覽會は、何れも開催の機運を奪はれたこととなり（東北振興博覽會以下中止）時局的意義を持つたものへと色を塗り變へるに至つた。

見本市に就いて見れば、春秋二回とも大體に於いて例年の如く開催されはしたものの、秋季に至つては業種により開催不能に陥つたものもあつた。即ち金屬類を主とする製品、メリヤス類、皮革製品等の見本市は、到底それどころの騒ぎではなかつた。また、開催された各見本市にあつても出品點數は少く、來市者も亦一般の貯蓄獎勵、消費節約の氣運を反映して積極性を失ひ、取引金額は著しい減少を示したものと見られる。

従つて又、一般展示品は從來の如く流行を求めめる傾向、たゞ新奇なものを漁る傾向から實質的な商品に就かんとする傾向が見られ、その間、統制材料を避けて代用品の驅使による新規の商品が數多く顔を揃へたが、一般には未だ代用品を求めるところまで行かず、從來の商品で質實なもの求められる結果に了つた。ま

た、何れの商品にあつても、二割から五割、種類によつては倍以上の高値を示したのもあり、物價昂騰の實際は見本市にも反映して、傍々取引金額の著減を齎す結果となつた。

次に内地の見本市開催にあたり、當局の取締により福引が廢止されたことも珍らしい現象としなければならぬ。單に福引のみに止らず、汽車賃、お土産等の從來行はれた愚かな競争的優待が時局柄緊縮されたことは、見本市開催の將來に對して或る示唆を行つたものと云へる。従つて遠隔地からの來會者の少かつたこと等も當然肯ける現象であつた。

こうした國內に於ける見本市の不振に對して、新政權樹立の北支地方に向つての著しい進出が記録されねばならぬ。即ち昨年末より蒙疆北支に向つて巡回市、出張見本市等が開催され、今年に入つては團體主催、個人商店の進出多く遂に商工省の外廓團體たる貿易組合中央會ではこれらの見本市を統一する意味に於いて春秋二回綜合見本市の開催に乗出す等大陸市場への進撃は關西、關東を通じて眞剣なものが觀取された。併しなからその成績に於いては奥地交通機關の未恢復購買力の僅少等、或ひは商品選擇の錯誤等の結果、概して不成績に了り、一部には時期尚早の感を抱かしたものが、その將來性に於いて失望する種類のものはなかつた。

最後に、時局が將來した特殊の現象として代用品展覽會、發明品展覽會、商店經營展覽會、公定價格展示會、包裝展覽

會等の開催がある。

發明品展、代用品展は從來もその例を見ない譯ではなく、發明品展の如きは毎年發明品協會により連催されて來たが、代用品展とともに時局による欲求が一層熾烈となり、出品者、來會者ともに何れも活況を示した。

商店經營展は、物資統制により蒙る中小業者の非常時に於ける經營指導に任じて各地に開催されたが、一般小賣業者の不況を救ふ意味に於いて意義あるものであつた。

公定價格展示會の如きも、本年度にして始めて見られるところで、各地商工會議所の斡旋により、商品と公定價格を明示して展覽し、一般需要者に對して公定價格の徹底を期するところがあつた。

包裝展覽會も亦本年度の特殊な存在で資源愛護、統制物資の回避、或ひは中小商業者の經營合理化の一助として時局的な所産となつた。

現代人に對する博覽會の魅力は時勢とともに、稀薄になつて行く。隨つてその効果にも多くの疑問が抱かるゝに至つた今日、業界との關係に於いても既に昔日の絢爛さが失はれつゝあるのは多く言ふにも及ぶまい。僅かにその期待が繋げられてあつた皇紀二千六百年の萬國博もあの運命に陥つて見れば、業界と博覽會との縁は殆ど切れたと考へても過りはないから。

昭和十三年 博覽會見本市

官廳・團體 主催

東北物産宣傳大會 東北六縣物産振興
第二回大會は大府立實業會館に開催
一・一・一

海外主要商品展示會 新規商品見本カ
タログ等を集めて大府立貿易館に展示
一・一・一

第六回發明展覽會 特許局主催により
府立商工獎勵館に開催、出陳物各種三七
五點、参考品として左記よりの出陳があ
つた 一・二・一五
工業指導所、理化學研究所、東京其知商同組、
神奈川縣工業指導所、日滿帝國婦人會、三重高農、
神戸工業試驗場、東京工業試驗所、海軍省、金屬
材料研究所、陶磁器試驗所、燃料研究所、通信省、
鐵道省

愛知包裝展覽會 愛知包裝協會にて愛
知商工館に開催、特別出品三千餘點を數
へた 一・一・八二五
北支東京商品見本市 第一回を天津に
開催 一・一・五二二

特許局發明展覽會 第五回を府立商工
獎勵館に開催、出陳三百五十種、一千餘
點、業界關係品如左 一・二・一八
實用新案第二五三七八號、羽石東京市小川勲
助▽特許第一八五六二號、結帶製造法大府市矢野
けい▽實用新案第二一七六一號、短毛染具神戸市
田村貞雄▽特許第一一七六四號、洗滌料製造法花
王石▽長瀬商會▽特許第一〇六〇三號、第一一
一六二號、ビスコース皮膜の處理法及びビスコ
ス皮膜の處理法の改良法、市大日本セルロイド會社
▽實用新案二四四六三號、腕輪外四點、東京市根田
久治郎▽意匠第六九四〇九號、四點、一組の石輪大
阪市伊藤清太郎▽意匠第七三三四一號、石輪東京市
福島市藤▽意匠第六四七八一號、石輪東京市下七
左衛門▽意匠第七三一一五號、石輪東京市相馬英雄
▽意匠第七二四〇四號、石輪大阪市日東石輪會社▽

意匠第七三五八號、紙牌包裝紙東京市ライオン石
輪會社▽意匠第七四二二九號、外八點、化粧刷毛大阪
府中得根次郎▽意匠第七二二四〇號、外四點、ライタ
一東京市廣田喜久三
發明展覽會、府立購買上 第五回發明展
より政府は左の業界關係出品を買上げた
一、特許第一二六二二號、同改良 大日本セルロ
イド株式會社
一、意匠第六八四七一號、一組の石輪▽意匠第六九
四〇七號、同
一、意匠第六九四〇八號、同 伊藤清太郎
一、意匠第七三二五五號、石輪 相馬英雄
加奈兒見本展及旅商團 府立商工獎勵
館主催のもとに二月モントリオール及び
トロント兩市に開催決定 一・二・二〇
明日の廣告展覽會 日本電報通信社主
催にて上野松坂屋に開催 一・一・一三
名古屋非常時商店振興展 愛知縣商工
館主催の同展は名古屋開催後左の各地に
巡回開催 一・一・一四
岐阜 三月廿八日から四月一日迄▽大垣 四月四
日から八日迄▽甲府 四月十三日から十七日迄
▽京橋 五月一日から五日迄▽四日市 五月廿日
から廿四日迄▽津 六月一日から五日迄▽宇治
山田 六月一日から十五日迄

大阪久寶會準備會 道路擴張中の爲め
開催の是非を論ぜられたが十七日の役員
會にて開催に決定 一・一・一七
童寶美術同人會 東京吉徳商店山田
徳兵衛氏同の同會は第八回を日本橋三
越に開催 二・一・一七
福島同盟會商品市 市電福島西交通交
點を中心の上福島一圓に開催 二・二・一八
北京日本商品館 日本優良物産協會の
主催により北支進出の機關として設置に
決定、山崎委員長現地に出發 二・二・一九
天津青島商品紹介所 愛知縣商工館贊

易部會では天津青島に縣下商品の紹介所
設置に決定 二・三・三三
互優會新製品陳列會 大阪實業會館に
開催 二・二・二二
心齋橋商品市 本町より南久寶寺に至
る心齋橋筋に開催 三・一・一〇
全鮮特産品巡回見本市 總督府商工課
主催にて全道各地に開催 三・二・二八
久寶寺町大商品市 界筋以西心齋橋筋
に至る南久寶寺町に開催 三・二・一八
大阪商品見本市 府立産業會館及び實
業會館の兩會場に開催 三・三・一六
服裝雜貨見本市 大阪中央公會堂に開
催 三・三・一五
羅紗製品見本市 大阪府立産業會館に
第六回を開催出品者二十六店 三・三・一五
大阪子供服見本市 府立産業獎勵館に
開催 三・三・一七
洋裝百貨見本市 大阪朝日會館に開催
三・三・一七
天滿メリヤス雜貨商工振興會見本市
大阪朝日會館に開催 三・三・一七
京都招商會春季見本市 第十八回を京
都商工會議所後援のもとに岡崎勸業館に
開催、來市者總數二千九百名、業界關係
出品店如左 三・四・一五
今與商店、西川甚五郎商店、大澤商店、西商店、
田中久商店、信江商店、野崎商店、近藤商店、
有本商店、三中西藥商店、坂田文助商店、三宅
清治商店

東京商品春季見本市 恒例の如く府立
商工獎勵館に開催、業界關係出品者は如
左 三・七・一九
池田順作商店、福本福太郎商店、大島屋本店、同
支店、森本支店、丸新東京店、徳永保之助商店
ハリキン興業株式會社、澤京治郎商店、笠崎イロ
キ株式會社、丸新洋物部、吉徳商店、永峰セルロ
イド
名古屋商品見本市 名古屋見本市協會
主催にて名古屋商工會議所に第十五回を
開催、有力雜貨問屋五十四店参加出陳、

一四六

業界關係店如左 三・七・一九
森本店、山田乙三郎商店、淺井本店、大野喜助
商店、青山庄兵衛商店、平野商店、備六商店、西
村善平商店、八木佐商店
名古屋七五會春季見本市 小間物裝身
具見本市として同市南園町東洋館に開
催、出陳商店如左 三・八・一九
石塚商店、花本商店、尾關屋商店、成瀬商店、桑
山商店、万庄商店、味岡屋商店、十三屋商店
互優會陳列會 大阪實業會館に開催、參
加商店九店 三・八・一八
神奈川縣工藝品展覽會 神奈川商工協
會主催にて横濱、鎌倉、伊勢原、小田原
に開催 三・九・一四、一〇
日本萬國博覽會 抽籤券附回数入場券
第一回賣出開始 三・一〇・一四
北支見本市 大阪府、商工會議所
後援東西輸出同業組合主催のもとに三月
十二日から三日間張家口、十七日から三
日間綾遠に、二十二日包頭に、二十五日
大同に開催、雜貨化粧品類の展示とも
に即賣をもつた 三・二・二〇
京城商品春季見本市 京城卸商聯盟主
催にて京城公會堂に開催 三・二・一三
商店經營資料展覽會 東京府主催の
もとに府立商工獎勵館に開催、出品中主要
のものは如左 三・三・一九
科學的經營資料一般▽四十九業種別模範店舗
▽商店照明器具一般▽業種別模範軒燈▽燈火
管制下の商店照明機器▽宣傳機器、サービシ
品見本▽效果の擧がる新聞折込廣告▽賣出し
景品見本▽接客標準用語と接客技術▽商業組
合の經營改善運動▽東京信用保證協會、商工組
合等々の事業、組織の解説▽各種統計圖表解説
漫畫
東新會春季見本市 恒例により小間物
裝身具、袋物、雜貨類の第十三回見本市
を府立商工獎勵館に開催、聯盟出品店は
如左 三・一五・一六
岡島善助商店▽光陽商店▽吉村安太郎商店▽新井
小三郎商店▽吉澤吉治郎商店▽澤京治郎商店▽依
田忠商店▽木村金三商店▽野澤屋商店▽三浦啓司
商店▽山口眞弘商店▽森下長次郎商店

北支巡回東京商品見本市 天津、張家口方面に向つて約二十日間巡回開催 三、一五—一四、一五

東新會春季見本市 第十三回を東京商工獎勵館に開催 出品店如左 三、一五—一六

工獎勵館に開催 出品店如左 三、一五—一六
水野商店、袋物ハンドバックの森下商店、服飾雑貨の吉澤商店、製菓、調理製品の依田忠商店、飾物、刷子刷毛類の澤京商店、貴金屬帶留類の木村商店、紐襪類の岡崎商店、服飾雑貨の光陽商店、小間物の吉村商店、頭飾品の野澤屋商店、帯・半襟の三浦商店、ハンドバック袋物の新井商店、頭飾品の山口商店等

大阪商店經營展覽會 同市商工會議所主催のもとに各團體、小賣店参加のもとに開催 三、一〇—一四

國民精神總動員非常時貿易展覽會 大阪府、市、商工會議所主催のもとに中央公會堂に開催、新興輸出品、主要輸入品、同代用國産品等を展覧すると同時に講演會をも開催 三、一三—一九

福岡縣物産天津見本市 縣下業者團體主催のもとに天津日本租界中原公司に重要物産を展示 三、二四—二五

履物見本市 大阪産業會館に開催 三、二〇—二六

雜貨工藝品圖案展 大阪府主催にて府立産業會館に開催 三、二四—二五

北支東京商品見本市 府立東京商工獎勵館の主催により天津、中原公司に出版見本市開催、出品店四十七店、五十七名の参加、業界關係参加店如左 三、二五—二七

ハリキン興業株式會社、池田順作商店、三浦晉治商店、丸瀧東京店、森本支店

京城巡回見本市 京城商工會議所主催にて中央會館各都市に開催 四、一四—一五

時好會の展示會 東京時好會結成十周年記念流行服飾雜貨展示會日本橋三越に開催 四、二二—一九

國際雜貨見本市 大阪中の島中央公會堂に開催 五、二〇

商品商店

神戸表彰發明展覽會 帝國發明協會兵庫支部主催のもとに神戸商工會議所に開催 五、二一—一九

大阪産業工藝博覽會 大阪府、市、商工會議所主催にて市立美術館に於いて開催 五、二六—一九

日本精神總動員國防博覽會 日本博覽會協會主催にて上野産業館に開催 三、二五—一八

萬進滿洲國勢展覽會 奉天舊市商會跡に開催 出陳商店三十一 五、二七

萬進滿洲國勢展覽會 奉天舊市商會跡に開催 出陳商店三十一 五、二七

萬進滿洲國勢展覽會 奉天舊市商會跡に開催 出陳商店三十一 五、二七

萬進滿洲國勢展覽會 奉天舊市商會跡に開催 出陳商店三十一 五、二七

萬進滿洲國勢展覽會 奉天舊市商會跡に開催 出陳商店三十一 五、二七

萬進滿洲國勢展覽會 奉天舊市商會跡に開催 出陳商店三十一 五、二七

萬進滿洲國勢展覽會 奉天舊市商會跡に開催 出陳商店三十一 五、二七

萬進滿洲國勢展覽會 奉天舊市商會跡に開催 出陳商店三十一 五、二七

萬進滿洲國勢展覽會 奉天舊市商會跡に開催 出陳商店三十一 五、二七

萬進滿洲國勢展覽會 奉天舊市商會跡に開催 出陳商店三十一 五、二七

萬進滿洲國勢展覽會 奉天舊市商會跡に開催 出陳商店三十一 五、二七

萬進滿洲國勢展覽會 奉天舊市商會跡に開催 出陳商店三十一 五、二七

萬進滿洲國勢展覽會 奉天舊市商會跡に開催 出陳商店三十一 五、二七

萬進滿洲國勢展覽會 奉天舊市商會跡に開催 出陳商店三十一 五、二七

萬進滿洲國勢展覽會 奉天舊市商會跡に開催 出陳商店三十一 五、二七

萬進滿洲國勢展覽會 奉天舊市商會跡に開催 出陳商店三十一 五、二七

萬進滿洲國勢展覽會 奉天舊市商會跡に開催 出陳商店三十一 五、二七

萬進滿洲國勢展覽會 奉天舊市商會跡に開催 出陳商店三十一 五、二七

により島の内朝日會館に開催 九、三—七

大阪商品見本市 秋の恒例市を實業會館並に産業會館を會場として開催 九、三—六

名古屋商品見本市 商工會議所後援名古屋見本市協會主催により第十六回を商工會議所に開催、業界關係参加商店は如左 九、五—七

森本本店、青山庄兵衛商店、淺井本店、山田乙三郎商店、西村善平商店、大野嘉助商店、八木商店

東京商品見本市 第二十七回秋季は府立商工獎勵館に開催、出品店總數百六十六店、業界關係よりは左記の商店が出品を行つた 九、七—九

第一部小間物類
△ハリキン興業株式會社▽德永保之助商店▽丸瀧東京店▽澤京治郎商店▽森本東京支店
第二部セルロイド製品、玩具
▽吉澤商店▽水峰セルロイド
第三部文具類、事務用品
▽中山太陽堂文具部▽九善インキ部▽登原インキ部
第四部莫大小類
▽藤原商事株式會社▽丸善洋物卸部
第七部帽子類
▽池田順作商店
▽大島屋本店 同支店▽福本太郎商店

大陸互優會見本市 實業會館に秋の恒例市を開催 九、八—九

東新會秋季見本市 恒例の如く府立商工獎勵館に開催、今季は左の三店が新たに加入出陣した 九、一—二

婦人洋裝雜貨、偶屋、組屋、野澤商店、袋物、吉直商店

必要物品展示會 商工省主催により全國各地に開催、公定價格に對する一般認識を深めべく方針決定 九、二—

京城商品秋季見本市 京城卸商聯盟會にて公會堂に開催 九、二—二五

近畿聯合工藝展覽會 輸出向及び一般工藝品を擁して大阪市立美術館に開催 九、二—一九

東京輸出商品見本市 府立東京商

工獎勵館の主催により第七回を神戸商工會議所に開催 九、二八—二九

博多商店經營展覽會 博多商工會議所主催にて同所に開催 一〇、一—七

代用品工業振興展覽會、及び光學工業振興展覽會 商工省主催にて上野産業日本館に開催 一〇、五—一八

名古屋七五會秋季見本市 第二十一回を恒例の如く東鮮洋館階上に開催 一〇、七—八

輸出品展覽會 貿易局主催のもとに十三年度は左の計畫により開催
一、會期自十月十一日至十一月三十日
二、會場及び展示期間
①東京、商工獎勵館 十月十一日—十月二十日
②京都、京都美術館 十一月四日—十一月十日
③大、大阪市中央公會堂 十一月二十四日—十一月二十八日
④名古屋、愛知縣商工館 十一月二十四日—十一月三十日

岐阜商品見本市 第十七回を岐阜市公會堂に開催 一〇、二—二五

大阪代用品陳列所 大阪市産業部の幹旋により堂ビル一階に開設一般に公開 一〇、二—

日本萬國博覽會開催に付
商工大臣聲明 二三、七、一五

日本萬國博覽會は紀元二千六百年奉祝記念事業の一として、朝野の協力を依つて、今其の開催準備を進められ來つたものであるが、今や學國一致、物産兩方面共に總動員して長期戦の態勢を築き、聖職的の達成に邁進しつつある重大大時局に際會したるに依り、豫定の如く昭和十五年に本博覽會を開催する所期の成果を擧げ難き處なしとせぬものである、政府は右の事情を慎重考慮の結果、此の際博覽會の開催を延期し、支那事變の見据けたる際改めて適當なる時期に之を開催せしむるを公定し、認め其の方針を決定するに至つたのである。本博覽會主催者たる日本萬國博覽會に居ても政府の方針に順應し、他日紀元二千六百年奉祝記念事業の一として一層奮起せる萬國博覽會の開設を期するものと思はれるのであるから、國民も現下情勢の次第に鑑み、之に理解と支援を與へられんことを希望する次第である。



昭和十三年の 業界宣傳運動

お化粧報國

老大なる東京小問物化粧品商報の昭和十三年度の綴込を通覽して、私は今茫然として見えざるもの姿を、空間に求める。

墨一色に塗られたような緊張そのものの我國がこの一年間に歩いて来た激しい戦の道に沿ふて、殊更に激しい大波に、もまれにもまれた業界であつたが、思へばよくも戦ひつゝ、未曾有の時局を凌いで来たものではないかといふ感慨が私の心を打つのである。原料の資源に乏しい我國のあらゆる産業が輸入統制爲替管理の強化によつて受ける直接間接の悪影響はもとより化粧品も甘受せざるを得なかつた

が、更に石鹼齒磨類を除く課税の重壓は、一時は業界をしてその行く可き道の不安におびえしめたが、若干の修正案が議會を通過する頃には業界人の膽は充分に練られ、艱難を凌ぐ心構へが出来てゐた。かくて業界の宣傳陣も亦徒らに浮華に流れず、奇を追はず、しかも宣傳の使命をしてよき成果を挙げしむる爲に國を擧げての産業的協力に充分の力を發揮したのである。この日、即ち十一月十日の東朝夕刊は、「お化粧報國」と題して次の如き興味ある記事を載せてゐる。

長期戦下消費節約が強調されてゐる時、國民の消費状況はどうなつてゐるか？ 十日大藏省主税局に出来上つた四月から九月に至る本年前半期の各種消費税の調査には、時節柄色々示唆多き傾向が示されて、興味深いものがある——先づデパート等で買物をした時課税される物品税は六ヶ月間に約二千六百八十五萬圓の税實収があり、之は大藏省の豫算に計上された豫想から見ると九分減となり、それだけ消費節約に呼應した國民の自肅振りが見られぬでもないが尙相當の實行があるといへる、この中で當局も意外と

する程賣れたものが、各種お化粧品で製造所の倉庫から小賣商に渡された額が何と六ヶ月間に二千四百八十四萬圓、これに小賣商の利益率を三割として加へて見ると事變下御婦人の一ヶ月のお化粧品代は五百萬圓を突破して居り白粉代も中々大變だ。
戦時體制下にあつてなほもかく優々乎として、堅實な地盤を擁する業界品の蔭に力強い廣告宣傳の掩護射撃のあることを決して吾人は忘れてはならない。
廣告に現はれた戦時色
化粧品は化粧品の性能を語り美容効果を強調することが廣告の使命であることは云へ、この時代の突風を受けては、内容に何等かの戦時色の表はれることは當然である。
然し「銃後の健康」とか「明朗の健康美」が屢々文案に強調され、宣傳の上でもくり返されたことは認められたが、流行に廣告や宣傳になれた業界の強者達が徒らに時代に迎合する爲に本來の廣告的使命を忘れて脱線的な訴求をすることはなかつたといつて好い。殊に後半期のレートの化粧品廣告に於ける如き花々しい活躍は、化粧品の生命を思ふさま藝術家その他、比較的自由的な立場で物の云へる人達

宣傳日記

自昭和十二年十一月一日
至同十三年十月三十日

十一月(十二年)

- クラブ愛用者招待會東北六縣、茨城、千葉縣下三班派遣計畫發表 一日
- 資生堂宣傳用天然色映畫完成 一日
- リード化粧品宣傳家庭訪問隊全國各地に向つて派遣 一日
- ライオン齒磨愛用者優待講演と映畫の會九段軍人會館に開催 二日
- ミツワ會開催歌舞伎座 二日
- クラブ本舖主催出征將士遺家族慰安會名古屋公會堂に開催 二日
- ライオン齒磨口腔衛生部主催銃後健康増進講演映畫會大阪軍人會館に開催 二日
- クラブ化粧品愛用者五千名優待映畫招待會日比谷公會堂 四日
- ウテナ化粧品愛用者優待百五十名國際劇場入場券進呈横濱寶塚劇場五百名、花月ニユース劇場二千名券々發表 一〇日
- ライオン齒磨愛用者優待ライオン子供大會新宿伊勢丹日本橋白木屋に開催 二日—五日
- クラブ化粧品愛用者優待賣出し和信百貨店 一日—七日
- ヘチマコロン愛用者五千名招待會日比谷公會堂 一七日
- ウテナボマー愛用者招待會名

十二月(十二年)

- 古屋港座 一八日—二三日
- クラブ化粧品愛用者招待會宇和島市記念會館 一九日—二三日
- ダイナ化粧品東京各デパートマネキン宣傳 一日—九日
- ヘチマコロン愛用者招待會關東關西主要都市に開催 二日—一日
- ミツワデー開催歌舞伎座 二日
- ライオン口腔衛生部主催無料映畫會大森白木屋支店 四日—九日
- ウテナ化粧品愛用者四千名招待會九段軍人會館 一〇日
- クラブ本舖大阪北野劇場へ緞帳寄贈 一三日
- ウテナ化粧品東京市内有力販賣店マネキン宣傳 二五日—二三日
- 村瀬鐵雄商店主催ミコト粉石鹼愛用者瀬戸市瀬戸劇場招待會 一七日
- クラブ化粧品愛用者優待北野劇場開場記念招待賣出し阪急百貨店 一九日—二五日
- ウテナ化粧品愛用者五千名招待映畫會日比谷公會堂 一九日
- ウテナ化粧品愛用者招待會北野劇場 二〇日—二一日
- レイトクレームの大ネオン看板小樽市外に點火 二二日
- ライオン本舖主催戰捷記念子供博覽會大阪築港鹽湯に開催 一日—二八日
- レイト美容院の日劇屋上大ネオン完成點火 一日
- ミツワ本舖主催皇軍將士慰問作品發表 一日

の言葉を通して主張せしめた點
水際立つた廣告振りといはざる
を得ない。

獨り業界のみならず、新聞雜
誌の廣告に於いてレートの本年
の活躍はこの意味で明確に記録
されるべきものを持つと云ひ度い

時代の背景

その外この時代色を現はした
廣告にステープル、ファイバー
スフ混紡等の時代語と共に登場
した新商品を捉へて、新しい
洗劑の廣告も又目立つものゝ一
つであつた。先づ花王石鹼本舖
が賣出したエキセリンは最初に
「ス・フの洗濯に」とこの時代
語を取入れ、次いでライオン、
モノゲン、ニツポノール、セン
タックス等、新洗濯劑の誕生は
惠まれた時代色を背景に盛に宣
傳されたが、これに對抗して従
來の固型石鹼合同廣告によつて
「洗濯は固型石鹼で」を強調し
たあたり、従來に見られない業
界の廣告風景であつた。

五月、厚生省が新に誕生した
際、世人の注目を利用して花王
石鹼が一頁廣告に厚生省の寫眞
を引伸ばし、「健康報國」を強調
したことは機敏な着目で大向ふ
を呻らせたが、その後ミツワ石
鹼が飛行機の圖案で「實力がも
のいふ時代」の見出しでミツワ
石鹼独自の良さを強調したもの

にはそれ相當の時代色を視ふこ
とが出来た。

獨自の境を行くもの

化粧品本來の立場に立脚して
時代とか、政治等の流れに超然
として自分の本分を語つて盡き
ないねばり強さに特色をみせた
ものにパピリオを先驅とする伊
東胡蝶園の一聯の廣告がある。
殊に「アメリカへ出たパピリオ」
の表題で寫眞のあしらはれた廣
告は生き／＼とした効果的なも
のだつた。レートの大膽なやり
方は前にも述べたが、レイアウ
トに主題に、本年の廣告界を水
際立つてリードしたものと云ふ
ことが出来る。後半期九見屋
から齒磨「ゼオラー」の新製が發
賣され、藥物的訴求に一つの特
色を見せたが、本格的な活躍は
今後に期待される。

宣傳に於ける時代色

以上は主として印刷物に現は
れた宣傳、即ち廣告物を主にし
た總覽であつたが、所謂宣傳や
催物に於いては本年の業界は著
しい衰退を示さぬまでも、殆ん
ど何等新らしく見るべく批評す
べきものを持たなかつたといつ
て好い。

（宣傳自動車）その他種々の新
なる宣傳方式が發案されたが、
それこそ何一つ本年の業界宣傳
陣に新しい案を見出すことが
出来ない。さてこそ年間を通覽
した筆者の冒頭に於ける慨歎と
なつたものだが、然し既に行は
れてゐた宣傳方法は今年度に於
いても着々と實行に移され效果
を擧げて行つた。殊に昨年十二
月華々しくスタートしたレートの
美容院は日本劇場とのタイア
ップや婦人會館の經營等によつ
てこの方面に於いても本年の白
眉として恥かしからざる活躍を
した。一月三日から二十七日ま
でライオン齒磨が東京大阪その
他の各地で行つた戰捷日本コド
モ博覽會は、恒例の新年の催と
はいひ巧に戦時色を捉へてヒツ
トした。ウテナ、クラブ、マス
ター、その他の化粧品本舖が婦
人の宣傳員や遊撃隊員を組織し
て地方へ進出してじみでもある
が、着實な宣傳に努力したこと
も本年度の特色だつたといへば
云へる。パピリオが海水浴場に
サンマーハウスを作つたことも
決して新しいことではなく、ウ
テナが後樂園スタヂアムとタイ
アップして婦人愛國の夕で氣を
吐いたが、ライオンのむし歯デ
ーの磨齒教練や健康座談會等と
同じく、新奇な宣傳として特筆

花王石鹼本舖宣傳自動車關東關
西巡回スケジュール發表 三日
ライオン本舖主催戰捷記念子供
博覽會日本橋高島屋に開催
三日―二十七日

ミツワ會開催歌舞伎座 七日
モンコ洗粉愛用者招待會東京
寶塚劇場 七日―八日

ミツワデー開催國際劇場 八日
ライオン化粧品愛用者優待幸運
の花懸賞發表

ライオン齒磨愛用者招待職業野
球四國三都市に開催 一五日―
一七日

ライオン口腔衛生部主催航空殉
難者慰靈演藝映畫の會日比谷
公會堂 一六日

ライオン飛行少年團主催時局航
空展津市大門百貨店 一六日―
一八日

ライオン口腔衛生部主催女學校
上級生と齒の衛生を語る會東
京市内各女學校に開催 一七日―
一八日

ウテナ化粧品マネキン宣傳關東
十七都市に開催 二〇日―一九日

ウテナ化粧品愛用者優待トーキ
ー文化の夕關西中國四國に開
催 二一日―二五日

長瀨家事科學研究所大阪支部主
催新興織物講習會大和田、堺
兩市 二三日―二五日

長瀨家事科學研究所主催東京市
内女學校生徒招待工場見學と
講習の會 二四日―二五日

ライオン齒磨映畫宣傳班千葉縣
下一圓を巡回 四日―二五日

クラブ化粧品愛用者招待會徳島
市松竹庵に開催 五日―一一日

マチルマンドアルクリーム發表
マネキン宣傳新宿伊勢丹 五日
―一〇日

クラブ化粧品愛用者優待國技館
買切り一萬二千人招待 八日

ライオン本舖主催建國記念子供
博覽會日本橋白木屋新宿伊勢
丹 一一日―二二日

クラブ化粧品愛用者東京少女歌
劇招待京都南座 一四日

レイト化粧品愛用者三千人招待
東京寶塚劇場 一五日―一八日

クラブ化粧品愛用者優待映畫招
待會徳島縣下七ヶ町に開催
一七日―二二日

第一工業製藥會社主催洗濯整理
講習會京都日の出會館 一九日

花王石鹼東京市内販賣店員招待
ピーズ講習會本社四階に開催
二二日―二三日

クラブ化粧品愛用者優待栃木、
群馬兩縣下招待會 二三日―二五
日

ウテナ化粧品愛用者六千人招待
會中の島中央公會堂 二七日

三月

ハリウッド化粧品マネキン宣傳
賣出し中國九州主要都市 一日
六―四日

ダイナー化粧品東京横濱各百貨
店マネキン宣傳 一日―二三日

長瀨家事科學研究所編纂健康讀
本第二輯四十萬部を全鮮に配
布 一日

レイト美容院懸賞付昭和の髪型
募集發表 二日

云ふまでもなく新聞雑誌である處で、この新聞雑誌の材料たる用紙が戦時の経済統制下にあつて不足して来たから問題なのである。従来、我國に於いては紙全需要量の二割を輸入に仰いでゐたのであるが、長期戦對應の國策が確立するとともに、對外爲替を強化し國家經濟の持久力を増加する目的から、用紙並びにパルプ原料の輸入は他の諸物資とともに當然これを禁止されることとなり、國內の紙需要の二割を節約しなければならなくなつた結果、新聞雑誌を通じて一割二分の用紙節約を強制されることとなつたのである。

この結果、新聞では建頁の減少を行はねば増加する發行部分に應ずることが出来ぬのみか、從來の全讀者をも満足せしむることが出来なくなり、或ひは建頁の減少を行はぬまでも、從來の如く多數の廣告申込みがあるからと云つて増頁を行ふことは全く不可となり、雑誌でも老大な附録の添附が不可能となつたのはもとより、本誌の頁數も平均して縮少の止むなきに至り、隨つて廣告掲載スペースに於いても新聞雑誌を通じて著しい縮減を見るに至つたものである。

要としなくなつた。又、大量の廣告申込みを受けてもこれを掲載し切れなくなつたと云ふことに、昭和十三年が業界廣告界の轉換のスタートであつたと云ひ得られるのである。

隨つてその廣告に及ぼす影響は自から明かである。廣告收客のスペースが縮減したからと云つて事變下に於ける新聞社雑誌社の經費は膨脹する一方でありこれを廣告料によつてカバーすることの必要なるは從來以上である。そこで必然に起るのは廣告料値上問題であるが、事實、十三年度に於ける各有力紙の値上は、その値幅に於てその比を見ざるものであつた。過去にあつては新聞廣告は絶えず廣告料の値上げを企てつつも、各社間の大量廣告獲得競争の結果、大廣告に對しては多行數の故を以て比較的有利に廣告面を提供して來たのであるが、今や、廣告スペース縮減の結果、多行段を望まず、量よりも質を尊ぶこととなり、大廣告に對しては段數の制限を行ひ、タイアップ廣告はこれが掲載を謝絶する等、正に一般大廣告主にとつては恐怖時代を現出して來たのである。由來、業界有力本舗では、いづれも大量廣告によつて、比較的有利なる廣告料の下に大ス

ペースを使用し得たのであるがこの廣告界の大轉換時代に當つては最も風當りの強い矢面に立たされることとなつたのである。従來、藥品廣告と共に新聞廣告界の二天王座を占め、その使用行段に於いて斷然他を壓して來た業界品廣告は、他業界品との比較に於いては依然その王座は揺がぬにもせよ、その内容に於いて本質的なる變化が行はれんとしてゐるのである。曾つて業界の有力本舗が一頁廣告の巨彈を相競つた如きは、地方紙はいざ知らず中央一流紙に於いては將來に於いて尠くとも數年は望まれぬこととなつたのである。

處で、この紙の統制、スペース難に何等かの打開策がないものかと考察して見ても、根本問題が用紙の多寡に依存してゐる以上、十四年度より國內紙の増産が多少は行はれるにしても所詮は燒石に水、一方外紙はと云へば、用紙並びにパルプ原料の輸入は依然として見込みない。その上、内地のパルプ資源は益々涸渇して來る上に、人造纖維方面の需要は益々旺盛となるばかりである。更に我が經濟ブロックに包含された支那占領地域に於いては紙の需要こそあれ、その資源には乏しいので、用紙制

東寶系六劇場 一四二〇日
ライオン本舗主催子供大會日本橋白木屋ホール 二日―三日
ミツワ會開催歌舞伎座 二日
ライオン本舗主催祝入學ライオンコードモ大會日比谷公會堂 三日
ウテナ化粧品愛用者招待會あやめ池遊園地 三日
ライオン齒磨愛用者招待會東北地方七都市 四日―十二日
クラブ齒磨愛用者優待大阪國技館賞切一萬二千人招待 四日―六日
レイト本舗大阪梅田地下劇場へ綴帳寄贈 四日
レイト化粧品愛用者優待京阪神東寶系四劇場へ一萬人招待 四日―二二日
ライオン口腔衛生部主催健康映畫の會名古屋市内各小學校 五日―二二日
花玉ビーエヌ傳自動車巡回四國八都市 八日―五・九日
長瀬家事科學研究所主催スフ講習會佐賀長崎愛知大阪東京愛媛縣下各女學校に連催 一〇日―二〇日
金ツル香水愛用者優待函館各映畫館一萬人招待 一〇日―一五日
ライオン齒磨愛用者優待松竹名映畫劇場一萬人招待 一二日
花玉石鹼スフ講習會愛知縣下六都市に開催 一一日―一八日
高岡市丸越百貨店主催有名化粧品大會十三本舗參加 一三日―七日
ライオン齒磨愛用者優待東京寶

探劇場後樂園職業野球招待締切 一五日
ウテナ化粧品愛用者優待北海道三都市映畫館招待 一五日―九日
クラブ化粧品愛用者招待螢の光映畫と合唱の會日比谷公會堂 一五日
クラブ本舗主催出征軍人遺家族慰安招待會大阪軍人會館 一五日
ライオン口腔衛生部主催齒科衛生講演と映畫の會山形縣各地に開催 一五日―二二日
花玉石鹼本舗主催洗濯講演と映畫の會京城來青閣に開催 一七日
京城三井百貨店主催化粧品大會十三本舗參加 二二日―二七日
大阪心粧會主催國產優良化粧品大會阪急百貨店に開催 二二日―二八日
レイト化粧品愛用者招待會京阪神を除く全國主要都市に開催 二二日―二五・二〇日
ヘチマコロシ愛用者優待松竹劇團帝劇三千人招待 二八日―五日
共進會牛乳石鹼朝鮮全道チンドン屋宣傳脚 二八日―三〇日
レイト化粧品愛用者優待レイトの會福岡市世界館 二八日―五日
四日
クラブ化粧品愛用者招待寶演と映畫の會新潟福島若松三市に開催 二九日―二二日
ミツワデー開催上野國防博覽會 二九日

五 月

限の強化は今年の一割二分に續いて第二次、第三次とその制限が強化されて來ることは必然と考へねばならないのである。

そこで、この紙の不足、廣告スペース難緩和の唯一の道は、經濟統制の強化による廣告宣傳の不振から生ずる廣告量の自然減少に俟つより外はないこととなるのであるが、業界品並びに藥品の如く宣傳によつて絶えず訴及し需要を喚起しなければならぬ商品が主力を占めてゐる我國の新聞雜誌廣告界にあつてはこれとても空しい希望と云はねばならないのである。

業界品廣告がその最大の媒體として頼つて來た新聞雜誌自體に既に上述の如き變化が十三年中に起つたのである。その使用する武器に重大なる變化が起つた以上、戦術にも自から變化が伴はなければならぬ。では業界各本舗これに對し如何なる對策を以て臨んだか。

中央有力新聞に於ける廣告掲載難を地方新聞によつて緩和せんとしても、一部の有力地方紙を除いては、その宣傳力は極めて微弱である。有力雜誌に代るべき新雜誌の擡頭は未だしである。愛用者招待會等の販賣助成運動によつて消費の促進を行はんとしても、戦時下に於いては

平時に於けるが如き華かさば許されない。マネキン宣傳等にも制限が加へられ、從來の如く百貨店小賣店の店頭に於いて自由にこれを活躍せしむることは甚だ困難となつた。實に昭和十三年に於ける戦時下の業界廣告はその宣傳手段に於いて非常なる制限を受け、甚だ苦難の裡に呻吟したのであつた。それにも拘らず業界各有力本舗はこれらの困難なる條件をも克服して、時局に相應はしき愛用者招待會、店頭宣傳等をも行ふ傍、新しき宣傳手段の開拓に力を注いだのである。過渡期たる十三年中に於いてはこの現象は未だ試験的域を脱し得ず、その結果は必らずしも顯著ではなかつたが、業界廣告界の趨勢がこの方向に向ひつゝあつたことは否み得ない。同時に業界廣告界がこの年に於いて學んだことは、新聞廣告面のスペース難から止むなく教へられたことではあるが、大商品と雖も必らずしも巨額の廣告料を一時に支拂ふべき大廣告を必要としないといふことである。廣告主各自が相手商品との競争意識から次第に擴大して來た大廣告競争が果してどこまで有効であつたかに疑ひを持ち初めたのである。今や廣告界では所謂大艦巨砲時代が過ぎて潜水

新聞廣告の動向

艦競争時代に入らうとしてゐる

東京八新聞、大阪五新聞と外地を含む地方九十三新聞とを基礎として調査した日本電報通信者の「新聞廣告統計」によれば昭和十三年度の一月より九月までに於ける化粧品廣告行數累計は二千三百七十三萬三千行であり、これを前年度の該期間に於けるそれと比較すれば、十六萬五千行を縮減して居り、その減少率は七厘を示してゐる。

昭和十三年	化粧品行數	前年比較
一月	二、四五六	△二〇三
二月	二、二七六	△四七六
三月	二、八六九	△一八二
四月	二、九九五	△五〇九
五月	三、五四〇	一九〇
六月	三、一九五	四三七
七月	三、二七三	二九二
八月	三、一六九	二八六

— 行數單位千行 △印は減少 —

- ウテナマネキン宣傳甲信越東北地方に開催 一日一六二日
- ライオン蚊取線香愛用者優待懸賞發表 一日一八日
- ミツワ會開催歌舞伎座 二日
- ローレル化粧品本舗主催お化粧品相談の會九州主要都市 二日一六日
- ナルビー化粧品本舗宣傳パンフレット春の粧を頒布 五日
- 資生堂チエーンストア講座京城府民館講堂に開催 九日一三日
- テルミー本舗美容實演の會京城三越有力販賣店に開催 一〇日一一日
- 安住かとり線香滿鮮チンドン屋宣傳開催 二日一七三〇日
- クラブ化粧品マネキン宣傳京城各デパートに開催 一四日一二日
- 鐘紡絹石鹸愛用者招待會大阪國民會館に開催 一四日一五日
- クローバー化粧品マネキン宣傳京城各デパートに開催 一七日一六・五
- 高松三越主催國産化粧品大會八本舗參加 一八日
- クラブ本舗主催出征軍人遺家族慰安招待會岸和田市公會堂 一九日
- オカツ化粧品マネキン宣傳京城各デパートに開催 一九日一三一日
- モノゲン愛用者千六百名招待會東京寶塚劇場 二〇日一二日
- スチルマンセボン白粉マネキン賣出し京濱各デパート 二〇日一六・二六
- 大阪心粧會國産品愛用大會松坂屋に開催 二〇日
- アモンパバヤマネキン宣傳賣出し北海道各地 一日
- ライオン本舗主催ムシ歯デー講演と映畫の會市内各公園デパートに開催 一日一五日
- 東京伊東屋主催化粧品一品會 一日一〇日
- クラブ本舗主催ムシ歯デー講演と演藝會東京大阪市内各デパート公會堂に開催 一日一七日
- クラブ本舗ムシ歯デー協賛北海道愛用映畫館招待 一日一二日
- 長瀬家事科學研究所主催スワ洗濯法講習會青森宮城兩縣下 一日一七二〇日
- ウテナ本舗宣傳婚養成 二日
- ミツワ會開催歌舞伎座 二日
- ライオン本舗ムシ歯デー協賛愛用者優待國技館三千五百人後樂園職業野球一萬名招待發表會 三日
- ライオン齒磨愛用者優待新興キネマグランドショウ大阪中央公會堂 三日
- クラブ本舗ムシ歯デー協賛小學兒童用組合せ齒磨特價提供 四日
- クラブ本舗主催ムシ歯豫防宣傳大會熊本公會堂 四日

次にその季節的推移を觀察す

れば十三年度は前年とは全く逆の動向を展開しつゝあり、先づ一月に於ける八分の減少に始まり、二月、三月と退勢を續け、四月には最大の一割五分を縮小して居り、平均一割一分といふ相當な減退振りを示してゐる。然るに五月に到つて突如六分の増勢を取返し、六月には最高の一割六分の増大を現出し、七、八月はともに一割内外の増大率を示してゐるのであり、月平均行數は二百九十六萬七千行であつた。

これを内譯して地方別に觀察するならば、先づ地方九十三新聞に於いては月平均行數は二百三十二萬行となるのであるが、その動向を前年度と比較すれば一月より四月までは最低三分から最高一割八分に到る平均一割一分の減退率を以て退勢を示しつゝあつたが、五月以降は俄然増勢に轉向し、最高一割九分、最低九分で平均一割四分の堅實なる増大振りを續けつゝある。又東京大阪十三新聞にあつては月平均行數は六十四萬七千行であり、その動向は一月より八月まで僅かに六月に於ける五分の増大を除く外は何れの月も減退に陥り、最高一割七分、最低二分、平均八分の減少率を示して

みる。

更に化粧品廣告總行數に對する品種各分野の千分比を觀察すれば、齒磨は二二二に擴大して首位に昇り、クリームは二〇三%に縮小して次位に下り、これに續くものは前年よりも稍進展を示した石鹼の一三四%であるが、化粧品取合せの一三一%は前年の二倍に近く、化粧水は八四%に縮まり、洗粉は七六%に伸張したが、白粉は六一%に縮少し、ポマードの五二%は變らず、香水は二三%に縮まり、香油は伸展して一四%を示したが矢張り最低位に留まつた。

次に各品種別廣告動向を前年度と比較しつゝ今少し詳しく述べて見るならば、
齒磨 ライオンは前年と同じく、愛用者招待を行ひ六月よりは子供ハミガキを進出せしめたが、八分を縮減して居り、クラブは毎月各地に於いて出征軍人遺家族慰安會を行ひ、これ亦六月より子供ハミガキを發賣したが、一割一分の減少を示してゐるのに對し、仁丹は一割七分を増大し、五月よりはゼオラが堂々たる廣告陣を展開して進出を開始したので、大勢は三分の増大を現出した。
石鹼 資生堂は景品付賣出しを行つたが三割八分を縮少し

て居り、ミツワは四割八分を、花王は二割九分をそれゝ縮減して居るため、大勢は遂に三割七分の著減に陥つた。

洗粉 花王シャンプー、ミツワフレークシャンプー孰れも振はざるため、クラブカテイの躍進も空しく一割五分の減少に終つた。
香油 むづゝは八分の増勢を示し、ランラン香油、白椿油何れも増進し、更にカマシオリートニツクの進出等と相俟つて一割二分の増大を示した。
ポマード 井筒は三割二分を著減し、ビタオールに退勢の色濃く、メヌマ又振はざるため新年初頭よりのメデカの進出もカマシの躍進も、又四月よりのランランノイの登場も遂に大勢を支へ得ず、三分の減少となり終つた。

クリーム レートは二割六分、クラブは二割九分とそれぞれ行數縮減を行ひ、ウテナは六割七分の激減を示し、パピリオのみ僅かに増勢を持したが、大勢は遂に四割一分の激減であつた。
化粧水 桃谷美顔水は明色アストリンゼン取合せ等によつて五割八分の激増を演じ、ヘチマコロンは毎月各種演藝とタイアップして五割を増大し、明色

クラブ本舗大阪劇場へ幟帳寄贈 六日

柳屋商會太陽粉石鹼愛用者招待 函館銀映座 六日一十五日
クラブ齒磨愛用者招待映畫と舞踊の會大阪中央公會堂
クラブ齒磨愛用者一萬人國技館招待 七日
ウテナ本舗電通タイアップ文化映畫の夕鮮滿各地に開催 八日一七、一八日
明菓ミルク洗粉愛用者招待名古屋寶塚劇場 九日一七日
丹頂チツク愛用者三百人優待名古屋東京相撲 一〇日
スチルマンセボン白粉愛用者招待川畑文子出演日本劇場 一〇日
るづゝ化粧品愛用者三百人優待名古屋相撲 一〇日一三日
ライオン石鹼主催ライオン宣傳スフの洗濯知識展覽會日本橋高島屋 一〇日一七日
テルミー山本鈴子女史新美容法發表會神戸海員會館 一〇日
ダイナール化粧品マネキン宣傳北陸各都市デパートに開催 一〇日一七、一八日
カガシ化粧品愛用者招待會大阪中央公會堂京都日出會館神戸海員會館福岡九州劇場岡山岡山劇場に開催 二日一六日
クラブ齒磨愛用者七千人招待名古屋東京相撲 二日一八日
タンゴドラン愛用者三百人優待名古屋東京相撲 二日二二日
ウテナ化粧品愛用者招待會九州四國各地に開催 一一日一六、二六日

パピリオマネキン宣傳鮮各地デパートに開催 二日一七、二〇日

レオン洗顏クリーム愛用者三百人優待名古屋東京相撲 一三日一五日
月の友百番香水宣傳賣出し京都市内販賣店に開催 一三日一三日
クラブ化粧品愛用者優待「愛より愛へ」封切招待會日比谷公會堂 一四日
金鳥香キンチョール全鮮チンドン屋宣傳 一五日一七、二五日
クラブ化粧品マネキン宣傳北海道各市デパート 一六日一八日
クラブ化粧品愛用者優待中京五大映畫館二千人招待 一六日
ウテナ化粧品愛用者招待婦人愛國の夕後樂園に開催 一六日
ライオン齒磨愛用者招待會松江市公會堂 一八日
大阪朝日主催強く美しく伸びよ日本國民展覽會大阪三越に開催六十本舖開催 二〇日一三、一四日
第一工業主催モノゲン宣傳洗濯講座小樽松竹座に開催 二二日
キング二色蚊取線香愛用者三百人優待名古屋相撲 二二日
ローレル本舗主催美容指導の會北海道各地に開催 二二日一三日

ウテナ化粧品愛用者招待橫濱まつり横濱開港記念會館 二五日
ライオン口脛衛生部主催講演と映畫の會宇都宮栃木兩市中學に開催 二六日一七、二七日
字の達商店「納言」愛用者優待懸賞發表 二七日
クラブ化粧品愛用者招待會防府

アストリンゼンは常に同クリン
シンクリム取合せを以て十五
割の爆發的増大を演じたにも拘
らず、クラブ乳液は一割一分を
縮減し、ロードボウ、ユキワリ
ミン、レイトフード等更に振は
ず、又前年の如き新進の進出も
見られなかつたため、大勢は僅
かに三分の増大に留まつた。

白粉 クラブの八割を激増
せるを筆頭に、明色美顔水は七
割を、ウテナは六割を、レイト
は四割八分をそれら縮減し、
大どころの何れも總退却により
五割五分の減少となり終つた。

香水 四月よりはアイデア
ルガルデニヤの進出があり、ベ
ジリン稍増勢を示したが、オリ
ヂナルは三割の行數縮減を行つ
たため結局二割九分の減少が提
出された。

化粧品取合せ ヘチマ化粧
料は前年と同じく映畫招待その
他を行つたが一割四分を縮減し
ウテナ化粧品は一割の減少を示
し、クラブ健康化粧、堂級は演
藝招待を採用したが陽級は影を
潜めて一割八分の行數縮減を行
つて居り、ミツワ會及びミツワ
デー、ミツワ文庫は七割七分の
激減であるが、之に對しレイト
化粧品は愛用者招待を毎月行つ
て一割四分を増大し、資生堂
化粧品は花椿の會、化粧品デー

等を以て進出目覺ましく、桃谷
化粧品躍進、丹頂化粧品躍進
頭等は前記の減少を補つて餘り
あり、大勢は二割一分の増大を
展示した。

かくの如く本年度に於ける化
粧品廣告の狀勢は白粉の五割五
分減を筆頭にクリムの四割一
分減、石鹼の三割七分減等々一
般に退勢に傾き、化粧品二割
一分増をはじめ香油、齒磨、化
粧水の増勢が辛ふじて總計に於
ける減少率を七厘に喰止めてゐ
るのである。(日本電報通信
社事務取締役光永眞三)

雜誌廣告 の一年

昭和十三年に於ける出版界が
極端なる言論統制並びに用紙難
等の原因から、全體的に非常な
低調にあつたことは周知の通り
であるが、これに加ふるに統後
一般家庭の購買力の減退を考へ
れば、この時局下にあつて、獨
り婦人雜誌のみが前年以上の發
行部數を維持し得たかといふこ
とは聊か疑問とせざるを得ない
のである。

又、この時局下にあつて、婦
人雜誌に自から課せられた役割
といふのは、統後の充實はまづ
家庭經濟の緊縮節約からといふ

國民精神總動員の國策線に従つ
てその主旨を一般女性に徹底さ
せる親切な解説者となり、指導
者とならねばならぬといふこと
であつた。隨つてその記事が、
戰没將兵の遺家族吊問記、花形
作家の戰線觀察記、統後の節約
美談廢物利用等の實用記事等、
濃厚なる事變色を帯びてきたの
は當然のことであるが、これを
嚴密に考へれば、かゝる記事の
内容は雜誌自體の商品性とも矛
盾するのみならず、廣告媒體と
しての効果を幾分か減殺してき
たことは否めないのである。も
とより斯る傾向は時局の壓力に
よつて自らはれたことで、必
らずしも雜誌自から好んでなし
たことではないにしても、從來、
業界品廣告の獨參湯の如く思は
れた婦人雜誌の廣告効果にもこ
の年に於いては可成りな變化が
あつたことを知らねばならない
のである。

では、昭和十三年度に於ける
業界品の雜誌廣告は前年に比し
て若干の後退を示したかといふ
に、結果は寧ろ逆であつた。即
ちその使用員數に於いては前年
度に比較して幾分か減少を見
たることは事實であるが、これ
は用紙制限のため、雜誌自體の
廣告スペースが減少したため
あり、雜誌全體の廣告量に對す

銀映館に開催 二八日—二九日
花王石鹼店頭陳列競技會東京、
横濱、大阪、名古屋に開催
柳屋ボマード香油愛用者優待映
畫館招待名古屋劇場、港座
一日—三日
ミツワ會開催歌舞伎座 二日
月虎かとり線香月虎殺蟲液愛用
者招待會名古屋帝國館大陽館
大須劇場に開催 二日—五日
ヘチマコロシ愛用者招待會名古
屋公會堂京都華頂會館大阪軍
人會館開催 五日—七日
レイト化粧品愛用者招待國粹藝
術の夕北海道主要都市に開催
一五日—一九日
安住かとり線香愛用者優待仙臺
文化キネマ 七日—三日
ヘチマ化粧品愛用者「人生劇場」
封切東京横濱日活承映畫館招
待 八日—四日
スチルマンセボン白粉愛用者川
畑文子公演會招待寶塚劇場京
都東寶劇場に開催 七日—二日
ライオン齒磨愛用者優待演藝と
映畫の會新潟劇場 一〇日
カツピー化粧品マネキン宣傳賣
出し中國九州滿鮮各地に開催
一〇日—九日—三〇日
花王石鹼宣傳自働車和歌山縣下
巡回 一三日
クラブ本舖主催出征軍人遺家族
慰問招待會大阪軍人會館 一六
日—一七日
ライオン石鹼本舖主催スフ洗濯
知識展覽會大阪南海高島屋
一七日—二四日
ウテナ化粧品マネキン宣傳朝鮮

七 月

全道に開催 一七日—八三日
クラブ化粧品愛用者東寶劇場買
切招待 一九日
クラブ化粧品愛用者優待映畫招
待會東京軍人會館 一九日
ウテナ化粧品愛用者優待演藝コ
ンクールの夕横濱公園音樂堂
二〇日
パピロサンマーハウス由比ヶ
濱に開設 二〇日
クラブ化粧品愛用者優待映畫館
招待札幌松竹座 二〇日—二七日
クラブ化粧品愛用者優待映畫館
招待仙臺文化キネマ 二二日
資生堂チエーンストア講座仙臺
商工會議所に開催 二二日—二
四日
太田精光堂ノベニチイガイ
ド九州各デパートに活躍 二二
日—二三日
ライオン本舖主催國民精神總動
員健康映畫會市内公園各小學
校巡回開催 二二日—九六日
ライオン海の家比由ヶ濱に開設
二二日
クラブ化粧品愛用者優待映畫館
招待石巻市東北館 二二日
ライオン本舖主催二萬人の綱引
濱寺海水浴場に開催 二四日
クラブ本舖主催市民健康の夕東
京市内各公園開催 二五日—八
二六日
花王石鹼夏期大學名古屋廣島兩
市に開催 二九日—八二日

一五四
全道に開催 一七日—八三日
クラブ化粧品愛用者東寶劇場買
切招待 一九日
クラブ化粧品愛用者優待映畫招
待會東京軍人會館 一九日
ウテナ化粧品愛用者優待演藝コ
ンクールの夕横濱公園音樂堂
二〇日
パピロサンマーハウス由比ヶ
濱に開設 二〇日
クラブ化粧品愛用者優待映畫館
招待札幌松竹座 二〇日—二七日
クラブ化粧品愛用者優待映畫館
招待仙臺文化キネマ 二二日
資生堂チエーンストア講座仙臺
商工會議所に開催 二二日—二
四日
太田精光堂ノベニチイガイ
ド九州各デパートに活躍 二二
日—二三日
ライオン本舖主催國民精神總動
員健康映畫會市内公園各小學
校巡回開催 二二日—九六日
ライオン海の家比由ヶ濱に開設
二二日
クラブ化粧品愛用者優待映畫館
招待石巻市東北館 二二日
ライオン本舖主催二萬人の綱引
濱寺海水浴場に開催 二四日
クラブ本舖主催市民健康の夕東
京市内各公園開催 二五日—八
二六日
花王石鹼夏期大學名古屋廣島兩
市に開催 二九日—八二日

八 月

ナルビー化粧品マネキン宣傳北
海道各地に開催 一日—二〇日
ウテナ化粧品愛用者優待コロシ
ピア音樂の夕日比谷會堂 三日

る業界品廣告の割合は前年よりも寧ろ増加してゐたのである。

戦時下に於けるバルブ供給量の減少に基づく紙機僅から、雑誌も新聞と同じく前年度紙使用量の一割二分減といふ用紙の制限をうけるに至つた結果、各雑誌を通じて頁數減少の止むなきに至り、殊に數年來、既に廣告收容量に於いて飽和點に達してゐた主婦之友、婦人俱樂部等の有力婦人雑誌では、内務省の意嚮に隨つて、花柳病藥の廣告を紙面から驅逐して十頁餘の廣告面を節約し得たにも拘らず、廣告面の減少とともに、尙廣告申込みの過剩に苦しみ、單價整理又は大量廣告主に對する紙面の割當て制等によつてこれを緩和する以外に方法がないことゝなつたのである。

隨つて前記の二誌並びに家の光、婦人公論等の主力誌より溢れ出たる業界品廣告は、廣告料に於いても比較的使用し易い、流行雑誌、映畫レビニー雑誌、その他一般綜合雑誌に對して一層の進出を見ることゝなり、業界品の雑誌廣告は單に婦人雑誌のみに止らず雑誌界の全分野に亘つて目覺しい活躍をなしたのであつた。即ち、婦人畫報、スタイル等の流行雑誌並びに映畫ファン、映畫之友、等の映畫雜

誌に、白粉、クリーム、頬紅、口紅香水等の廣告が活躍し、キング、富士等の娛樂雑誌には、石鹼、齒磨、クリーム等の廣告が愈々進出し、改造、中央公論文藝春秋等の高級綜合雑誌にも齒磨、ボマード、クリーム等の躍進を見たるが如きはその一例で戦時下に於ける購買力の減退を慮つて、業界品の廣告宣傳豫算は全般的には著るしく緊縮されたであらうと想像されるにも拘らず、雑誌廣告の分野に於いては業界品廣告は寧ろ積極性を保ちつづけたのであつた。

以上は概括的に見ての話であるが、これを個々の本舗について見れば、クラブ本舗が群小雑誌の付き合ひ的廣告を整理したのは事變下に於いて當然のこと乍ら一方、主力雑誌にあつては依然として大裏、目次、オフセット、グラビヤ面等の大體互砲主義を堅持して進み、レートが群小雑誌の付き合ひ廣告の整理を行へるはクラブと同様ながら主力誌にては目次、オフセット等の外に三分の一頁の小廣告を多數使用して一段の積極性を示し、ウテナが主力誌の大裏、目次、オフセット等の外に、普通一面一頁廣告を多數使用して、雑誌廣告に於ける先覺の強味を依然として發揮し、明色本舗が

特殊面を避けて普通面のみを使用し、數頁の連續廣告に、或ひは半頁、三分の一頁廣告の多數使用に獨特の使用ぶりを示しマスターが、目次、オフセットの使用の外に、半頁及び三分の一頁の多數を連續使用して、シリーズ廣告によつて雑誌廣告の使用法に新規軸を出せるが如きは、その効果は別としても形式的には目新しいものであつた。その他ではパピリオが特色ある形式によつて、グラビヤ、並びに普通面廣告に異彩を放ち、ヘチマロンが美しい寫眞によつてグラビヤ廣告の利用價値を生かせる外、從來、雑誌廣告に手を染めることの少かつた資生堂が著るしく雑誌に進出して來たことが目立つ位のもので、主要雑誌の特殊廣告面を占める各商品の勢力分野には些したる變化なく、雑誌廣告界に於ける所謂持てる國と、持たざる國との勢力の均衡は依然として破れず隨つてその廣告政策にも特別の新味を見出すことは困難で、僅かに注目すべき新廣告としては流行雑誌、映畫雑誌等に現はれたクラヤ化粧品の小廣告等があるのみであつた。【T・T】

安住かとり線香愛用者招待會京都日の出會館

ローレル化粧品美容相談會北海道各地に開催 一〇月一三日

大阪毎日主催國策製品展覽會阪急百貨店十本舗參加出品 一〇月一三日

クラブ本舗福岡市世界館へ綴帳寄贈 一五日

花王石鹼セキセリン講習會北海道主要都市に開催 一六日一七日

クラブ本舗主催時局映畫と音樂の會大阪市内各小學校に開催 一七日一九日

クラブ化粧品愛用者優待映畫と獨唱の會北海道郡部各地 一七日一九日

ライオン齒磨愛用者職業野球招待北海道主要都市 一八日

ウテナ化粧品愛用者優待橫濱まつり公園音樂堂に開催 二〇日

ライオン本舗主催防空映畫會東京市内六小學校に開催 二〇日一七日

ウテナ化粧品愛用者招待會名古屋屋市公會堂 二一日

ヘチマ化粧品愛用者地方招待會關東東北北海道二十都市に開催 二二日一九日

資生堂及びチエーンストア販賣講座花椿會北海道樺太各地に開催 二三日一九日

ウテナ化粧品愛用者優待ピクニックの夕招待會後樂園 二五日

丸見屋主催歌舞伎座九月興行家庭日記配役懸賞締切 二七日

クラブ化粧品愛用者招待會新潟縣下五ヶ所に開催 三〇日一四日

九 月

ウテナ本舗婦人宣傳員東京橫濱販賣店にデビュウ 一日

ユニーク化粧品マネキン宣傳九州四國各地 一日一〇日

ウテナ化粧品愛用者招待會甲信越二十七ヶ所東北二十三ヶ所に開催 三日一〇日

クラブ化粧品愛用者優待演藝大會朝鮮四十ヶ所に開催 三日一〇日

ミツロ會開催歌舞伎座 四日

ヘチマ化粧品愛用者映畫館招待四國六都市に開催 五日一〇日

クラブ本舗主催出征軍人遺家族慰安招待會日比谷音樂堂 一〇日

ウテナ化粧品愛用招待會東海道上都市に開催 一〇日一五日

ライオン齒磨愛用者「路傍の石」封切招待會日比谷公會堂 一一日

花王石鹼セキセリン講習會大阪岡島會館に開催 一六日

ヘチマ化粧品愛用者招待會九州十一都市に開催 一六日一七日

ミツワデー開催「笑の王國」丸の内松竹劇場 一七日

ライオン本舗主催全購聯の宣傳映畫會千葉縣下長成郡山武郡各地に開催 一七日一三日

花王石鹼セキセリン講習會神戸三宮パウリススタに開催 九日

パピリオマネキン宣傳滿鮮各地に開催 一九日一八日

アモンパバヤ宣傳用電飾豪華販賣店に配布 二三日

クラブ特殊化粧品美容講習會中

業界の著作・出版

① 単行本

昭和十三年中、業界並びに業界關係者により刊行されたる單行本並にパンフレット。〔大略刊行願〕

小間物化粧品年鑑、昭和十三年版

四六倍判、五〇〇頁、定價二圓、東京小間物化粧品商報社

化粧品石鹼齒磨價格、角倉商店編、非賣品、株式會社角倉商店

化粧品石鹼價格簿、髮原花生編室、四六横型の新裝、非賣品、桑原花生堂

出征皇軍將士慰問作品集、丸見屋編、小册二四頁、非賣品、丸見屋商店

先史時代より現代に至る旅行用箱の歴史、イセダイ商店編、菊判一五〇頁、千部限定版、非賣品、イセダイ商店熊谷大次郎氏

化粧品定價表、〔東京商報社編〕四六判横綴ポケット用、定價五〇錢、東京商報社

物品稅解說、〔東京組合調査部編〕組合調査資料第二輯、四六判九〇頁、非賣品、東京商報社

化粧品價值段表、〔名古屋商報社編〕菊判一〇〇頁、定價一六錢、名古屋商報社

健康讀本、〔花王石鹼本舖編〕非賣品、長瀬家事科學研究所

改正化粧品價值段表、〔日刊商業版〕四六判二二八頁、定價一圓。

日刊商業新聞社
化粧品定價表

非賣品、松山化粧品小賣商業組合、松山化粧品卸商聯盟會商店法案綱解說、〔東京組合調査部編〕

組合調査資料第一輯、四六判五〇頁、非賣品、東京商報社

樟腦やけ説は化學的論據なし、〔藤澤友吉商店監修部編〕

菊判四五頁、非賣品、藤澤友吉商店

化粧品性能解説、〔九州商報社編〕四六判一三〇頁、非賣品、九州商報社

化粧品雜貨便覽、〔静岡商報社編〕四六判二七九頁、非賣品、静岡縣化粧品雜貨商報社

物資需給調整規則解説、〔東京組合調査部編〕

組合調査資料第三輯、四六判一〇〇頁、非賣品、東京商報社

社、おもかげ、〔橋本榮造遺稿集〕和綴四六判、非賣品、美容大學院

思ひ出の四十年、〔藤原又策著〕菊判一三二頁、非賣品、三共株式會社文書課

有名化粧品石鹼價格簿、〔滿洲商報社編〕四六判横綴一五二頁、非賣品、滿洲商報社

ライオン日記、〔昭和十四年版〕ライオン齒磨本舖編纂、定價上製一圓、普及版六〇錢、ポケット型三五錢、小林商店廣告部

第一工業製藥株式會社三十年史

〔同社編〕

四六倍判三百餘頁、非賣品。

② 定期刊行物

業界に於ける月刊紙等。但、商報類を除く〔業界機關紙一覽、並に商報の一年参照〕

東京府同業組合研究會々報、月刊非賣品、東京府同業組合研究會

同業組合月刊、定價二〇錢、東京府同業組合研究會

ライオンだより、月刊、非賣品、ライオン齒磨本舖小林商店

チエンストア研究、月刊、定價一〇錢、養生堂

花椿、月刊、定價一〇錢、養生堂花椿社

花王ブレティン、月刊、非賣品、花王石鹼本舖長瀬商會

家事の科學、月刊、定價一〇錢、長瀬家事科學研究所

高砂香料時報、月刊、非賣品、高砂香料株式會社

小川香料時報、月刊、非賣品、小川香料店

鹽野香料商報、月刊、非賣品、鹽野香料株式會社

テルミーハウス、月刊、定價三錢、テルミー美容科學研究所

近代女性、月刊、十三年五月創刊、定價四〇錢、日本女性文化協會

すがた、月刊、定價三〇錢、東京すがた社

美容と衛生、月刊、定價二〇錢、美容と衛生社

美容、月刊、東京婦人美容協會

化粧品新聞、月刊、定價五錢、化粧品新聞社

京地方チエーン販賣店に開催

十月

二〇日、二〇日、二〇日

ミツワデー開催國際劇場、一日

ミツワ會開催歌舞伎座、二日

クラブ化粧品愛用者優待國際劇場買切三千五百人招待、三日

神戸新聞社主催店頭裝飾競技會六本舖參加、三日、七日

ライオン齒磨愛用者優待愛國浪曲の夕後樂園に開催、四日、五日

クラブ化粧品愛用者招待映畫會福島宮城縣下郡部に開催、六日、九日

養生堂チエーンストア講座岐阜市商工獎勵館に開催、九日

クラブ本舖の容器回收運動に京阪神和の各大百貨店參加、一日

モノゲン愛用者招待京都花月劇場、一日

ロイヤル化粧品愛用者優待景品付賣出し、一日、二日

カリカチ削石鹼愛用者映畫館招待北海道各市、一日、二日、六日

レイト化粧品愛用者優待映畫館五十人招待大阪北野、梅田兩劇場、一日

南海高島屋主催國産化粧品まつり七本舖參加、一日、二日、三日

クラブ化粧品愛用者優待映畫招待會日比谷公會堂、一日

ウテナ化粧品愛用者優待あやめ池演藝大會招待、一日

ライオン本舖主催輝く海軍展南海高島屋に開催、一日、三日

ウテナ化粧品愛用者河合ダンス招待名古屋大須港座、八月一日

招待名古屋大須港座、八月一日

一五六
三日
スチルマン化粧品愛用者川知文子公演會招待橫濱開港記念會館、一日

ライオン本舖主催戰死者遺家族慰安演藝會九段靖國神社境内、一日、三日

ライオン齒磨愛用映畫館招待熊本帝國館、二日、二日、六日

モノゲン愛用者優待東京寶塚劇場三千人招待、二日、三日

ミツワ本舖主催大阪セオラ會軍人會館、二日、四日

ライオン齒磨愛用者招待會東北地方郡部各地に開催、二日、五日

中央化粧品新報社主催ウキンド裝飾競技會十三本舖參加、二日、四日

クラブ化粧品愛用者招待會北海道三市及び新潟市に開催、二日、三日

商標權所有數調

〔昭和十二年度末現在〕

中山太一氏九〇二△三輪善兵衛氏八六一△中山小三郎氏六七九△平尾贊平商店六三七△伊東榮氏五八三△三桃谷順天氏三八六△資生堂三二一△花王石鹼六一△明治製菓三一五△春元石鹼二八五△津川甚七氏二〇七△橋本徳次郎氏二六六△中山豐三氏二五九△森下博氏二五六△栗津孝太郎氏二四九△小林商店二二七△吉田久四郎商店二二七△久保政吉氏二〇六△日東石鹼二六八

昭和十三年中業界品新聞廣告品種別行數表

(自昭和十二年十月至同十三年九月・日本電報通信社調査)

店名	品別	昭和十二年十月		昭和十二年十一月		昭和十二年十二月		一		二		三		四		五		六		七		八		九		月	
		回数	行數	回数	行數	回数	行數	回数	行數	回数	行數	回数	行數	回数	行數	回数	行數	回数	行數	回数	行數	回数	行數	回数	行數	回数	行數
小林商店	ライオン商	253	126,105	198	124,867	205	106,248	181	120,789	196	109,128	145	162,242	222	190,916	125	180,569	331	190,465	342	273,544	256	191,667	276	204,249	297	204,249
大陽堂	ライオン商	225	146,913	286	131,834	219	94,302	205	113,455	146	73,829	167	117,582	143	69,722	314	191,833	235	168,993	112	174,994	505	139,676	325	195,026	206	139,026
森下仁丹	資生堂商	98	15,721	67	13,479	89	35,355	84	35,434	228	73,500	190	42,664	184	51,303	207	84,043	144	59,079	148	30,005	155	29,624	160	13,098	160	13,098
資生堂	資生堂商	195	29,822	191	29,242	188	28,962	194	29,804	184	26,712	183	28,085	174	26,649	172	25,981	28	22,773	173	26,407	171	26,529	165	25,228	165	25,228
壽毛	スモ商	9	318	8	397	12	450	9	312	74	5,724	75	400	72	5,718	57	4,446	—	—	16	1,419	17	2,875	2	489	2	489
守西電球	トカラ新商	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	29	36,379	—	—	61	36,335	107	56,457	150	59,719	150	59,719
丸見	セオ商	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
子爵	ライオン商	2	160	1	652	—	—	—	2,445	1	489	30	17,845	—	—	49	30,158	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
丸見	ミツ石	177	163,210	199	151,680	201	185,736	150	123,405	140	107,144	160	121,663	132	110,389	117	108,041	135	118,679	148	127,873	168	127,068	155	101,998	155	101,998
長生	花王石	60	83,324	65	87,602	18	126,101	66	103,053	50	71,990	91	126,618	53	82,446	89	113,403	59	88,175	77	97,976	68	84,377	90	75,052	65	75,052
資生堂	資生堂・銀石	144	76,689	19	4,701	126	34,643	88	14,040	—	—	84	22,629	70	33,502	73	17,664	91	24,170	105	97,552	60	24,986	65	34,256	65	34,256
胡蝶	—	22	962	2	84	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
久保政吉	仁丹石	39	3,038	42	3,304	—	—	—	1,416	127	5,072	50	14,125	—	—	46	4,848	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
森下仁丹	仁丹石	21	6,480	17	4,873	29	7,792	14	3,578	13	2,771	—	—	17	6,154	14	3,260	41	12,674	30	10,416	52	12,135	17	3,423	17	3,423
共進	仁丹石	30	21,476	23	11,487	9	4,302	10	4,060	4	3,362	1	465	—	—	—	—	—	—	19	10,979	35	20,536	17	8,217	17	8,217
井西電球	安福・オナリ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
東洋電球	オナリ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
アルボース	アルボース石	—	—	12	1,060	—	—	12	1,799	—	—	—	—	—	21	2,408	29	6,638	22	2,632	38	5,722	28	3,128	28	3,128	
久保能木	久保能木石	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
大能	久保能木石	2	652	1	326	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
松澤	美の素石	14	383	46	2,240	50	1,094	53	1,565	53	1,528	56	1,688	58	1,758	42	1,145	61	1,533	58	1,904	57	3,091	48	1,794	48	1,794
長瀬	美の素石	—	—	—	—	—	—	—	390	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
瀨園	花王石	62	32,559	51	20,019	57	28,535	54	26,996	54	27,274	45	23,256	37	20,502	63	35,663	56	26,554	55	30,525	60	33,799	51	23,548	51	23,548
ぼたん	ぼたん石	—	—	30	1,491	51	2,521	56	2,998	56	2,743	59	2,748	54	2,215	48	1,902	63	3,026	58	3,241	69	3,965	56	2,897	56	2,897
田中	ニート	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
モッコ	モッコ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
バイム	バイム	79	6,141	16	4,221	17	3,162	16	2,734	16	2,261	17	2,572	35	5,303	35	5,199	35	5,309	35	5,378	28	4,285	28	3,511	28	3,511

海外業界

戰時體制の影響

わが經濟は、周知の如く、支那事變を契機に慌しい戰時體制に入り、外國貿易も戰時色が濃厚になつた。戰時貿易統制は、文學、哲學、政治等の雜誌書籍の輸入のみならず、時局に關係のない經濟、科學方面の雜誌書籍の輸入をも困難とするに至り、わが業界關係雜誌も爲に杜絶するに至つた。たゞ僅かに既契約分の入手によつて海外業界の近状を知るの外術なきに至つた。本年版において海外業界の組織的鳥瞰を行はんとする編輯者の意圖はここに變更するの餘儀なきに至り、僅かにその片鱗を傳へるにすぎないことは遺憾である。幸にして組合の如き共同調査機關については産業振興上その輸入も近く認められるに至るものと考へられるからして、本年版において企圖しつつ實現し得なかつた海外業界についての組織的調査を明年版において果しうるものと信じ、且つ希つてゐる次第である。業界關係雜誌として本文の資料とし、且つ今後も入手しうるであらうと考へられるものは次の通りである。

- 米國 American Perfumer
- Drug and Cosmetic Industry
- Soap
- Toilet Requisites
- 英國 Soap, Perfumery and Cosmetics, Perfumery and Essentials
- Oil Record
- 佛國 Les Parfums de France

- Ia Parfumerie Moderne
- 獨逸 Deutsche Parfumerie Zeitung
- Deutsche Seifenhandler Zeitung
- Milchstoff Industrie und Kosmetik

戰時貿易統制は、海外業界についてのわれわれの知識を色盲にした他に、各種の難題をこの貿易部面から與へてゐるとは、他の項目においても記した通りであるが、圓プロツク向輸出制限は影響するところ相當に大きかつた。いふまでもなく、圓プロツク向輸出制限は戰時經濟下目録の必要から生れたものであるが、東亞プロツクの建設から考へるならば、もはや國內市場同様に商品の流通を認むべきものである。さうして外國貿易がヒツトラア總統もいふやうな自由主義時代の觀念であるならば、わが貿易行政も一大轉換を行ひ、もはや東亞プロツク圏のアウトルキイに進むべきで、東亞プロツク内の商品流通は外國貿易として觀念されないに至るであらう。兎に角、圓プロツクは外國貿易に非ずとすることは、今日のやうな消極的な意味からではなく、積極的な商品流通市場として東亞經濟一單位として考へる時代も遠いことではないと信ずる。この意味において、わが業界は東亞市場積極的進出を計るべきで、かくてわが生産は現在の二倍にも、三倍にも増大し、時局に伴ふ生産力過剰の反動なしに平時状態に入りうると考へる。

に數字が流行してゐる時代はなく、今日のやうに數字の計畫の行はれてゐる時代もないだけに、人々は數字に對して次第に買ひ被る傾向があり、それに對し警告さへきかれる。しかし數を離れて經濟はない。數字の資料を買ひ被ることは危険だが、これを頭から馬鹿にしてかかつてはならない。わが業界の如きは、實に數字の資料の少い方である。何か少し頼りになるものと考へても數字が極めて少い。海外についても亦さうである。われわれは將來に残るやうな數字の資料をもつと作りたい。勿論、數字は一つのプロパビリテイを示すものだ。多くの數字を集めると、一つの傾向や、一つの方向が案外正直に現れてくる。

わが業界品の輸出を月別にみると、商品の性質に應じて、一つの傾向がある。これを昨年版の年鑑のグラフと比較してみると、一層その感が深い。

本邦化粧品月別輸出表(單位千圓)

昭和十二年	石鹼	クミ	香水	香油	齒磨	白粉	他	その
十一月	四五	四二	六	六三	六八	六三	一七三	
十二月	五三	四七	二六	八七	二七	四八	一四九	
昭和十三年	三五	三九	二二	四九	四二	四〇	四〇	
一月	四五	三六	七	二二	六三	四〇	四三	
二月	五二	三六	七	二二	六三	四〇	四三	
三月	五三	三三	一〇九	一一	九二	四〇	七五	
四月	五三	三三	一〇九	一一	九二	四〇	七五	
五月	七四	二九	七	一三八	二九	一〇五	一五九	
六月	六二	二二	二六	一八六	一五〇	九三	一一〇	
七月	七六	一七	三三	一六四	一三三	一三三	一三三	
八月	六三	一四	二九	一四〇	一四九	一四四	一四三	
九月	六〇	一〇	一五	八九	一五六	九〇	一〇四	
十月	六七	一四	三三	一一二	一三三	六三	九七	

業 界 品 輸 入 年 表

最近三年比較 (價格單位圓)

輸 出 の 部

品 名	昭和十三年		昭和十二年		昭和十一年	
	數量	價格	數量	價格	數量	價格
化粧用品	三〇一六六四六	二六三七七三六	四五四〇六八八	三〇四三〇七六	三九三三三七七	二、〇九〇〇九
石鹼	三三九六二二	二八七八三三八	二七三二六九	二三四八〇九二	一四六七四	一五三七七三七
化粧用洗滌用其他	一七五五四	一四四六三六	五、二四〇	一九四五四	一四六六〇	七三九二二
香水	八六三六三五	一、七二、三三三	七四四九六	八五三六九六	九四六、〇〇二	七三九二二
香油	一三三、八五五	二五八、五三六	三三、二七七	三五二、六七九	二六、一五七六	三六六、八九
齒粉	一、三三、〇六二	一、六七、八八七	一、八四、二〇八七	一、一六、九九〇	一、三〇、四四五	八七〇、三六
白粉	一、八三、六九三	一、〇三、六七九	一、〇九、九六一	九、九九四、五七	一、三五、八六三	七二〇、九九
其他調製薰香類	八六九、一三	七五〇、一六九	一、六八、二〇一	九、九九四、一八	三、二九、八八二	一、〇五六、九九六
化粧品小計	一、一六、〇七二	八七二、七三三	一、七三、一三六	一、〇六、九二〇	一、一六、九八五	七三〇、七七
樟腦油	七、八三九	七、八〇三五	一、二八五	一、〇九九四二	一〇〇七九	九七〇、九四七
薄荷油	三、五五六	一、五四八、〇一九	六三八	二、九七四、八四六	五、七九九	三、九六三、四二
木蠟	二四、八一	八七〇、九七	一、六四八〇	二、二四三、五四五	五、九二七五	一、八二、一〇七
硬化魚油	三、六二、二二	三、九六、一七九	五、三、九七九	九、五、四三〇三	六、〇、九五九	一、〇〇〇、七二
其他の硬化油	七、四七七	一、六、一八一	三、二六八五	六、〇、三三七	四、六、六七	四、八四三、二二
樟腦	二、六六八	二、二九、七四〇	三、三、一七一	四、七、四三三	二、四、六六七	四、八四三、二二
薄荷腦	二、七九、四四	三、〇八、九三五	六、四、一五三	六、一、二六四、四七	四、九、三三三	四、九、五九五
薄荷玉	五、八五〇	六、七、九二六	一、九、一三三	一、七、六〇六	一、九、八七五	三、〇、一七二
脂肪	一、四八、三二	一、四三、二四二	二、四、三六六	四、一、五五一	一、九、八七五	三、〇、一七二
脂肪酸	四、五〇、〇八	一、六七、七二六	七、三、三〇一	三、〇、四三九	一、八、六六九	一、八、六六九
ニリン	六、六	三、二	一、九、二	一、八、六六九	一、八、六六九	一、八、六六九
ヘリオトロピン	五、九、八	二、一八、五三	一、九、一七〇	六、三、七五	六、三、七五	六、三、七五
其他の人造香料	一、四、五〇、四四	二、六、八、四三五	六、七、二六六	一、五、六、七	一、五、六、七	一、五、六、七
小計	三、五、六、八、三九三	一、〇、八、五、六、一八	三、三、四、九、六、七八	一、〇、八、四、二、〇、八二	三、五、七、七、九、三九二	一、〇、八、五、六、一八

業 界 品 の 海 外 貿 易

(昭和十三年)

① 一般貿易趨勢

第三・四半期までのわが對外貿易は、大藏省発表に據れば、輸出累計二十億二千三十六萬八千圓、輸入累計二十一億一千七百八十萬四千圓で、入超僅かに九千七百四十三萬五千圓に過ぎなかつた。これを前年同期の輸出二十四億六千萬圓、輸入三十二億四百萬圓、入超七億四千四百萬圓に比較すると、輸出入ともに振はらず、入超尻においては著しく改善されたかの感がある。これは昨年支那事變勃發に伴つて、強力なる貿易政策が遂行せられた直接の結果である。輸入超過を常態とするわが國の貿易において

一、軍需必要物資の輸入確保

二、爲替低落の防止

を行はんがためには、爲替の管理を強化し、一般商品の輸入の抑制を行はなければならなかつた。もしこれを自然の趨勢に放置するならば、石油、鐵材等軍需必要品の老なる輸入と一般商品の輸入とが併行して、老なる輸入超過を來し、爲替が低落し、國內物價が騰貴し、金資金が枯渇し、遂には軍需必要物資の輸入も不可能となるであらう。かくて爲替管理法が改正され、臨時輸出入品法が制定され、輸入の抑制が行はれ、昨年と比較し、三割四分もの減少をみたのである。この反面において、輸入抑制は原料の手當難を來し、生産費を昂騰せしめ、海外の排日的邦貨ポイコットと相俟つて、

輸出も減少の過程を辿つた。しかし輸出の縮少は必要物資の輸入を縮少せしめ、循環的に軍需物資の調達を困難ならしめるから、あらゆる手段を盡して輸出の増加を計らなければならなかつた。輸出補償法の擴大や、リンク制の登場、貿易資金の設定等は、この輸出振興策の表現であつた。この輸出振興策によつて輸出の減少を二割未満に喰止めることができた。

しかしこの貿易政策の強行について、わが業界に至大なる關係のある問題は、圓ブロック向輸出制限の問題であつた。滿洲國、關東州がわが輸出市場として圓にリンクする金融政策が採られてゐることは従來からのことであつたが、新に北支に成立した中華民國臨時政府が、わが國の後援によつて、資本金五千萬圓の中國聯合準備銀行を設立し、北支の幣制を改革し、圓にリンクする國幣を採用し、ここに新たに北支も圓ブロックのひとつとなつた。しかし圓ブロックの成立は、わが國との貿易をスムーズにする反面において、これらの圓ブロックは元來が輸入超過國であるからして、その輸入超過はわが國にも有機的な影響を及ぼすこととなり、わが國の圓ブロック向輸出、殊に海外に原材料を依存する商品の輸出を直接間接に制限せざるを得なくなつたのである。今、その理由を列擧すると

一、圓ブロック向輸出は外貨の獲得とならないこと

輸入の部

品名	昭和十三年		昭和十二年		昭和十一年	
	数量	價格	数量	價格	数量	價格
石鹼	—	九七七九	—	一四六〇二	—	一三五四三
薰香油	一四八〇六	四九、二五七	九七、〇八八	二六六、〇二五	六三、三三三	一八五、二二
同製	—	—	—	—	—	—
香粉	三、四四一	四六、六三四	二六、八八二	四六九、三三五	二七、二八一	三三六、五〇九
齒磨粉	—	—	—	—	—	—
植製	—	—	—	—	—	—
芳揮發油	一五、三七七	九八、八五六	八〇、七三二	四七九、七三七	七四、八五二	三、四四四、四三六
薰香性化學	一、三三四	七、一〇一	一四、三九〇	九一、三三三	九、七七一	六四九、四四五
椰子油	二、一〇九八	一、三五九、三三八	一、九四、九九九	三、〇六七、三三四	一、七四、四四七	一、九七七、三五四
椰子油	二六、六八七	六九、五七八	三三、九六、七四四	六〇、一、九八一	三、三三、八二七	七〇六、三五四
蓖麻子油	三〇、六五二	三、五三、四二五	六九、二、〇六六	八、七〇、四七三	五、〇、九六九	五、五九、二八一
カストル油	七、一九一	二七、三五九、九六	五、四、五三四	一、二、八〇七	九、〇、三三三	三、二、六七六
オリゾル油	—	—	—	—	—	—
カカオ脂	一、三、〇七二	一、〇七、一七六	一、〇八、六八六	一、四、〇、三四二	七、五、六三七	五、五、六九八〇
綿子油	一、〇、一四九	六、四六、五三二	〇、三、四九九	三、〇、〇、二二二	二、五、五、一五九	九、三、七、八九六
牛脂	一、九、八五五	三、四、六七一	七、九、〇三三	一、九、四、九三七	七、一、九、六六六	一、六、四、三、七三七
ステアリン	三、五、一八三	一〇、一、三九六	三、七、九七七	一、三、九、九八	二、三、六、〇八	一〇、一、六、〇
オイレン	—	—	—	—	—	—
ワセリン	一、三、八、八四三	三、九、三、四〇四	一、四、六、三、五三三	四、一、四、〇、九	一、六、一、三、三三	三、八、七、二七
パラフィン	三、三、〇、三三	一、六、〇、八、八九	三、〇、九、五、〇〇	三、二、四、八、八六	三、〇、〇、九三	二、四、六、〇、九八
セルラツク	一、〇、〇、七	四、七、九、九	五、五、四、〇〇	二、八、二、一、九四	五、〇、三、三三	二、七、六、一、六〇
松脂	一、四、三、一、五五	一、七、八、〇、八六	四、五、一、元七	七、五、八、五、八六	四、四、七、一、七	四、六、四、四、四五
豚毛	三、七、一、二九	一、八、四、九、七、三	一、六、五、一、元九	六、一、七、四、九	九、四、一、七、三	六、五、二、六、五
革類	四、四、八、九四	一、六、六、九、七、三	一、三、六、六、三〇	七、五、九、七、四八	一、二、九、七、〇九	五、四、六、四、九八
象牙	一、九、五、二六	一、七、〇、五、一七	一、一、〇、三、九	一、八、〇、一、三、一	二、九、一、六〇	八、七、三、七七
貝殼	四、六、五、四七	一、三、一、八、九一	一、四、五、一、四三	三、七、四、五、四	二、四、四、九、〇	四、三、九、九、八九
貴石	—	—	—	—	—	—
鱗包	六、九、四、七	三、一、四、〇〇	三、三、〇、〇〇	一、七、九、三、六三	二、八、一、七三	二、五、四、九、五三
寸裝用紙	—	—	—	—	—	—
紙及	—	—	—	—	—	—
甲	—	—	—	—	—	—
乙	—	—	—	—	—	—
丙	—	—	—	—	—	—
丁	—	—	—	—	—	—
戊	—	—	—	—	—	—
己	—	—	—	—	—	—
庚	—	—	—	—	—	—
辛	—	—	—	—	—	—
壬	—	—	—	—	—	—
計	二、六、八、二六	三、四、三、〇、六	一、四、五、二、四	二、六、九、四、一七	九、七、四、三三	一、四、七、三、八七

註 大藏省編纂「外國貿易年表」に據る。但、十三年度は九月末迄

其他 三五四 五七二
計 五、六〇〇 四、二〇四
これによつて明らかな如く、石鹼輸出の増加は、第三國向の激減を圓プロツク向の激増によつて補ふことにより齎されたものである。即ち圓プロツク向輸出は昨年同期に比し約倍増したのに對し、第三國向輸出は約三分の一に激減してゐる。これによつて輸出石鹼中第三國向輸出の占める重要性は三割五分から一割にも足りない八分弱になつてしまつたのである。ここに輸出石鹼界の占める問題があり、石鹼において行はれてゐる香料及び牛脂とのリンク制が輸出石鹼界の苦惱を解決し得ないのである。さうして少くも支那に關する限りにおいては、未だ歐洲物の輸入に關し、滿洲國の如き貿易統制が行はれてゐるわけではないから、支那がリンク制から除外されてゐる現状については、問題が頗る複雑なのである。この現象は一般化粧品についても大同小異であると推測せられる。

③ 小間物輸出概況
小間物類の輸出は、まづ身邊裝飾品において十三年第三四半期までの總計七百二十八萬圓で、前年同期に比し三五%の激減を示し、ブラツシュ類も二百八十七萬圓で、實に四三%の激減となり、その他高級小間物類の減少も著しいものがあつた。これは小間物が化粧品と異つて第三國向輸出を主とする上に、國內における物資統制は多數の原材料を少量づつ組

品名	十三年	十二年
眞珠(養殖を含む)	三九	三〇
人造眞珠(硝子製)	三〇八	八四九
セルロイド櫛	一、九四	三、五一
其他の櫛	二七	二八八
セル製ヘアピン	一六八	三二二
其他のヘアピン	一六	二五〇
硝子製腕輪	一、〇一	一、〇〇
セル製腕輪	一、五三	一、九四四
其他の腕輪	二九三	一六五
模造眞珠製首飾	二五九	六〇四
硝子製首飾	四	九一
其他の首飾	七三	一八七
其他	一、五、六〇	二、三、〇四
計	七、二、九九	一、一、三、六九

感情と物價安とがここに強くひびいてゐるのを観取できる。

——單位千圓

品名	十三年	十二年
英領印度	二、六三八	二、七六三
米國	七、六九	二、四五四
英國	五、五一	六、五一
濠洲	三、四七	三、八〇
滿洲國	一、九三	一、六七
比律濱	一、五	二、五七
支那	七	一〇七
其他	二、五八五	四、五八九
計	七、二、九九	一、一、三、六九

在外公館商務職員

駐在 地	官 氏 名	ア	ド	レ	ス
英 國	大使館官 本 重志	Office of Commercial Attaché of Japan, 15 St., Helen's Place, Bishopsgate, London E. C. 3, England.			
米 國	大使館官 井上 豊次	Office of Commercial Attaché of Japan, 500 Fifth Avenue, New York City.			
獨 逸	大使館官 務藤 安人	Handelssekretariat der kais. japanischen Botschaft, Kurfürstendamm 58 Berlin, W. 15.			
瑞 典	(兼任) 首藤 安人	Ambassade du Japon, 24 rue Grueze, Paris (16), France.			
佛 國	大使館官 齋田 藤吉	Bureau de l'Attaché Commercial du Japon Malaya Nikitakaya 13, Mosson. U. R. S. S.			
蘇 聯	大使館官 田中 耕作	Consulate of Japan, Africa Life Assurance Bldg., 85 St. George's St., Cape Town, Union of South Africa.			
ケ ー プ タ ウ	副領事 中川 彦治	Bureau de l'Attaché Commercial du Japon Calle Reconquista 336, Buenos Aires, Argentine.			
亞 爾 然 丁	務公使館官 中村 義雄	Consulate of Japan, Le Esquina de Ave. Justo, Arosemena y Calle 38, Panama, Republic of Panama			
パ ナ マ	副領事 松本 正雄	Consulate-General of Japan, Union Bldg. Collyer Quay, Singapore, Straits Settlements.			
新 嘉 坡	領事 島貫 武雄	Consulate-General of Japan, Seotweg 23 Batavia-Centrum, Java.			
バ タ ヴ イ ヤ	領事 小谷 淡雪	Legation of Japan, 515. Rajaprarob Road, Makasam, Bangkok, Siam.			
シ ャ ム	務公使館官 田澤 丈夫				

商工省貿易通信員

昭和十三年十月現在

駐在 地	官 氏 名	ア	ド	レ	ス
天 津	大谷 彌十 員次	中華民國青島安徽路二十號			
青 島	(Yatohi Ohtani)	中華民国上海福州路八九			
上 海	西川 喜一	大阪府立貿易館上海分館氣付			
香 港	(Kiichi Nisikawa)	C/O (Consulate General of Japan, Prince's Bldg., Ice House St., Central, Hongkong, KEIYOJI HONGKONG • ENDO 本文頭初ニ記入ノ事)			
	遠藤 寛六 郎				
	(Kanrokuro Endo)				

海外 業 界

各國の業界情勢

[1938]

① 加奈陀の業界事情

加奈陀は三、四六六、七九三平方哩、といふ廣大な面積を占めてゐるにも拘らず、人口僅かに一〇、三七六、七八六八、一九三一年で、一平方哩當人口僅かに二・九九にすぎない。この人口の約半數は英國人で、佛、獨等これにつき、日本人は第十九位の二三、三四二人である。廣大な面積を擁し、人口僅少であるから國內の經濟發展には人的資源を要し、外國移民の誘致に努めてゐるが、東洋移民、殊に日本移民は制限され、三六年の移民總數一、六四三人中僅かに一〇三名といふ狀況であつた。

元來、加奈陀は天然資源に恵まれ、地味肥沃であるから、農業、鑛業、林業、漁業の如き所謂原始産業において發達し、今日でも未だ原始産業國の域を脱してはゐない。しかし二十世紀の初頭以來漸次工業の育成をみ一九二九年には工業生産額は二十億弗に上り、全産業の五割を占めるに至り、その産額において全英帝國中の第二位を占めるに至つた。その後一九三〇年より三二年に至る間一時衰退したが、翌三三年五月頃より漸次健實な恢復をみ、全國民所得四十億弗のうち三割五分は工業による所得であるといふ。一九三六年の工業狀況は、國內市場の恢復と對外輸出の増加とにより、その生産高

は二九年以來の最高額に上り、前年に比し一五%の増加を示したといふ。

しかればわが業界關係工業については如何。商務省調査によれば、一九三六年度の石鹼、洗劑工業の會社數は一〇二でその生産高は一六、三二三、五〇二弗、前年の一六、〇〇二、〇四八弗に比し一・九%の増加である。なほ従業員數は一、九九三人、支拂俸給賃銀額は二、五四〇、五五九弗で、前年の一、九三一人、二、四九〇、九一八弗に對して約三%の増加となつてゐる。この石鹼、洗劑會社一〇二の分布狀態は次の如し。

- オンタリオ州 四七
- クベック州 三四
- 英コロンビヤ州 六
- マニトバ州 五
- アルバータ州 五
- ニュウブランズウィック州 一
- サスカツチエソン州 一

このうち十三の大工場が生産高の八五%、投下資本の八一%、従業員の一七%を占めてゐる。三九工場が石鹼のみ製造三七工場が洗濯用合成劑を製造、二七工場がクリーニング劑製造を主として行つてゐる。

この石鹼會社が三六年に費消した脂肪量は六百萬封度で、その大部分は脂肪酸である。パーム、パーム液、大豆油の使用割合が増加した外、なほ硫酸費達等の

西貢	盤谷	蘭貢	マニラ	シドニー	カラチ	テヘラン	ミラン	維納	ブラッセル	ナイロビ	ラサカ	シカゴ	トロント	ヒューストン	ハバナ	メキシコ	リマ	サンチャゴ	ネオデジャ	ウエイ	トリビロ	カラカス	サンホセ
加藤俊雄	大山周三	大場忠	渡邊薫	岩崎實太郎	缺	缺	缺	缺	齋藤功	缺	小川末次郎	河井信三	缺	缺	缺	富田謙一	水谷清	大野亦衛	廻神義繼	Yoshitugu Megurikami			
P.O. Box No. 219 Saigon, F. I. (KATOHI OSHO SAIGON)	Rongren, Memam, Suriwong Road, Bangkok, Siam. (MENAMKAN BANGKOK)	c/o The Japanese Consulate, Rangoon, Burma. (OHA RYOJI RANGOON)	P.O. Box 1990 Manila, Philippine Island. (KAHOR MANILA)	P.O. Box 2446 MMF, G.P.O. Sydney, Australia. (JIWASAKI SYDNEY)					No. 5, Rue Robert Thoreau, Woluwe St. Pierre, Bruxelles, Belgique. (BOEKISAITO BRUXELLES)		880 Lake Shore Dr., Chicago, Ill., U. S. A. (BOTSU CHICAGO)	P. O. Box 1419, Houston, Texas U.S. A. (NOBUKAWAI HOUSTON TEXAS)				Apartado 499, Lima, Peru.	又々 c/o Consulat du Japon, (Giron Manson, No. 204, Lima, Peru. (KTONITA LIMA)	Calle G. N. Penson 44, Ciudad Trujillo, Republica Dominicana.	Apartado 646, Caracas, Venezuela, S. A.	a/c Apartamentos de Don Francisco Jimenez, Calle 1a, Avenida 6a, San Jose, Costa Rica.			

アルカリ化合物の消費が約二百五十萬封度増加したことは注意すべきであるといふ。次にこの工業の精油、香料の消費額は前年の三〇八、九三〇弗から三四九、三四二弗に増加した。なほ加奈陀の石鹼生産高の内譯は次の通りである。——一九三六年度

硬石鹼	九三、三五	工場發售價格
水石鹼	四七、七	賣價格
軟石鹼	五三、三	賣價格
計	一九六、四五	賣價格

次に化粧品工業は、工場数が八七に増加し、その分布状態は次の通りである。

オンタリオ州	五五
ケベック州	二三
マニトバ州	三
英コロンビヤ州	四
サスカツチエワン州	一
アルバータ州	一

その生産高は六、六九七千弗に上るといふ。

加奈陀の外國貿易は、三六年においては總額において英米獨佛について世界第五位の十六億六千三百萬弗、我國とは輸入四百三十萬弗、輸出千九百七十六萬弗となつてゐる。前記の如く化粧品工業が相當國內において行はれてゐるが、なほ僅少ではあるが、我國より化粧品類を輸入してゐる。

香水、ペイラム、ロージョン、水齒磨、コロシ等 七、五弗

化粧品 酒精不含有 二、八九

化粧品 八、七五
其他石鹼 三、八
これは加奈陀側の統計であるが、わが大藏省の年表によれば

化粧石鹼	一、七七
其他石鹼	—
クリーム	四、六
香水	二、九三
香油	五、六七
齒磨	一、六三
白粉	一、一六
其他	三、四〇

となつてゐる。なほ加奈陀は一九三一年秋以來爲替下落國內商品に對して特別の課稅方法を定め、本邦品に對してもこれを採用してゐる。即ち、本邦品に對しては法定平價日本金百圓對加貨四十九弗八十五仙を以て換算し、この公定相場による換算額と現實爲替相場による換算額との差額を所謂爲替ダンピング税として課し、ここにおいて日本品は三五年初期には現實爲替相場(約二十九弗)より七割方高く評價され、これを基礎として輸入税、各種内國税を課せらるゝ他、加奈陀生産品と同品質のものには百圓に付二十弗の爲替ダンピング税を課せられることとなつたわけである。そこで我國は三五年来加奈陀政府に不當に高率な課稅撤廢又は緩和を要求して容れられず、七月二十日通商擁護法を發動して或種加奈陀商品に從價五割の報復的關稅附加税を賦課したが、再び加奈陀は同月二十二日凡ての本邦品に三割三分三厘の新附加税を

ホンベイ	丹羽吾朗	c/o Japan Cotton Textile Exporters Association For India, Patel House, 10 Churchgate Street, Fort, Bombay, British India. (FAYINK MIYAI BOMBAY.)
シアトル	安田忠雄	P.O. Box 22, Nippon Station, Seattle, Washington, U. S. A. (SHOKOSHO SEATTLE)

貿易組合 貿易斡旋所 (昭和十三年十月現在)

名	稱	所	長	ア	ナ	ノ	ス
東京	貿易斡旋所	黒瀬保	東京市麴町區丸ノ内三ノ一〇				
甲府	貿易斡旋所	黒瀬保	Nippon Trade Agency, Calcutta, No. 135, Canning Street, Calcutta, India.				
桑港	貿易斡旋所	渡邊久克	Nippon Trade Agency, San Francisco, No. 549, Market Street, San Francisco, Calif. U. S. A.				
唐地	貿易斡旋所	小俣朋義	Nippon Trade Agency, Karachi, Nadir House McLeod Road, Karachi, India.				
ペイル	貿易斡旋所	外山一青(代)	Bureau d'Informations Commerciales du Japon, Beyrouth, No. 25-29, Ame Etage, Immeuble de LYNNON, Rue Fakhreddine, Beyrouth, Syrie.				
亞歷	貿易斡旋所	横山承二	Nippon Trade Agency, Alexandria, No. 5, Rue Adib Bey Issac, (Imm. Schemel 4th floor) Alexandria, Egypt.				
カサ	貿易斡旋所	瀧興寶	Nippon Trade Agency, Casablanca, No. 8 Rue Gallieni, Casablanca, Maroc.				
サン	貿易斡旋所	新谷吉松	Nippon Trade Agency, Santiago, Casilla 4107, Santiago, Chile.				
盤谷	貿易斡旋所	小原友吉	Nippon Siam Trade Bureau, No. 24, New Road, Bangkok, Siam.				
天津	貿易斡旋所	歳重任一	日本租界福島街三六				
パ	貿易斡旋所	畑弘	Nippon Trade Agency, Panama, P.O. Box 1212, Panama, Republic de Panama, Central America.				
ナ	貿易斡旋所	雨谷啓藏	Nippon Trade Agency, Nairobi, P.O. Box 480.				
ス	貿易斡旋所	齋藤直路	Buenos Aires Boeki Assenjo, Avenida Roque Suenz Pena 616, Buenos Aires.				
新	貿易斡旋所	楠朝二郎(代)	Nippon Trade Agency, Singapore, No. 25, High Street, Singapore, S. S.				
易	貿易斡旋所	引頭勤六(代)	滿洲國哈爾濱道裡水道街六號地				

海外業界

もつて應じ、兩國間の通商の危機に立つた。その後十二月日加交渉成立し、三六年一月一日より前記諸税大いに緩和をみたので、日加間の片貿易は漸次調整せられんとする次第である。

石鹼が八五%、その他が三%の割合になつてゐる。文化程度の低い國ほど化粧石鹼の消費量の少いことはいふまでもない。

次に米國の "Blue Book" 一九三八年版によつて主要國別消費量を列記しよう。

②世界の石鹼消費量

世界の石鹼製造及び消費量は年百億封度と推算され、全人口の約四分の三、即ち十五億人が石鹼使用者である。

世界の石鹼消費

國	一人當消費量	人口	消費量
米	封度 三	110,000,000	3,300,000,000
和	封度 三	8,500,000	25,500,000
蘭	封度 三	3,500,000	10,500,000
英	封度 三	4,500,000	13,500,000
獨	封度 三	5,500,000	16,500,000
佛	封度 三	6,500,000	19,500,000
瑞	封度 三	7,500,000	22,500,000
瑞	封度 三	8,500,000	25,500,000
瑞	封度 三	9,500,000	28,500,000
瑞	封度 三	10,500,000	31,500,000
瑞	封度 三	11,500,000	34,500,000
瑞	封度 三	12,500,000	37,500,000
瑞	封度 三	13,500,000	40,500,000
瑞	封度 三	14,500,000	43,500,000
瑞	封度 三	15,500,000	46,500,000
瑞	封度 三	16,500,000	49,500,000
瑞	封度 三	17,500,000	52,500,000
瑞	封度 三	18,500,000	55,500,000
瑞	封度 三	19,500,000	58,500,000
瑞	封度 三	20,500,000	61,500,000
瑞	封度 三	21,500,000	64,500,000
瑞	封度 三	22,500,000	67,500,000
瑞	封度 三	23,500,000	70,500,000
瑞	封度 三	24,500,000	73,500,000
瑞	封度 三	25,500,000	76,500,000
瑞	封度 三	26,500,000	79,500,000
瑞	封度 三	27,500,000	82,500,000
瑞	封度 三	28,500,000	85,500,000
瑞	封度 三	29,500,000	88,500,000
瑞	封度 三	30,500,000	91,500,000
瑞	封度 三	31,500,000	94,500,000
瑞	封度 三	32,500,000	97,500,000
瑞	封度 三	33,500,000	100,500,000
瑞	封度 三	34,500,000	103,500,000
瑞	封度 三	35,500,000	106,500,000
瑞	封度 三	36,500,000	109,500,000
瑞	封度 三	37,500,000	112,500,000
瑞	封度 三	38,500,000	115,500,000
瑞	封度 三	39,500,000	118,500,000
瑞	封度 三	40,500,000	121,500,000
瑞	封度 三	41,500,000	124,500,000
瑞	封度 三	42,500,000	127,500,000
瑞	封度 三	43,500,000	130,500,000
瑞	封度 三	44,500,000	133,500,000
瑞	封度 三	45,500,000	136,500,000
瑞	封度 三	46,500,000	139,500,000
瑞	封度 三	47,500,000	142,500,000
瑞	封度 三	48,500,000	145,500,000
瑞	封度 三	49,500,000	148,500,000
瑞	封度 三	50,500,000	151,500,000
瑞	封度 三	51,500,000	154,500,000
瑞	封度 三	52,500,000	157,500,000
瑞	封度 三	53,500,000	160,500,000
瑞	封度 三	54,500,000	163,500,000
瑞	封度 三	55,500,000	166,500,000
瑞	封度 三	56,500,000	169,500,000
瑞	封度 三	57,500,000	172,500,000
瑞	封度 三	58,500,000	175,500,000
瑞	封度 三	59,500,000	178,500,000
瑞	封度 三	60,500,000	181,500,000
瑞	封度 三	61,500,000	184,500,000
瑞	封度 三	62,500,000	187,500,000
瑞	封度 三	63,500,000	190,500,000
瑞	封度 三	64,500,000	193,500,000
瑞	封度 三	65,500,000	196,500,000
瑞	封度 三	66,500,000	199,500,000
瑞	封度 三	67,500,000	202,500,000
瑞	封度 三	68,500,000	205,500,000
瑞	封度 三	69,500,000	208,500,000
瑞	封度 三	70,500,000	211,500,000
瑞	封度 三	71,500,000	214,500,000
瑞	封度 三	72,500,000	217,500,000
瑞	封度 三	73,500,000	220,500,000
瑞	封度 三	74,500,000	223,500,000
瑞	封度 三	75,500,000	226,500,000
瑞	封度 三	76,500,000	229,500,000
瑞	封度 三	77,500,000	232,500,000
瑞	封度 三	78,500,000	235,500,000
瑞	封度 三	79,500,000	238,500,000
瑞	封度 三	80,500,000	241,500,000
瑞	封度 三	81,500,000	244,500,000
瑞	封度 三	82,500,000	247,500,000
瑞	封度 三	83,500,000	250,500,000
瑞	封度 三	84,500,000	253,500,000
瑞	封度 三	85,500,000	256,500,000
瑞	封度 三	86,500,000	259,500,000
瑞	封度 三	87,500,000	262,500,000
瑞	封度 三	88,500,000	265,500,000
瑞	封度 三	89,500,000	268,500,000
瑞	封度 三	90,500,000	271,500,000
瑞	封度 三	91,500,000	274,500,000
瑞	封度 三	92,500,000	277,500,000
瑞	封度 三	93,500,000	280,500,000
瑞	封度 三	94,500,000	283,500,000
瑞	封度 三	95,500,000	286,500,000
瑞	封度 三	96,500,000	289,500,000
瑞	封度 三	97,500,000	292,500,000
瑞	封度 三	98,500,000	295,500,000
瑞	封度 三	99,500,000	298,500,000
瑞	封度 三	100,500,000	301,500,000

備考 十月下旬、シカゴ、ヒューストン、ユニベツグ、ウエリントン、蘭貢、ハンブルグ、アントワープ、サンパウロ、カラカス、ラゴス、バグダッド他中米に一箇所、計十二ヶ所新設の旨發表されたが、本稿に切迫にそのアドレス等は發表されてゐない。

府立東京商工獎勵館 Tokyo Commercial & Industrial Museum

駐在員主任	駐在地	駐在員
山森義雄	大連市羽衣町一〇(輸組ビル二階)	山本權太郎
飯島孝勤	奉天千代田通四〇(貿易會館二階)	古賀喜八郎
小林勤	新京朝日通三五、大平ビル一階	渡邊實太郎
坪内虎三郎	哈爾濱道裡買賣街四八號哈爾濱貿易會館内	岩崎實太郎
鶴見清雄	濟南緯四路日本商工會議所氣付	河井信三
佐々木謙彦	No. 45-B Teking Bldg., Peking Rd., Kowloon, Hongkong.	川田信衛
大沼恒	Tokyo Commercial & Industrial Museum, N.Y. Office, 200, Madison Ave., New York, N. Y., U. S. A.	

東京市産業局

東京市麹町區有樂町三ノ一

出張所	出張所	出張所	出張所	出張所	出張所
北 京	新 京	天 津	雄 基	上 海	マニラ
萱場順治	町田克巳	高橋鐵雄	久津安一	丹羽篤	稲田茂
中華民國北京西長安街七二東京市産業局北出張所	滿洲國新東京商埠大馬路三二號平安ビル、東京市産業局新出張所	中華民國天津日本租界福島街三六、東京市産業局天津出張所	朝鮮咸鏡北道雄基港本町通東京市産業局雄基出張所	中華民國上海南京路二四一號哈同大樓、東京市産業局上海出張所	The Manila Branch Office; The Bureau of Industries, Tokyo Municipality, No. 616, Samanillo Bldg., Escotta, Manila, P. I.

本 營 口 天 滿洲國奉天浪速通四二、東京東亞輸出組合奉天出張所
滿洲國營口南新街吉興達内東京東亞輸出組合營口出張所

③ 印度の石鹼工業

昔の印度人は樹皮、葉、莢、豆類、種子、ナツト類、油粕、ソープナツトを石鹼に用ゐてゐた。一八七九年にミールトにノオスウエスト石鹼會社として石鹼工業が始まり、地方の消費に充當する極めて小規模な工場であつた。同會社はついでカルカッタに建てられた。

工業調査局の「石鹼工業」によれば、現在英領印度及び印度王領の工場數大小約一千、石鹼生産額約七萬五千噸、總金額三千四百二十五萬留比である。その内譯は

家庭用	五萬噸	一、〇〇〇
化粧用	一、五	一、一三五
工業用	一	三〇〇

印度の石鹼工業は一九〇五年のソフトウェア運動(國產愛用運動)に刺戟され、歐洲大戰に拍車づけられたものである。わが國と印度との取引は、一九一三、四年には一千 cwt. の石鹼輸入を行つたが一九二三年には四萬 cwt. に達し、その後減退した。

④ 伊太利の洗濯石鹼

昭和十二年九月十一日から實施された七月二十三日付命令によれば、洗濯石鹼に對し次の如き命令が發せられた。

硬洗濯石鹼は、次の各項を含む印刷物を各箇毎に貼付せざれば、取引することを得ず、

一七〇
二、次の命名法による石鹼の品質の標示

三、グラム重量

製造會社の名稱の代りに關係會社の商標を使用し得。但し商標が合法的にして、且つ言葉より成り、何時にても製造場を舉示しうる場合に限り各種の石鹼品質に關しては、次の品質表示法によつて、表示せざるべからず。

甲 劃一的着色精選石鹼に付いては、

一、超純石鹼 Sapone extra puro 六二%の脂肪酸を含有し、脂肪酸總量の五%以上松脂を含有せざるもの。

二、純粹石鹼 Sapone puro 六〇乃至六二%の脂肪酸を含有し、脂肪酸總量の一五%以上松脂を含有せざるもの。

三、純硬質石鹼 Sapone puro resinato 六〇%乃至六二%の脂肪酸を含有し脂肪酸總量の三〇%以上松脂を含有せざるもの。

四、普通純石鹼 Sapone puro comune 四七乃至六〇%の脂肪酸及び樹脂を含有するもの。

五、劃一石鹼 Sapone tipo unico 四三乃至四七%の脂肪酸及び樹脂を含有するもの。

乙 大理石紋理様石鹼に付いては

一、優秀模様石鹼 Sapone marmorato superiore 四五%より少からざる脂肪酸及び樹脂を含有するもの。

二、一等模様石鹼 Sapone marmorato

ロオズ	一七、九〇	一五、六〇	二、〇〇	三、七〇	〇、六〇
アトニウム・ロザ	一八、五〇	一、〇二	一八、四〇	〇、八〇	一八、四〇
イラン・イラン	二五、二六	三、四〇	二、五〇	一、九七	九、七〇
シトロン・ベルガモット、オレンジ、マダリン	三三、〇一	一、〇一	三、三六	〇、九〇	一、七七一
シトロネル	二七、三七	八、一〇	二、八三	七、七二	二、七七一
その他	三三、三二	一、八五	八、八三	二、三三	一、三三
合成香料	五、七五〇	五、六八〇	七〇	二、一三	五、〇〇
合成薬劑	一、二〇四	一、三〇一	六三	一、〇九	一、〇九
特記せざるもの	三五、四八二	三五、四八二	二〇	二、〇九	二、〇九
有機化学藥品	二七、三三五	二七、三三三	二	二、六四	二、六四
ワニリン及びその	五〇、一一	五〇、一一	〇〇	三、六三	三、六三
派生物	一五、〇七	一五、〇七	〇〇	五、〇六	五、〇六

米國化粧品輸出額

(單位千佛)

煉齒磨	一、六八三	一、五六〇	一、四〇九	一、二一九	一、〇〇一
其他の齒磨	一四七	一四七	二四	九九	一〇七
タルカム・パウダア	六〇〇	五〇〇	四五七	三〇	四四七
白粉(含む)	三六六	三〇三	二五五	一〇九	一七一
コールド・クリーム	二六七	二六三	二七	三八	二〇二
ヴァニシング・クリーム	二九	一〇五	二八	一九	七三
其他のクリーム	三九	三〇七	三〇四	二八	二七
シヨン・バーム	一八八	一五四	一〇三	九四	七四
口の化粧品	一八八	一五四	一〇三	九四	七四
棒の化粧品	五八五	五四五	二七三	一〇一	二六
其他の化粧品	一七四	一四一	一〇六	八三	七五
マニキュア用劑	三三	二九九	二四	三三	一八〇
除汗劑・脱臭劑	七二	八七	六五	六四	七四
頭髪用劑	五九二	四八八	三八	三六	三六

海外業界

三、四十萬封度にして、輸出數量に及ばず、大體國內製品にて需要に應じうる状態にある。輸入高を示すと、

一九三六年	一九三五年
一、九三六	一、九三五
二、九六〇	三、〇〇〇
一、一四一	七、一八七
五、〇五九	四三、七三九
七、二四一	八、五九一
二、三九一	五、三九八
三、七六四	六、三〇七
三、五三六	六、三三三
九、一六九	一〇、一〇一
八、九四八	一、一六四
二、二八〇	一、六〇八
三、〇六九	八、七六五
一九四、〇七	二七〇、八四二
三、七六八	五、五三六
五、三九〇	四、四八八
五、四七一	三、一五八
三〇、九三二	一八〇、五五四
一、八〇、五四	二、八四三、一〇六

日本よりの米國輸入品は二一、二二〇萬封度、四一、三〇五佛にして、數量において三分の二を占めてゐる。その製品は醋酸鹽合成のセルロイド棒及管型のもの、透明生地硝酸化合の葉板型の物及フィルム用生地に限られてをり、輸入競争國としては、第一が英國、第二は獨逸、第三のフィルム生地は日本の獨占である。

米國に見本送附の際、税關申告カードに「Sample No Value」と記載したるもの屢々あり、この種小包郵便に對しては税關郵便局は明細インボイスの提出を要求する故、受取人はその都度發送商社よりのインボイス或ひはその寫を税關へ郵送亦は持參する手續を要する。此の場合見本品目が數十種類何百點とあり、手元にあるインボイスが一通の場合は此の寫を作るだけの手數さへ米人商社は非常な迷惑を感じて居る。米國向見本小包送附に際しては、何れ別便を以てインボイスは送附す可きもの故その寫を必ず小包に同封せられ度い。

(四月十一日・葵港貿易院報告)

香水及び化粧水	一七九	一七五	二一八	二二〇
其他の化粧劑	三〇一	二七一	二四	九七
藥用石鹼	三五八	一四八	一九三	九七
化粧石鹼	一、三三三	一、三二一	一、〇三三	一八一
洗濯石鹼	八二	六四	六六	七六
粉石鹼・フレイク	一三三	一〇七	一〇三	六二
髻刺ケイク、パウダーステイツク	一五五	一五	三三	一〇五
其他の石鹼	九	九	七	九
洗滌粉	三三七	三二	三三	三三

海外業界組合一覽

英國

- Association of British Chemical Manufacturers, 166 Piccadilly, London, W.1 (電Regent 4126)
- Association of Manufacturing Chemist, 14 Holborn Viaduct, E.C. 1. (電City 3691)
- British Chemical Plant Manufacturers' Association, 166 Piccadilly, W. 1.
- British Launderers' Research Association, Laboratory, Hillview Gardens, London, N.W.4.
- Federation of Grocers' Associations. Federation House, 4 Endsleigh Street, London, W.C 1.
- Hairdresser's Wholesalers' Association Ltd. 33 Great Queen Street, London, W.C.2. (電Holborn 6515)
- National Federation of Hairdressers, Ltd., 20 Cranbourne Gardens, London, N.W.11.
- National Union of Manufacturers, 6 Holborn Viaduct, London, E.C.1.(電City 6031)
- Oil and Colour Chemists' Association, 30 Russell Square. London. W.C.1.
- Perfumery Section, London Chamber of Commerce Inc., 69 Cannon Street, London, E.C.4. (電City 4444)
- Pharmaceutical Society of Great Britain, 17 Bloomsbury Square, London, W.C.1.(電Holborn 8967)
- Proprietary Articles Trade Association, 43 Gordon Square, London, W.C.1.(電Euston 3527)
- Soap Makers' Association. (S. M. A.) 6 Holborn Viaduct, London. E.C.1.
- Soap and Candle Trades' Federation.
- Toilet Soap Makers' Association.
- Wholesale Chemists & Allied Trades Protection Association, 90 Queen Street, E. C. 4.

英領印度

- Indian Soap Makers' Association. (I.S.A.) (機關誌 Indian Soap Journal.) (Sec.) A. T. Ganguli.

米 國

- American Cosmeticians National Association.
- American Drug Manufacturers' Association. (Pres.) Dr. John F.

- Anderson, E.P
- American Medicine Association. (Pres.) F.M. Bailey, Ph.D.
- American Pharmaceutical Association. (Pres.) Robert P. Fishelis.
- American Pharmaceutical Manufacturers' Association. (Pres.) George R. Flint.
- Association of American Soap & Glycerine Producers, Inc. (Pres.) F.A. Countway
- Flavoring Extract Manufactures Association of the United States, Inc.(F.E.M.A.) (Pres.) George M. Armor
- Committee of the Toilet Goods Industry, 30 Rockefeller Plaza, New York, N.Y.
- Federal Wholesale Druggists' Association. (Pres.) H. Z. Kropp.
- National Wholesale Druggists' Association. (Pres.) A. Kiefer Mayer.
- Package Medicine Association, Inc. (Pres.) Dr. Jos, V. Sterba.
- Proprietary Association. (Pres.) George H. Miller.
- Toilet Goods Association (T.G.A.) (Pres.) Herman L. Brooks.
- United Medical Manufacturers of America. (Pres.) Chas. L. Huisking.
- U.S. Pharmacopeia XI (Pres.) W. A. Basteo.
- Southern Toilet Goods Association (Chairman) T. E. Williams.
- Synthetic Organic Chemical Manufacturers' Association. (Pres.) August Merz
- Allied Drug & Cosmetic Association of Michigan. (Pres) J. M. Wolff,
- California Cosmetic Association. (Pres.) Andrew Norman.
- Chicago Perfumery, Soap & Extract Association. (Pres.) T. E. Hanshaw.
- 加 奈 陀
- Association of Canadian Perfumers and Toilet Goods Manufacturers. (Pres.) C. G. Carmichael.
- Canadian Pharmaceutical Association.
- British Colombia Pharmaceutical Association.
- Nova Scotia Pharmaceutical Ass.
- Ontario Retail Druggists' Association.

(Pres.) W. E. Dunlop.

佛 國

- Union des Syndicats Français de la Parfumerie, 19 Rue Cambor Paris. (Pres.) Jacques Porte.
- Syndicat de la Parfumerie Française. (Pres.) Jockques Porte.
- Syndicat de la Parfumerie de Lyon et de la Région Lyonnaise, 26 Place Tolozan, Lyon. (Pres.) Abel Pitiot.
- Syndicat des Huiles Essentielles et Matieres Premières Aromatiques. (Pres.) Jules Dechaud,
- Syndicat des Parfumeurs Distillateurs de Grasse et des Alpes-Maritimes (Pres.) Honorè Guichard.
- Syndicat Général des Fabricants Fournisseurs de France pour Coiffeurs et Parfumeurs. (Pres.) Henri Desprez
- Syndicat des Fabricants Français des Produits Synthétiques pour la Parfumerie, 44 Rue la Boetre, Paris. (Pres.) Lours Roure.

海外主要化粧品雜誌

- Az Illatszérés—70, Rakocci ut : Budapest VII (Hongrie)
- Art et Coiffure—19, rue des Blancs Manteaux, Paris.
- Capa (Bolsa de Comercio)—25. de Mayo 347: Buevuesayres(Argentine)
- Kosmetika Nowoczesna—6 place Zelazna Brame, Varesovie (Pologne)
- Manufacturing Perfumer—P. Samuelson & Co., 17 Creechurch Lane London E. C. 3.
- O.Perfumista (Revue de Parfumerie) Avenida rue Branco. 92 Rio De Janeiro
- Perfumery and Essential Zeitung—Hauptstr. 20: Heidelberg (Autriche)
- Revista de Chimica Industrial—rua dos Ourives 67,3°Rio de Janeiro(Bresil)
- Rivista Italiana delle Essenze e Profumi, via St. Vinceno 38 Milano
- Soap Perfumery & Cosmetics—76/78 Gleantham Rd. Barne London S. W.12
- Soap Perfumery & Cosmetics Trade Review 102,105 Shoe Lane, London
- Seifensieder Zeitung— Postfach n.99 Augsburg, Deutschelands.

海
外
業

界

一
七
四

大陸行進曲

島越強作詞

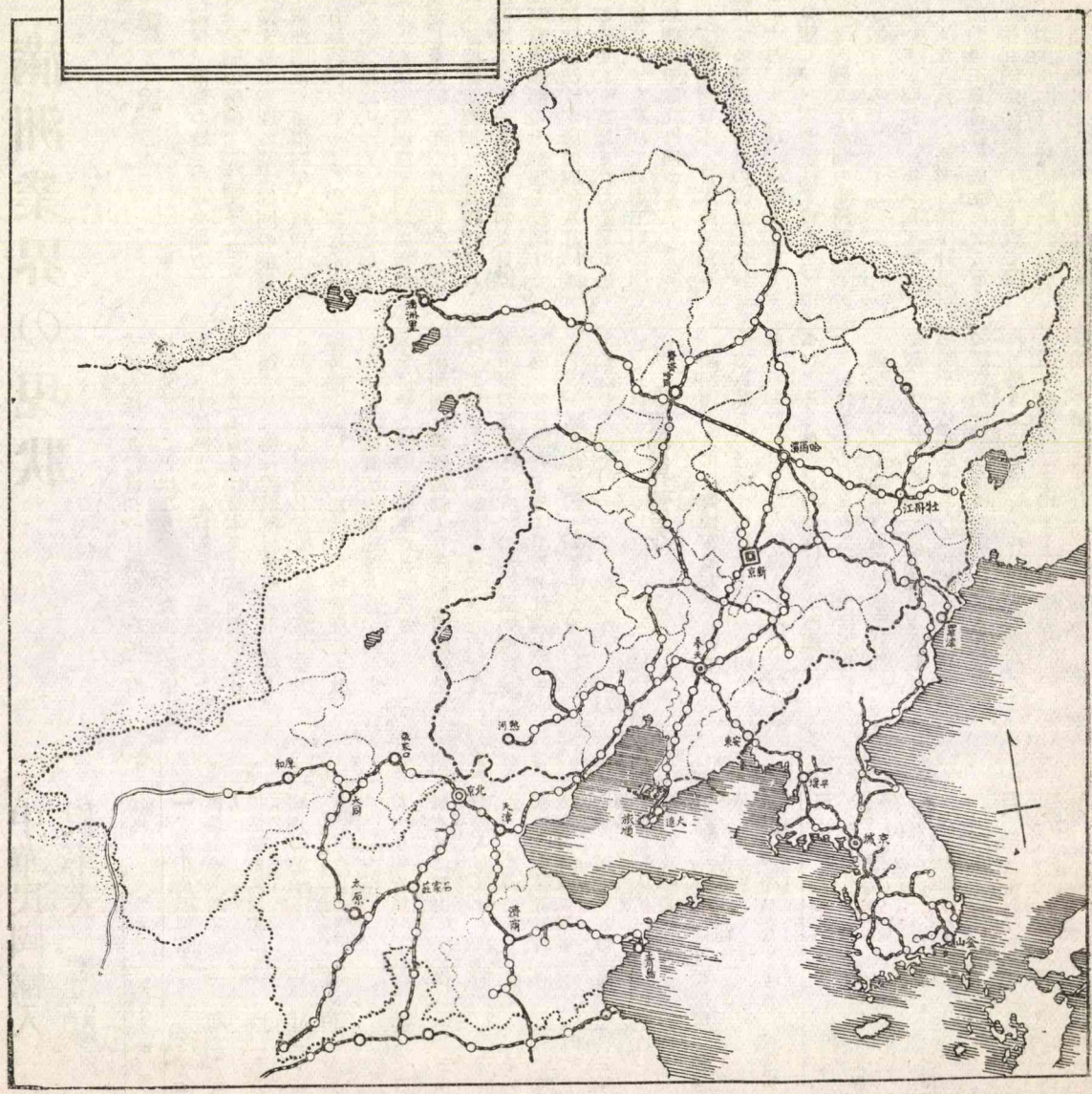
呼べよ 日本 一億の
生命溢るゝ足音に
地平も搖るゝ大陸に
總てのものは 今朝だ

きのふよ父が 又兄が
勝鬨上げた大陸に
これから清い美しい
大和櫻を咲かすのだ

想へば永く立罩めた
平和を亂す雲と霧
今晴れ渡る大陸を
ともに行く日はもうすぐだ

さうだ情の手を取つて
新たに興す大亞細亞
戦友よ一緒に防共の
堅い砦を築くのだ
果てなく碧い野の風に
今日からなるぞあの旗は
進む大陸 日本
意氣の章だ 魂だ

支北及洲滿



滿洲國業界品 輸入稅率表

昭和十三年一月一日實施

稅番	品名	單位	稅率
四三	一、藥品、化粧品、 塗料及填充料、 染料、色素、 別號ニ掲ケザル動 植物性ノ藥材色料 及香料(粗ノモノ) (甲)香料	從價	二五・〇%
四四	硫黃	每百斤	〇・七〇
四五	磷及硫化磷	同	一五・〇〇
四六	亞鉛末	同	五・〇〇
四七	過酸化水素水	同	一六・〇〇
四八	鹽酸	從價	三・五%
四九	(甲)容器共ノ重量 一庇ヲ超エザル	從價	三・五%
五〇	(乙)其ノ他	每百斤	一・三〇
五一	(甲)容器共ノ重量 一庇ヲ超エザル	從價	三・五%
五二	(乙)其ノ他	每百斤	一・三〇
五三	亞砒酸	同	七・五〇
五四	硼酸	同	六・二〇
五五	醋酸	同	八・〇〇
五六	無水醋酸	同	五・三〇
五七	脛酸	同	七・七〇
五八	酒石酸及クエン酸	同	三・三〇
五九	苛性ソーダ	同	一・七〇
六〇	(甲)粗製ノモノ (乙)其ノ他	從價	一五・〇%
六一	過酸化ソーダ	每百斤	一四・〇〇
六二	硫化ソーダ	同	一・三〇
六三	炭酸ソーダ	同	二・〇〇
六四	(甲)無水ノモノ (乙)ソーダ灰	同	二・〇〇

滿洲業界の現状

① 總説

治安の確保、幣制の統一、中央地方行政の改善、税制の整備、司法制度の確立、交通網の擴充等あらゆる基本部門の整備を了へた滿洲國は、康徳四年（昭和十二年）より日滿經濟プロツクの線に沿つて、建設の第二期に入つた。即ち支那事變の勃發とともに、滿洲産業開發の指導精神を規定した大同二年三月（昭和八年）の「滿洲國經濟建設要綱」は具體化され兵器製造業以下二十一産業の統制を目標とし、工業資本總額の七割強を支配する「重要産業統制法」が康徳四年八月に發布をみ、この年より實施された産業五箇年計畫は急ピツチを擧げて、重工業部門の大規模急速なる確立に向つたのである。さうして滿洲國資本と日本産業資本との合體による新統制會社の設立を企圖し、ここに十月二十九日、滿鐵より重工業部門を分離し、日本産業株式會社を解消し、資本金四億五千萬圓の滿洲重工業開發會社が設立をみた。

式發表により、當初の目標をさらに二倍に擴充することになり、その資金も約倍額の五十億圓といふ巨額に上ることとなつた。この資金は日本及び滿洲國內より調達され、特殊設備器材等が若干海外より調達される關係上各種の貿易協定及び爲替協定が行はれた他、爲替管理法の改正及び貿易統制法の實施等、わが國と歩調を併せた政策が採用されてゐる。滿洲國は建國當初より統制經濟政策を採つて驚くべき發展を遂げてきたが、支那事變の勃發とともに、わが國同様に戰時特色を多分に有するに至り、日滿支プロツクの一脚として愈々重要性を加重してきてゐる。

② 販賣界瞥見

他方において、昭和十二年を初年度としてスタートをきつた産業五箇年計畫は、この滿洲重工業會社の成立による重工業部門の相互的企業組織下にあつて關係諸産業を總動員しうる機能を整へたからして、十三年五月十四日、政府は非公

滿洲國の人口は康徳四年末において三千六百萬人、このうち日本人が一百四十萬人であるが、半島人が約八十六萬人含まれてゐるから、内地人は五十四萬人に上るわけである。日本人の進出は近來殊に著しく、二十箇年百萬戸の移民計畫の進展とともに、今後一層在滿日本人数は増加をみることであらう。そこで滿洲國の購買力は、これに比例して、さう急激に昇騰することがないにしても、滿洲の生活が次第に日本化することは明かで、最近この傾向は著しいやうであるからし

中華民國輸入 稅率表

昭和十三年
六月一日實施

稅番	品名	單位	稅率
四三	一、棉花及綿製品	金單位	一・〇〇
四四	模造金糸（綿芯のもの）	一庇	一・〇〇
四五	模造銀糸（綿芯のもの）	一庇	一・二五六
四六	蠟燭の芯	一庇	二・三四
四七	刺繍品その他の裝飾用品並に其等を以て裝飾せられたる製品	從價	三五・〇%
四八	莫大小製衣類 肌衣又は股引 起毛せざるもの	百庇	二八・一〇
四九	護謨入布及ゴム紐	從價	一〇・〇%
五〇	手巾	同	一五・〇%
五一	衣類、身邊着用品	同	一五・〇%
五二	及部分品又は附屬品別號に掲げざるもの	同	二五・〇%
五三	別號に掲げざる綿製品	同	一五・〇%
五四	二、麻及麻製品	從價	三〇・〇%
五五	刺繍品、トリムミング、レリス品、その他裝飾用品並に其等を以て裝飾せられたる製品	從價	三〇・〇%
五六	衣類、身邊着用品及其部分品又は附屬品	同	三〇・〇%
五七	三、毛及毛製品	從價	三五・〇%
五八	刺繍品、トリムミング、レリス品、その他裝飾用品並に其等を以て裝飾せられたる製品	從價	三五・〇%
五九	天鰯絨、ブラツシユ、及びその他のパイハ織物	同	三〇・〇%
六〇	四、絹及絹製品	從價	四五・〇%
六一	刺繍品、トリムミング、レリス品、その他裝飾用品並に其等を以て裝飾せられたる物	從價	四五・〇%

支那市場の諸問題

四〇七	菜種油	同	六・五〇
四〇八	棉實油	同	六・二〇
四〇九	桐油	同	一・三二〇
四一〇	胡麻油	同	七・五〇
四一一	方カオ脂	同	一・七三三
四一二	植物脂及植物蠟 (別號ニ掲ゲザル モノ)	從價	一五・〇〇
四一三	肝油	從價	一五・〇〇
四一四	魚油(肝油ヲ除ク) 及海鯊油	同	二・五五
四一五	獸油	同	一五・〇〇
四一六	(甲)牛油 (乙)豚脂 (丙)其ノ他	同 從價 同	一五・〇〇 一五・〇〇 一五・〇〇
四一七	硬化油	同	四・九〇
四一八	ステアリン	同	三・五〇
四一九	オレイン	從價	六・五〇
四二〇	ワセリン(薰香チ 付セサルモノ)	同	一五・〇〇
四二一	(甲)容器共ノ重量 一疋チ超エザル モノ	每百立	八・四〇
四二二	(乙)其ノ他	每百疋	六・六〇
四二三	パラフィンワック ス	同	六・七〇
四二四	蠟燭	同	二七・〇〇
四二五	油、脂、蠟及其製 品(別號ニ掲ゲザ ルモノ)	同	二五・〇〇
四二六	(甲)附香又ハ成形 シタルモノ	從價	二五・〇〇
四二七	(乙)其ノ他	同	一五・〇〇
七四	七、衣類、其附屬 品及身邊携帶 品 ヘアネット (甲)人髪製又ハ絹 製ノモノ (乙)散裝ノモノ (丙)其ノ他	每從 疋價 疋	一一・七〇 三・〇〇 一・三〇

海外業界

支那事變は、廣東占領と武漢攻略とにより、支那の全領土の五分の二、——しかも海岸線に沿うた重要地方を日本の占領地域としたのであり、今や破壊から建設へ、新東亞の秩序再建へ、わが國を盟主として巨大な一歩を歩みだした。支那市場は昔からわが業界品の進出區域であり、支那の排日貨のために幾度か打撃を蒙つたが、牢固とした地盤を有する。治安工作が成就し、復興の歩が進められるとともに、ここにわが巨大な市場を見出すことは明かである。殊に滿洲國より文化が高いだけ一層わが業界品にとり有望であり、有力本舗は別項「商品商店」にみる如く著々進出計畫を實現してゐる。

① 關稅法の改正

まづ最初に新政權の海關接收と關稅法の改正からみてゆかう。
關稅は、元來、國民政府總收入の大宗であり、既に一九二八年度に於いても全收入の六五・九%、二億四千五百萬元を占めてゐたが、今次事變の打撃に依り一九三七年には三六・九%と減少を示した。しかしながら依然として重要な地位を占めてゐることは言を俟たないのであるが、その所謂關稅自主については甚しく喰違ひがあり、列國の利害關係がいかにこの問題を繞つて對立してゐるか既に支那事變以來われわれの見た如くである

白熱化した國際貿易戰にあつては、各國とも國內産業保護と市場の確保の爲に關稅政策の綱を張りめぐらしてゐるのであるが、支那における半植地性植民地性はこの點に於いて遺憾なくその本質を露呈してゐる。即ち、支那の關稅率は表面に於いては自主の面子を保ちながらその本質に於いては列國の承認を得たものにならざるを得ないものである。例へば一九二八年、國民政府は海關輸入稅新稅則を發表して翌年二月よりこの實施を行つたが、既にこのことは列國が關稅會議に於いて取極めた範圍を出ることは無かつた。

更に一九三三年五月二十二日には、國定稅則を發表、續いて三四年七月輸入稅則を施行した。これは明らかに南京政府がその自主權を一步前進せしめたものとして注目し得るが、その内容を検討してみると、關稅自主としては甚だ多くの制約を受け、一種の協定關稅の性質を持つてゐるものであることは疑はれない。しかしながら日本勢力の大陸進出は、この關稅の性質の故に複雑微妙なる關係を招來したことは看過できない事實である。

四〇七	炭酸バリウム	從價	七・五%
四〇八	鹽化バリウム	同	七・五%
四〇九	漂白粉 鹽化石灰	同	七・五%
四一〇	硼砂 粗製及精製	同	二・三
四一一	炭化カルシウム	同	二・三
四一二	鹽化カルシウム	同	七・五%
四一三	液體鹽素	同	七・五%
四一四	硫酸銅	同	三・四
四一五	グリセリン	同	八・九
四一六	甲、毎包裝の重量二三 乙、包裝の重量一三疋 以下のもの	從價	一五・〇
四一七	殺虫劑及び消毒劑	同	二・五
四一八	過酸化マンガン	同	五%
四一九	ナフタリン	同	二・八
四二〇	酸素圓筒その他の器入	同	一〇%
四二一	燐	同	九・五
四二二	炭酸加里	同	一〇%
四二三	苛性加里	同	一〇%
四二四	鹽素酸加里	同	一・四
四二五	重クロム酸加里	同	四・六
四二六	硝石	同	四・三
四二七	曹達灰	同	一・七
四二八	重炭酸曹達 大量包 裝のもの	同	二・四
四二九	重クロム酸曹達	同	七・五%
四三〇	二硫化曹達 固形又 は液體	同	一〇%
四三一	苛性曹達	同	二・四
四三二	結晶炭酸曹達	同	一・四
四三三	覆鹽炭酸曹達	同	三・〇
四三四	水化亞硫酸曹達	同	〇%
四三五	硝酸曹達	同	一・三
四三六	過酸化曹達	同	〇%
四三七	硅酸曹達	同	一・六
四三八	硫酸曹達	同	一・五
四三九	硫化曹達	同	一・八
四四〇	次亞硫酸曹達	同	一〇%

七五	ボタン、スタッド 及ベルト、バックル (装身用ノモノ)	從價	二七・五%
	(甲)カフ、スポダ ン、織衣用ノス タッド及ベルト バックル	從價	二七・五%
	(乙)其ノ他 プレスポダ ン及プレス スタッド	毎百疋	五九・一〇
	(一)金屬製ノモ ノ	同	三七・〇〇
	(二)硝子製ノモ ノ及陶製ノモ ノ	同	一一・〇〇
	(四)セルロイド ノ他有機性 人造可塑性 材料製ノモノ	同	一九・九〇
	(イ)カセイン 角質物製ノ モノ	同	一一・〇〇
	(五)動植物材料 製ノモノ	從價	三三・五%
	(イ)貝殼製ノ モノ	從價	六五・一〇
	(六)其ノ他	從價	三三・五%
七六	安全ピン、ヘア ピン、其他装身用 品類	從價	三三・五%
	(甲)金屬製ノモノ	從價	三三・五%
	(一)安全ピン	從價	三三・五%
	(二)其ノ他	從價	三三・五%
	(乙)セルロイド其 他有機性人造可 塑性材料製ノモノ	從價	三三・五%
	(丙)其ノ他	從價	三三・五%
七三	身邊裝飾用品及 ハンドバッグ、財布 其他類似ノ身邊携 帶品並ニ其ノ部分 品(別號ニ掲ゲザ ルモノ)	同	一七・五%
七二	(甲)手工レース、 手刺繡其ノ他 類似ノ手工ニ依 リ加工又ハ製造	同	三〇・〇%

以て發表された行政委員長王克敏氏の聲明書は次の通りである。

去る十四日民衆の總意に基き樹立せられたる本政府は、徒らに容共抗日を標榜し國民生活の安定を外にして國際的政治紛争惹起に狂奔し來れる舊政府に代り、庶民の眞の福祉厚生を圖らんがためには百政素より一として忽緒にすべからずと雖も、就中關稅行政は一に財政上重要なものみならず、亦通商産業上極めて樞要機密なる關係を有するを以て、政府は先づ天津、秦皇島兩海關稅務司に對し速かに本政府の指揮監督に服すべきを勸告したるところ天津、秦皇島兩海關稅務司を始めその麾下關員は時勢を明察し欣然わが方の勸告を容れ、こゝに平穩裡に兩海關の接收を了したり。海關收入を擔保とする債務に就いて本政府は公正妥當なる方法により分割處理せんとす。

中華民國二十六年十二月十六日
中華民國臨時政府
行政委員會委員長 王克敏

これに續いて一月二十一日、かねて審議中の改正關稅法を布告、關稅改正理由及び改正品目稅率を發表して翌二十日より實施した。この改正の理由とするところは政府當局談の如く、今次事變によつて蒙つた支那民衆の負擔の軽減と災區の復興にあり、海外諸國に對しても公正、何等差別的待遇を設けてゐない。尙、布告書の要項は次の通りである。

一、滿洲國及び關東州は外國と見做し

て輸入稅を徵收し

甲、滿洲國及び關東州に對する輸出品に對しては輸出稅を課し
乙、滿洲國及び關東州よりの輸入品に對しては輸入稅を課す

二、現存海關の輸出入稅則中一般人民の救済及び生活安定上必要と認むる最低限度のものに適當の改正を加へ
中華民國二十七年一月二十二日より實施す

三、現有の關稅附加稅を即時停止し災區救済のため全額の百分の五の賑災附加稅を賦課徵收す

一方、維新政府にあつてはわが堀内次官並にクレギー英大使の上海海關問題に關する取極めが五月二日解決されるや、上海海關監督李南氏を上海海關長ロ一フォード氏に會見せしめて、李氏を上海海關長となすこと、上海海關事務は一切維新政府の命に服せしめることの承諾を求め、次の通告をロ氏も異議なく承認して、茲に維新政府の上海海關の接收は成つたのである。

一、外債、團匪賠償金その他の支拂は總て日英間の取極めに従ひ行ふこと
二、上海海關所要經費並に外債擔保及び團匪賠償金を支拂ひたる剩餘金は維新政府の命令により之れを處理すべきこと
三、稅關の稅率、稅則並に日支問題に關しては一切維新政府の命令に従ふべきこと
四、上海海關屋上には維新政府の國旗

四四一	酒精及工業用ラム	一	〇・五三
四四二	硫磺	從價	一・一七
四四三	甲、粗製、塊又は粉末 乙、その他	從價	二・五%
四四四	別號に掲げざる醫 藥藥品、賣藥、藥 種(合成物及調劑 品)	同	一五%
四四四	別號に掲げざる醫 藥藥品、賣藥、藥 種(合成物及調劑 品)	同	一五%
四四四	鉛丹、鉛白及鉛黃	從價	二・五%
四四七	亞鉛	從價	二・五%
四八〇	蠟、燭	從價	一三・〇六
四八一	護膜及樹脂	從價	一〇%
四八二	松	從價	五・九五
四八八	シエララック及ポ タシラック	同	二八・〇〇
四九二	蓖麻子油	從價	五・六
四九三	甲、機械用のもの 乙、薬用のもの	從價	二・五%
四九三	肝油	從價	四・四六
四九三	オリブ油	從價	〇・二四
四九六	家庭用及洗濯用石 鹼	從價	七・七七
四九六	藍色斑點のあるもの を含む	從價	七・七七
四九六	甲、大箱包裝、糝狀並 に二個積のもの 乙、但し實量は公稱の重量 が實量より、又は一 個の重量二〇〇瓦よ り少なからざるとき は公稱の重量による 乙、その他	從價	二〇%
五〇〇	石鹼	從價	二〇%
五〇二	ステアリン	從價	六・二一
五〇三	蜜蠟	從價	一・三三
五〇三	木	從價	一・六三
五〇五	別號に掲げざる 油、蠟、天然又は人 工の芳香性油並に兩者 を混合せるものを含む	從價	六・四四
五〇六	別號に掲げざる 油、蠟、天然又は人 工の芳香性油並に兩者 を混合せるものを含む	從價	二・五%

天津海關の輸入税及諸税徴収法

① 輸入税の徴収

輸入税の徴収は現行「海關輸入税則暫行規則」に依る。該規則如左。

輸入税則暫行規則

第一款

第一項 従價に依りて課税さるる各種輸入貨物の納税價格は、其貨物の輸入港に於ける通貨を以て計算したる卸賣市價に基きて算定せらるるものとす。

此の卸賣市價は之を海關金單位に換算する時は課税價格よりも、左の二項の合計額たる高價なるものと見做す。

A 該貨物の税額

B 該貨物の納税價格の百分の七

仍て課税價格算定の公式は左の如し

$$\begin{aligned} \text{納税價格} &= \text{卸賣市價} \times 100 \\ &= 100 + \text{税率} \times 7 \\ \text{例：卸賣市價(60海關金單位、税率12\%とすれば)} \\ \text{課税價格} &= \text{海關金單位} 60 \times 100 \\ &= 100 + 12\% \times 60 \\ &= \text{海關金單位} 6,00 \\ &= 119.5 \\ &= \text{海關金單位} 50.21 \end{aligned}$$

② 卸賣市價

輸入税則暫行規則第一款第一項に於ける「卸賣價格」なる用語の解釋は如左。

一、貨物の輸入を申告したる當日、該貨物を輸入港の公開市場に普通の條件にて、自由に提供したる場合、或は其卸賣數量を普通の貿易状態に在りて販賣し得る場合の平均市價を

以て卸賣市價となす。

二、貨物の輸入港に該貨物の卸賣市價無き場合は、中國内の他の主要市場に於ける卸賣市價を以て納税價格計算の根據となす。

三、中國内に於いて卸賣市價を得られざる輸入貨物は普通状態に於ける真正のC、I、F値段にその百分の五を加へたるものを以て納税價格となす。

四、左の事情により卸賣價格及び真正のC、I、F値段を知り得ざる輸入貨物の納税價格は、海關斟酌して之を決定す。

A 貨物の賃借權、即ち貨物の所有權にあらざる使用權が賣買或は讓渡せられたる場合

B 貨物の使用權が確定せざるか、又は其他の理由によりて價格決定上信頼すべき標準とならざる場合

C 貨物が代理人或は支店に賣却せらるる場合

D 貨物が此處に掲げたるより外の特殊事情に依り中國に於いて販賣或は輸入せられたる場合

③ 従量税貨物の納税價格

價格に依りて課税せらるる輸入貨物の納税は、左の規則に據りて之を決定す。

一、輸入税率が、貨物の價格に依りて決定せられたる等級に従つて、更に分別せられたる場合は、輸入税則暫行規則第一款第一項に稱する納税價格を以て其の貨物の價格となす。而して此の價格に次の二項を加算したるものを以て輸入税算定の卸賣市價となす。

A 税率

B 該價格の百分の七

二、右第一項の規定を適用したる結果、貨物の卸賣市價が某等級の範囲に入りたる時は、該貨物の税金は該等級の税率に依りて課す。

三、右第一項の規定を適用したる結果、貨物の卸賣市價が何れの等級の範囲にも入らざる時は之に最も近き價格の等級に編入して課税す。

④ 従量税貨物の風袋の免稅

従量税貨物の風袋は、普通之を總重量より低減せらる。その低減方法は、海關の貨物検査官が先づ該貨物の一部分を抽出してその總重量を則り（中國語にて「毛重」と稱す）之れより普通の而して必要と認むる金屬、木質或は織物の容器的平均重量を控除して、該貨物の純納税重量を決定す。但し税率に直接包装の重量を含む場合は、その包装の重量を免除せらるることなし。

⑤ 混合物の徴税法

輸入税率一様ならざる各種の成分を混合したる液體或はその他の物品を混合したる後輸入申告をなし、海關がその含有物質の數量價格を容易に確定し得ざる時は、税則に規定あるもの、外、税率最高の含有物質に依りて徵税す。

⑥ 見本及び廣告品の輸入

凡そ見本及び廣告品を輸入したる場合は左の「見本及廣告品輸入税徴収辦法」に依りて處理せらる。

見本及廣告品輸入税徴収辦法

一、無料にて配布する廣告品にて、廣告以外の用途及び貿易價值無きもの（例へば型録、小冊子、旗幟、紙ボスター

の如きもの）は無税となす。

二、左記の各製造家見本品は無税となす。シャツ、肌衣、靴等の見本にして截斷したる爲め着用する能はざるもの

各番手或は各種品質の認にたる凡ゆる種類の糸にして真正の見本として合理的の數量なるもの
反物、リノリウム等の切れにして商品價值無きもの。各種葉煙草、棉花等の真正見本にして合理的の數量を小包としたるもの。

三、左の各廣告見本品は無料配布たるものと問はず、それらに依りて徵税せらる。

月別カレンダー、日巡カレンダー、日記帳、扇子、磁器、硝子器、吸取紙、メニューカード、鉛筆、煙草パイプ、小刀、萬年筆等の如く廣告以外に使用し得る廣告見本、
瓶詰或は包装の凡ゆる種類の藥品
凡ゆる種類の電板
小瓶詰のブランデー、ウイスキー等
置時計、懐中時計、塑像、花瓶、工具、玩具等

染料、ペイント、煉齒磨、顔料用クリーム等の如く小型包装の凡ゆる見本品を六箇月以内に再輸出することを豫定せる場合は輸入の際詳細を記載したる申告書を提出することを要す。然る時に海關は輸入税に相當する供託金を受け、検査の後通關を許す。

供託金に對しては海關より正式の領收證を發給す。

六箇月が満期の時納税すべき見本品の一部分が國內に留まり殘品が海外に輸出さるる時は、國內殘留品に對する税金を供託金より控除し、殘金は返還せらる。海關は事情を斟酌して、六箇月

の期間を延長することを得。但し延長期間は六箇月を超ゆることを得ず。

註 在華各國大使館、領事館及び商務代表者が輸入したる公用商品見本にして、之が販賣品に非ざる事を聲明せられたる場合は前記規則に依りて處理せらる。

⑦ 天津海關にて徴收せらるる税金の種類

一、關稅

中國海關稅則表に掲げられた税率で課稅される。

二、附加稅

關稅額の一分(數災附加稅五分) 一九三二年八月一日以降「救災附加稅徵收條令」に依り、輸入稅率の百分の五の救災附加稅及一九三八年一月二十二日以降從來の輸入附加稅は之を廢止別に災區救濟の爲に稅額の百分の五の率に依り賑災附加稅を徴收せらる。

三、河工稅

河工稅、橋稅、河海修築附加稅は悉く同時に算定合計して表示す。是等諸稅は輸入品が直接海外より輸入せらるること、沿岸港よりせらるることとを問はず、一九二二年度輸入稅則稅率の百分の十四を金單位にて算定し割當て賦課せらる。

一九二二年の稅率は大體に於いて五分であるから現行稅率に依る支拂價格の七厘に當ると見て差支ない。

四、統稅

外國製の綿絲、燐寸、セメント、卷煙草、小麦粉、アルコールに對し統稅率に依り海關にて徴收せらる。但し卷煙草の統稅率は關稅の中に包含されてゐる。

⑧ 統稅々率

燐寸

A 燐硫化物燐寸

1 一箱五十五本乃至八十本の燐寸を容る縦四十八耗、横三十三耗、深さ十四耗の燐寸箱
大箱一箇 一〇、八〇元

2 一箱百本乃至百五本を容る、縦四十八耗、横三十四耗、深さ十六耗の燐寸箱
大箱一箇 一〇、五〇元
小箱一箇 二、二五元

B 安全燐寸

1 一箱七十五本乃至八十本の燐寸棒を容る、縦四十八耗、横三十四耗、深さ十六耗の燐寸箱
大箱一箇 一三、五〇元
小箱一箇 二、二五元

2 一箱百本乃至百五本を容る縦五十九耗、横三十八耗、深さ十八耗の燐寸箱
大箱一箇 一七、四〇元
小箱一箇 二、九〇元

3 一箱百十五本乃至百二十本を容る、縦五十九耗、横四十耗、深さ十八耗の燐寸箱
大箱一箇 二一、〇〇元
小箱一箇 三、五〇元

註

1、大箱は七十二本の燐寸箱、小箱(フクリ)は、縦又は包蓋は一千二百の燐寸箱を容れ、小箱六箇は大箱一箇に等し

2、A輸入安全燐寸の箱の大きさ及び一箱の燐寸數が、第一級安全燐寸の規定に該當する時は、統稅は第一級安全燐寸の統稅率に依りて課稅す即ち七千二百箱に付き十三元五角とす。

B、輸入安全燐寸の箱の大きさ、或は一箱の燐寸數が、第一級燐寸の規定を超ゆる時は、第二級品の率に依りて統稅を課し、又箱の大きさ、或は一箱の燐寸數が第二級品の規定を超え、第三級品の率を超ゆる時は、第三級品の率に依りて課す。

C、折疊式の外國輸入燐寸は四十八耗(折疊式の箱の重量を含む)に付き廿一元の割合にて課稅す。

8、バラ包装の國產殘缺不齊の燐寸(之が販賣は製造地に於いて許可せらる)は六〇、四八耗につき一、二五元の率にて課稅す。
アルコール
A エチル、アルコール(酒精)
一立 〇、一三元

B 變性アルコール、メチル或はウツド、アルコール
一立 〇、〇六五元
(アンスキートンド、アラク及びフーゼル油を含む)

C 樽又は壺入アルコールは各容器的の重量を控除したる純量に依りて評價す。各純量一立未滿は一立と見做す。
例へば純量九、三立入りの壺十箇の貨物は、九三立とせず百立と見做す。

D 箱入アルコールの統稅は、各箱内アルコールの純量に依りて評價し、箱内の第二容器的の數に關せず、又一立未滿は一立と見做す。

E 一定數の瓶を單位として包装したる瓶詰アルコールの統稅は、前項(A)の如くして評價するも、一定數を單位とせざる場合は各瓶内アルコールの純量を計算し、又一立未滿は一立と見做す。

註

統稅の徴收單位は國幣元とす。

天津海關通關手續上の注意

天津海關は荷主運輸業者及通關業者に對し左の通り注意を發表した。

貨物の通關に關し圓滑なる通關が現下の滯貨整理に助すること大なるは言ふを俟たず。不完全なる申告書は海關事務を滯滞せしめて貨物の引取を遅延せしむるものなり。故に一般申告者は申告書を提出する前に次の諸項の正確を期され度し

- 一、荷印及荷番號
- 二、箇數

三、貨物の名稱(稅率表に要求せる細目を記すること)

四、稅番

五、數量(當該稅番の要求せる單位を用ゆること)

六、運費保險料込値段(C.I.F)及關稅支拂價格(但し從量稅率に依るものは後者は記入の要なし)

七、貨物の存在する碼頭名

八、眞正の仕切書を添付すること

九、船荷證券、荷渡證券又は船積證券(船會社の裏書を要す)

一〇、檢驗局の檢驗證明書(必要なる場合のみ)

一一、統稅單位(必要なる場合のみ)

當關の満足する申告書及關係書類の提出ある時は貨物の検査其他の通關事務は極めて簡單に終了するを常とす。之に反して不完全なる場合には貨物の精密なる検査、時には再検査を必要とするのみならず、虚偽の書類を提出して關稅逃脫と認めらるゝ時は罰金、時には罰金の上に貨物を沒收せらるべし。

特に申告書の留意すべきは正確なるインゴイスを提出することとなり。之れは眞正なるインゴイスを意味するものにして世上所謂稅關インゴイスに非ず。往々にして虚構のインゴイスを作成提出する者あるがため甚だしく海關事務に滯滞を來し、惹いて他の善良なる商人に迷惑を及ぼす傾向顯著なり。

申告者は通關の間常に本關に出頭して質問、申告書の訂正等必要の際に備ふるを要す。更に貨物の検査せらるる際は豫め貨物の所在地に在りて、要求せられたる時直ちに検査に立會ふ用意あるべし。目下各關係方面に於いて滯貨の整理に努力する際申告者の側に於いて滯貨整理の見地より、通關迅速を期する以上の注意を遵守せられんことを希望す。

〔六月二十日在天津貿易檢驗所長報告書〕

日滿聯絡貨物 小口扱運賃

鐵道省では日滿連絡貨物小口扱直通運賃の全面的改正を行ひ、十月一日告示第百四十八號を以て公布し、十三年十一月一日から實施した。これによれば從來の五級制度を三級制度に改め、業界品中の小間物化粧品は一級品に、化粧品及び洗粉は二級品、洗濯石鹼は三級品に編入された。

一、從來の貨物等級は五級制度であつたが、今回これを三級制度に改め、更に取扱の簡易化に努めた。

三、本直通運賃の計算は從來は内地發滿洲着に限られてゐたが、今回は滿洲發着貨物に對しても同様直通運賃を適用し得るの途を拓いた。

三、從來は運賃計算最低量は六十疋であつたが、少量貨物託送荷主の利便を考慮し特にこれを五十疋に低下した。

四、滿鐵鐵道總局線内營業料程計算の場合、舊滿鐵社線料程は二倍、又それ以外の滿鐵線は三倍とする定めであつたが、今回は全部二倍とすることに統一した。

五、等級整理その他の結果一部運賃の値上りとなるものではないが、大體に於いて値下りとなるものが多い。

尙、告示を拔萃すれば左の如くである。
▽鐵道省告示第二百四十八號
第三十五條 省線の總局線(滿鐵北鮮

海 外 業 界

線を除く)との連帶小口扱貨物に對する運賃は左の各號によりこれを計算す、但し朝鮮鐵道局線内軍需品及軍所有品貨率、總局總内軍用貨物貨率を適用する貨物、博覽會、共進會、品評會等等の出品物、移住者引越荷物及農業者使用貨物に對しては第三十四條及第三十四條の二により運賃を計算することを得。

一 貨物の等級及貨率は別表日滿連絡貨物小口扱直通等級表及日滿連絡貨物小口扱直通貨率表による。

日滿連絡貨物小口扱直通等級表上の品目に相當せざる貨物の等級は二等とす。

二 貨物の運賃に實重量(標準數量の定ある貨物はその數量による)によりこれを計算す、貨物の運賃は十疋毎に計算とし十疋未滿の端数は十疋に切上げその運賃計算重量の最低を五十疋とす。

第三十五條別表
日滿連絡貨物小口扱直通等級表

- ▽普通品
 - 一級品 醫療機械類(レントゲン機械用真空管を除く)、醫療用品、醫療藥品類、藥用人參、理化學器械類
 - 二級品 ゴム類及其の製品、小間物化粧品類(洗濯石鹼を除く)、染料原料
 - 三級品 洗濯石鹼
- ▽危險品
 - 一級品 危險品

日支貨物聯絡 小口扱運送

日支貨物運送は、五月より「北支事務局線著貨物取扱規則」で日支交通聯絡に當つてきたが、さらに急速なる發展に對應するためにこれを廢し、新たに本年十月四日鐵道省告示第二百五十三號をもつて「日支貨物聯絡運送規則」を制定、昭和十三年十月十五日より實施した。

一、參加運輸機關
鐵道省、朝鮮總督府鐵道局、南滿洲鐵道株式會社、大阪商船株式會社、近海郵船株式會社、北支事務局。

二、取扱驛
イ、省線——各驛、但し紀勢中線、宇和島線、油津線、松浦線大泊港を除く
ロ、北支線——京山線各驛、京古線双橋、通州線通州南站、通州、海濱線海濱

三、運輸系統
次の二系統とし、荷送人の選擇による
イ、釜山——安東——奉天——山海關經由
ロ、湊川、下關又は門司——天津航路

——天津港又は塘沽港經由
但し、當分の間天津港經由の取扱は行はれないことになつてゐる。

四、扱種別
小口扱に限る。

五、標準數量

發送運輸機關の定むる所による。一口とすべき貨物は
イ、荷送人、荷受人、發驛、著驛、託送の時、その他運送條件を同じくすること

ロ、貨物の數量は重量三十噸又は容積五十二立方メートル以下なること
の條件を具備してゐることを要する。又一箇の貨物は次の制限以内のこと。

關發着	重量	容積	長
下關發着	三噸	八立方メートル	五・五米
自動車線發着	一・二噸	八立方メートル	四・五米
其他發着	三噸	八立方メートル	四・五米

六、要價額表示の取扱はしない。
七、引渡方法
貨物引換證を交付した時はこれと引換へ、然らざる時は荷受人の印章により引渡を行ふ。

八、代金引換
二千圓以下の貨物で、危險品等を除いたものには代金引換の取扱が行はれる

九、運賃及料金
運賃及料金は各機關別の規定の計算を合算して算出する。しかし省線と山海關との區間に直通運賃が定められてゐるものは、この區間及この運賃による運賃及料金の支拂方法は次の二つとする。

- 發驛と山海關、天津港又は塘沽港間
- 塘沽港間
- 山海關、天津港又は塘沽港
- 着拂

東京東亞輸出組合員

Table listing various companies and their products, categorized by industry such as '化粧品' (Cosmetics), '袋物' (Bags), and '玩具' (Toys). Includes names like 井田商店, 藤屋商店, and 加藤商店.

Table titled '時計貴金屬商' (Watch and Precious Metal Merchants) listing firms like 東洋輸出時計附屬品 and 小森由太郎.

滿洲輸入組合一覽

Table titled '滿洲輸入組合一覽' listing various import companies and their branches, such as 滿洲輸入株式會社 and 大連市羽衣町一〇.

滿洲輸入株式會社 出張所・貿易會館

Table listing branches and trade associations of the Manchurian Importing Company, including locations like 東京出張所 and 大坂出張所.

滿洲國稅關

Table titled '滿洲國稅關' (Manchurian Tax Office) listing various ports and branches across different regions like 關東, 奉天, and 秦皇島.